



高校生のための初めての英語ディベート  
A New Introduction to Debating in English  
Book 1: for High School Students [Second Edition]

小林 良裕

S.A.D. Works



## Contents

はじめに .....	vi
<b>Lesson 1. 初めてのディベート .....</b>	<b>1</b>
Section 1. どうして英語ディベート? .....	2
Section 2. 考える練習 .....	4
Section 3. 日常的な思考の背後にあるもの .....	6
【参考】 「高瀬舟」の発表 .....	9
<b>Lesson 2. 問題解決型のスピーチを作ろう .....</b>	<b>11</b>
Section 1. 問題解決型のスピーチの構成 .....	12
Section 2. 問題解決型のスピーチを書いてみよう .....	16
Section 3. 原稿を書き直す .....	19
【参考】 英語で日記を書く(Journal Writing) .....	20
【参考】 スピーチ原稿例 .....	21
<b>Lesson 3. スピーチ発表と質疑応答 .....</b>	<b>23</b>
Section 1. スピーチの伝え方 .....	24
Section 2. 構成のあるスピーチをする .....	27
Section 3. Question & Answer .....	32
【参考】 有名なスピーチの紹介 .....	35
<b>Lesson 4. 議論の作り方 .....</b>	<b>37</b>
Section 1. 事実と意見の区別 .....	38
Section 2. 意見と根拠 .....	39
Section 3. 議論の構成 .....	41
Section 4. 論証の作り方 .....	45
Section 5. 議論を含んだスピーチ作り .....	47
【参考】 2人で即興ディベート・続き .....	50

<b>Lesson 5. 反論の仕方</b>	51
Section 1. 反論と否定側立論の区別	52
Section 2. 反論のフォーマット	54
Section 3. 前提の過ちを指摘する	56
Section 4. 反論を考える練習	58
【参考】 ロールプレイ「それって勘違い！」	61
<b>Lesson 6. 議論の思い付き方</b>	63
Section 1. 登場人物で考える	64
Section 2. 論題特有の観点で考える	66
Section 3. 役割で考える	68
Section 4. 大きな対立軸で考える	70
<b>Lesson 7. 素早く議論を作り反論する</b>	73
Section 1. 紙上ディベート	74
Section 2. Summary & Refute	76
Section 3. 即興でスピーチ(ノートの用意の仕方)	78
Section 4. Point of Information	80
【参考】 Summary & Refute 用表現集 (日本語)	82
<b>Lesson 8. 証拠の使い方</b>	83
Section 1. スピーチ例の分析	84
Section 2. 証拠の種類	85
Section 3. 引用の仕方	88
Section 4. 証拠を疑う	91
Section 5. Cross-examination	92

<b>Lesson 9. リサーチの仕方 .....</b>	95
Section 1. リサーチの種類 .....	96
Section 2. 日常的に行うリサーチ .....	97
Section 3. 特定の論題を調べる①： 調べる前にすること .....	100
Section 4. 特定の論題を調べる②： 資料集め .....	103
Section 5. 調べた後ですること .....	107
【参考】 ロールプレイ「日本人はどうして？」 .....	108
<b>Lesson 10. 初めてのパーラメンタリーディベート .....</b>	109
Section 1. 高校生 & 大学生世界大会 .....	110
Section 2. 高校生世界大会の論題 .....	111
Section 3. パーラメンタリーディベートの原理 .....	113
Section 4. 即興ディベートの諸形式 .....	115
<b>Lesson 11. 授業・部活で行う Short Parliamentary Debate .....</b>	123
Section 1. フォーマットの説明 .....	124
Section 2. 試合中の流れ .....	126
【参考】 Speech Preparation sheet (PM, LO, MG, MO, Reply) .....	128
Section 3. ジャッジの注意事項 .....	134
Section 4. Short Debate を利用した他の練習方法 .....	136
Section 5. Short Debate の先の練習 .....	137
【参考】 国際大会の試合の動画を観て学ぶ .....	138
<b>Lesson 12. Policy Debate (1) Affirmative Constructive Speech .....</b>	139
Section 1. 練習用の試合のルール .....	140
Section 2. Advantage の構成 .....	143
Section 3. 肯定側立論例（日本語） .....	147
Section 4. 肯定側立論例（英語） .....	151
Section 5. Advantage を作る .....	154

<b>Lesson 13. Policy Debate (2) Negative Constructive Speech .....</b>	159
Section 1. Disadvantage の構成.....	160
Section 2. 否定側立論例 (日本語) .....	162
Section 3. 否定側立論例 (英語) .....	166
Section 4. Disadvantage を作る .....	169
<b>Lesson 14. Policy Debate (3) Attack Speech.....</b>	171
Section 1. Attack Speech の役割 .....	172
Section 2. Attack Speech の内容を考える .....	173
Section 3. Attack Speech の発表準備 .....	177
Section 4. Disadvantage への Attack Speech .....	179
Section 5. 練習試合・大会への準備.....	181
<b>Lesson 15. Policy Debate (4) Defense Speech .....</b>	183
Section 1. Defense Speech の理解 .....	184
Section 2. Defense Speech の内容を考える .....	188
Section 3. Defense Speech の発表練習.....	191
<b>Lesson 16. Policy Debate (5) Summary Speech.....</b>	193
Section 1. 全国大会(Policy Debate)の試合形式 .....	194
Section 2. Summary Speech の理解 .....	196
Section 3. Summary Speech の練習 .....	200
Section 4. Judging について .....	203
Section 5. 大会に向けた準備.....	204
Section 6. ディベートを続ける人へ .....	205

## Appendix

### A. Essay Writing 練習用

- 1) ライティングトピック集[A] (2009年の大学入試) ..... 208
- 2) ライティングトピック集[B] (2010年の大学入試) ..... 213
- 3) ライティング用紙 ..... 220

### B. 練習用論題集

- 4) 論題集 Part 1. リサーチの要らないもの(115個) ..... 222
- 5) 論題集 Part 2. リサーチの必要なもの ..... 229
- 6) 論題集 Part 3. HPDU 連盟杯全国大会論題(2012~2018) ..... 232

### C. ディベート用表現集

- 7) 表現集(質問用) ..... 234
- 8) Useful Expressions(パーラメントリーディベート用) ..... 236
- 9) Outline for Beginners(パーラメントリーディベート用) ..... 238

### D. Policy Debate のジャッジングに関して

- 10) Policy Debate のジャッジの仕方の基礎 ..... 240
- 11) フローシート(Policy Debate用) ..... 241

## はじめに

本テキストは、初めて英語でディベートをする日本の高校生向けに書かれた概説書です。2011 年に、大学(院)生ディベーターとしての自分の経験と、当時の勤務校であった渋谷教育学園渋谷中学高等学校の部活での実践をまとめて、初版を完成させました。

高校生向けの教科書を作ろうという思いつきは、2008 年に岐阜県で行われた英語ディベート全国大会（Policy Debate あるいは調査型ディベート形式の大会）に出場した後、帰りの新幹線の中で生まれました。自分たちが学んだことを形にして、後輩に伝えたいという思いがそもそもそのきっかけです。

そんな初版を発行してから、8 年以上が経ちました。顧問の 1 人として自分が指導した 2008 年の渋谷教育学園渋谷のディベーターは、その後それぞれ大学生になり、大学を卒業し、働き始め、既に新しい家庭を持った人もいます。自分も勤務校を変え、今に至っています。

自分にとって思い出深い初版の内容に加えて、この 8 年間で起きた大きな変化を踏まえ、第 2 版ではいくつかの章で加筆をしています。変化としては特に、特に高校生の間でのパーラメントリーディベート、あるいは「即興型英語ディベート」の広まりが挙げられます。

高校の先生同士が協力して運営している、日本高校生パーラメントリーディベート連盟(HPDU of Japan)が開催する HPDU 連盟杯も 8 回目となりました。都道府県大会も開催され、大会のレベルも大変高くなっています。

今回の第 2 版では、少人数の部活動で、そして授業で行うパーラメントリーディベート活動の章が加わりました。「授業で行う Short Debate」という名前で、渋谷教育学園渋谷の北原隆志先生が考案されたディベートスタイルを基にしています。

この本が形になったのは、そして思えば今の自分があるのは、10 年前に練習の日々と共に過ごし、今はそれぞれの道を歩んでいる 4 人の渋谷教育学園渋谷の元高校生ディベーターと、現在に至るまでいつも温かいご指導をくださる北原先生のおかげです。あらためて、心より感謝申し上げます。

一度はこの本の役割も終わり、ディベートに自分が関わることも、これ以上本書を改訂・印刷することはないと一度は考えました。それを思い直させてくれたのは、今の勤務校で英語ディベートに興味を持ってくれた在校生と卒業生です。この本が、英語ディベートを通して皆さんのが一段と輝く助けになりますように。



# Lesson 1.

## 初めてのディベート



### Contents:

Section 1. どうして英語ディベート？

Section 2. 「考える練習」

Section 3. 日常的な思考の背後にあるもの

## SECTION 1. どうして英語ディベート？

### 生きていく上で必要となるディベート

私達の身の回りに、ディベートは溢れています。例えば、皆さんも家族とテレビのチャンネル争いや、お小遣いの値上げ交渉などをしたことがあると思います。生きる上では、選択をしなければなりません。どんなに仲の良い家族や友達とあっても、一緒に時間を過ごす限り、意見の違いに直面します。そんな時には、お互いに意見を述べ、歩み寄りの地点を探る事になります。

学業においても、自分の考えを述べ、他の人と意見をぶつけ合う機会があります。「安樂死の是非について、あなたの是非を述べなさい」と小論文の試験で問われるかもしれません。大学の授業では、「日本の過去 10 年間のアフリカ諸国への ODA 政策をどう評価するか」などの問い合わせに対してレポートを書かされるかもしれません。

さらに、就職活動をする時には、面接官は「どうして我が社にあなたが必要なのか」と聞いてきます。選挙では、どの政党に投票するべきなのか、他の有権者と一緒に選択を求められます。

ディベート活動では、これら自分の意見を根拠を含めて伝え、互いに意見を評価し合う活動で必要なスキルを学びます。そのスキルは、技能(Art)であり、科学(Science)ではありません。何か公式を暗記したり、「ディベートの権威」の言うことを鵜呑みにして身に付ける物ではなく、各自が実践の中で磨いてい

く能力です。練習方法も、数学や物理の勉強よりも、家庭科の調理実習や、体育の授業でのサッカーの練習に似ています。

### ディベートを通じた英語学習

英会話の授業を受けて、天候について尋ねたり、週末の過ごし方について話すことが出来るようになったとします。相手の持っていない情報を、お互いにやりとりできる様になったとします（自分には兄弟姉妹が何人いるかなど）。しかし、それで果たして、本当に英語で話す事が出来るようになったのでしょうか。

普段皆さんは、学校の友達と何について話しているのでしょうか。振り返ってみれば、「どうしてこの小説は面白いのか」といった「Why」に関する話題や、「週末にどの映画を見に行くか」といった、意思決定に関する話題が多いのではないでしょうか。

天候や週末の過ごし方と言った、単なる事実のやり取りだけでなく、こうした「なぜ？」を問い合わせディスカッションが出来てこそ、有意義に英語で話すことが可能になるのではと思います。

### 英語の試験の変化

試問題を覗いてみれば、100 語程度の英文で

### [1] 早稲田大学 政経学部 (2017 年度)

Read the statement below and write a paragraph giving at least two reasons why you agree or disagree with it. (語数指定はありませんが、指定された解答用紙のサイズ、1行 15cm×15 行からすると 100 語前後が期待されています)

- Gay marriage should be made legal in Japan.

### [2] 実用英語検定試験 準 2 級 サンプル問題 (英検ホームページに掲載されたものです)

あなたは外国人の知り合いから以下の QUESTION をされました。

- QUESTION について、あなたの意見とその理由を 2 つ英文で書きなさい。
- 語数の目安は 50 ~ 60 語です。

QUESTION: Do you think students should take part in club activities at school?

### [3] TOEFL (ライティング)

Do you agree or disagree with the following statement? Use specific reasons and examples to support your opinion (30minutes, 300 words).

- Always telling the truth is the most important thing to consider in any relationship.
- Parents are the best teachers.
- Television has destroyed communication among friends and family.

与えられたトピックに関して、賛成か反対か、論拠を含めて書く設問を出す大学が増えています。かつての和文英訳問題から、この様に意見を述べさせる英作文の能力が高校生にも求められています。

また、実用英語検定試験（いわゆる英検）の問題でも、上の級では意見を述べさせる課題が出されます。例えば英検 1 級の 2 次試験では、与えられたトピックから 1 つ選び、自分の意見を英語で述べ、質問を受ける形式になっています。北米の大学に留学する際に受験を求められるTOEFLのライティングの試験でも、ある意見に対して賛成・反対の立場を明らかにして意見を述べる英作文が出題されます。

以上をまとめると、日常生活でより良く生きるためにには、考える習慣を身につけ、人に自分の考えを分かりやすく伝える技能が必要です。また英語を勉強する上では、意見を述べる能力が今後より必要となります。その為の近道が、英語ディベートです。

## SECTION 2. 考える練習

### 3つの課題

本レッスンの残りでは、ディベート的な考え方の導入として、3つの課題に取り組んでもらいます。

#### [課題 1] 「高瀬舟」（森鷗外の作品から）

あなたは江戸時代の代官です。喜助という者が弟殺しの罪に問われています。病気で苦しんでいた弟が剃刀で自害を試みたが失敗し、剃刀がのどに刺さったまま苦しんでいた。弟に剃刀をのどから抜くように請われ、抜けば大量の血が流れ失血死すると分かっていたが、本人の求めに応じた。結果、弟は息絶え、隣人の通報により喜助は捕縛された。この供述が正しいとして、あなたは喜助を罪に問いますか。

#### [課題 2] 少年野球の選手選び

あなたは少年野球のコーチです。大会に出場登録するメンバーを選んでいますが、最後の1人を選ぶ上で悩んでいます。2人いる候補の1人目タケシは、打率が5割でチームで一番のホームラン打者ですが、コーチであるあなたの指示に従わないことがあります。例えば先日の試合では、送りバントの指示を出してもヒットを狙い続け、三振しました。チームメイトの間では、ホームランを打ち試合をひっくり返せる選手ということ、そしてその豪放な性格から人気があります。この選手のおかげで勝てた試合が多くありますが、本人が指示を守らなかったせいで負けた試合もあります。

もう1人の候補、ユキオは平凡な選手です。打率は2割3分で、攻守共に目立った働きはありませんが、コーチであるあなたの指示は必ず守ります。練習には一番早くやって来て、そして一番最後まで残って練習後の片付けをしてくれます。温厚な人柄で、チームをまとめてくれます。しかしながら、努力が結果につながっていません。この選手がいなければ勝てなかつた試合は、あなたの憶えている限りありません。あなたはタケシとユキオのどちらを選手に選びますか？

#### [課題 3] ワクチンを誰に届けるか

あなたは人口600万人のある小さな王国の大臣です。あなたの国では、発病した場合の致死率が60%である大変危険な新型インフルエンザが広まりつつあります。予防用のワクチンを用意していますが、現段階では全国民の1パーセント分しかありません。今後、10万人分のワクチンが毎週入手できる予定になっています。あなたは、ワクチン配布にあたり、国民を以下のa～lのカテゴリーに分類し、優先順位をつけなければなりません（優先順位をつけることに対しては、国民も同意しています）。

あなたの国は周辺を大国に囲まれ、常に軍事的脅威下にあります。科学技術に優れ、特定の産業分野にて世界でリードしています。この科学・産業の優位性によって、あなたの国は保たれています。

- a. 王族(総数は40人)
- b. 政府高官(あなたを含む大臣、国会議員、裁判官など1000人)
- c. 治安維持に関わる人(警察・軍隊、5万人)
- d. 医療従事者(医師・看護師など、5万人)
- e. 高度専門職従事者(大学の研究者など10万人)
- f. 経済・産業界のリーダー(1000人)
- g. 65歳以上の高齢者(60万人)
- h. 妊娠している女性(6万人程度)
- i. 15歳未満の子ども(100万人)
- j. 一般的の成人
- k. 拘置所・刑務所に収監されている人(3000人)
- l. あなたの国に滞在している外国籍の人(留学生、旅行者、外交官、多国籍企業の従業員など、1万人)

## 課題の解説

それぞれの課題について、補足説明をします。まず 1 つ目、「高瀬舟」の根底にあるテーマは「安楽死(euthanasia)」の是非です。

文学者として有名な森鷗外は、軍医・医学者でもありました。その鷗外が、1916 年に発表した小説「高瀬舟」では「積極的安楽死(active euthanasia)」の問題が取り上げられています。江戸時代を舞台とするその小説では、ある罪人が、自分の行った弟殺しについて、護送役の役人に語ります（実際に過去にあった事件記録を元に、鷗外が作品化したものとされています）。

積極的安楽死とは、助かる見込みが無く苦しんでいる者を、薬物など外部的な手段を用いて死に至らせる行為を指し、本人の同意がその前提になっています。現在の日本において、積極的安楽死を行えば殺人罪が適用されますが、幾つかの国では合法化されています。

日本の場合について補足すれば、積極的安楽死に関する司法の判断として、1962 年の名古屋高等裁判所の判決で積極的安楽死が罪にならない要件が出されました。それを受け、1995 年の横浜高等裁判所の判決では、以下に整理された 4 要件が提示されました：

1. 患者が絶えがたい激しい肉体的苦痛に苦しんでいること
2. 患者は死が避けられず、その死期が迫っていること
3. 患者の肉体的苦痛を除去・緩和するためには方法を尽くし他に代替手段がないこと
4. 生命の短縮を承諾する患者の明示的な意思表示があること

それぞれの要件について、どうして必要とされるのか考えてみてください。試しに要件を 1 つ取り除いた場合、どんな問題が生じるでしょうか。

2 つ目の課題に似た状況は、皆さんも経験があるのではと思います。部活のレギュラーリスト選手決めといった人を選ぶ場面以外でも、進学先を決める場合や、新しい電化製品を選ぶときなど、どちらを選んだ方が良いのか二者択一に困ることははあるのではと思います。

最後の課題について、このように不足するワクチンを誰に優先して届けるかは、2009 年に H1N1 型・新型インフルエンザ流行時に実際にアメリカで大きな問題になりました。

米疾病対策センター(CDC)は、妊娠中の女性、医療関係者、25 歳未満の若者、また他の病気により免疫力が低下している者などに優先的に供給するよう勧告を出しました。グランタナモ収容所に収容されたテロ容疑者にワクチンを提供すると決めた政府に対して批判が出たり、また大手金融機関で働く者に優先してワクチンが提供されたという報道の真偽を巡り騒ぎが起こりました。

日本では例年、11 月～12 月のインフルエンザのシーズンでは、ワクチン不足が見込まれる場合、子どもや高齢者を優先したり、現在通院中の患者のみ希望を問う、新規の予約を受け付けないなど病院ごとに対応しています。

考える場合には、自分がどんな理由で判断をしているのか、振り返ってみて下さい。誰かと一緒に考える場合は、お互いにどのような理由でその判断に至ったのか、確認してみて下さい。

### SECTION 3. 日常的な思考の背後にあるもの

最後に、本レッスンのまとめとして、英語ディベートを通じてどんな思考の習慣が身に付くのか紹介します。

まず、ディベートの専門家とも言える裁判官は、どのように判断を下しているのでしょうか。

#### 法廷における判断の根拠

Wise (2000: 94) によると、裁判官はある判決を出す際に、3種類の事柄について考慮するそうです：

1. 過去の判例
2. その判決が社会に及ぼす影響（メリット・デメリット）
3. 社会で広く受け入れられている、法で明文化された原理・原則

例えば、2000年代に注目を集めたマイクロソフト社の事例を考えてみましょう。マイクロソフト社が製造・販売するパソコンのOS、Windowsシリーズはたびたび独占禁止法違反の疑いで裁判の対象になりました。

訴えの中身は、Windowsには予めマイクロソフト社製のインターネット・ブラウザーや音楽再生ソフトといったメディア機能が搭載されているが、これにより他社の同等のソフトウェアを利用者が用いる機会を失わせ、市場競争を阻害しているという内容です。

実際に、韓国の公正取引委員会と欧州委員会はそれぞれ違法性を認め、その対応として

マイクロソフト社はそれらソフトウェアを取り除くか、他社の製品をダウンロードするソフトウェアの搭載を余儀なくされました。

この決定をするために、裁判官がどのような点を考慮したか、上の3類型を基に考えてみましょう。

まず「過去の判例」においては、これまでの独占禁止法に関わる事例を参照し、マイクロソフト社の行いが、著しく公平性を欠き、市場における競争を阻害していると言えるのかどうか、過去の裁判所の判断との整合性を検討します。

次に、違法とした場合、どのような影響を社会に与えるか考えます。アプリケーションソフトのOSへの組み込みが禁止される結果、他社の製品が使われる機会が増すと予想されます。企業間の競争が進み、より良い製品が消費者に提供されるかもしれません。

最後に、その社会が大切にする、法律上でも言及されている原理・原則に鑑みて、違法とする判断は正当化出来るでしょうか。

市場経済での自由な競争が寡占・独占によって妨げられる場合、調停者として政府が介入することは、公共の利益に繋がる大切な役割と認められています。

その一方で、マイクロソフト社が自社の利益を最大化しようと試みることは、資本主義社会において正当な行為であり、また政府の市場への介入は最低限に止められるべきです。この場合、どちらの原理・原則を優先させるべきでしょうか。

## 日常生活での判断の根拠

この3種類の判断の根拠は、専門家だけが参考する特別なものではなく、私達も日常的な思考の中で、意識することなく用いています。例えば、学校の帰り道でお腹が減っていて、目の前にコンビニがあり、ポケットには500円玉が入っているとします。買い物をしますか、それともそのまま帰宅しますか。

いつも買い物をする人であれば、「過去の判例に従い」何か買って食べるかもしれません。買い物をする習慣がない人は、これまで通り寄り道せずに帰るでしょう。

あるいは「判断の影響」を考慮して、ここで買い物をすると、結果として別の欲しい物が買えなくなったり、夕ご飯を美味しく食べられなくなったりするかもしれないで、そのまま帰宅するかもしれません。しかしその一方で、夕方の帰宅ラッシュを無事に乗り切るには、お腹に何か入れておいた方が安全かもしれません。

3番目の観点として、学校が買い物を禁止していれば、「原則に従って」コンビニを素通りすべきなのかもしれません。他方、自分の意志（そして深刻な空腹）をまず尊重して、危険を承知でおにぎりを掴む人もいるかもしれません。

この様に、意志決定における日常的な思考も、専門家のそれと根本では重なる部分があります。さて、本レッスンの冒頭で出した問い合わせに戻りましょう。ディベートをする事を通じて、改めて何が得られるでしょうか。以下に示す最後の課題を通じて考えてみましょう。

## 最後の課題

改めて先ほどの3つの課題で、自分がどう考え、結論に至ったか振り返ってみてください。それぞれの課題において、あなたが用いた根拠は、先ほどの3種類のうち、どれに属する物でしょうか。過去の判例でしょうか、社会への影響でしょうか、何らかの原理・原則でしょうか。分析してみてください。

複数の課題を考えてみたことで、物事を判断する場合、3種類の根拠のうち、通例いくつかを組み合わせて考えていることに気がついたのではと思います。

この様な振り返りを通じて、何らかの新しい洞察を得ることができます。例えば今回の課題を通じて、以下の様な、私達の日常的な判断の背後にある原理・原則が垣間見たかもしれません：

### 功利主義 (Utilitarianism)

功利主義とは、ある行動の価値は、それがもたらす効用によってのみ決定されるとする倫理思想。

功利主義とは、つまりはある行動の善悪はその結果によって定められるとする考え方です。先ほどの「高瀬舟」では、兄は弟の苦しみを取り除きました。この点からすれば、兄の行いは「善い」行動とも言えます。

その一方で、もしこの兄の行動を許せば、似たような動機による、安易で不必要的殺人が増えてしまうかもしれません。

この様に、ある選択のメリット、デメリットを比較して決定をするという考え方方は、功利主義に基づいていると言えます。そしてこ

の功利主義という考え方は、私達の暮らす社会の法制度の根底にある重要な概念の 1 つです。

また、いくらかの人は、喜助が結局は弟の命を奪ったという事実に注目したかもしれません。ある人の行動を、結果からではなく、その行動自体から判断する捉え方は、ドイツの哲学者カントの思想を受け継いだ、義務論と呼ばれる立場につながっています：

### 義務論 (Deontology)

ある行動は、その結果にかかわらず、それ自体に善悪があるとする倫理的立場。人はそんな内在的に善い行いをする義務があると捉えられる。

例えばカントは、「いかなる時でも嘘をつくことは悪である」と述べています。

この、行動の結果からではなく、その行い自体から善悪を捉える立場は、現在ではクローン技術の人間への応用、臓器移植、人工妊娠中絶といった生命倫理(Bioethics)の問題を考える上で、重要性を増しています。

### まとめ

ディベートをして学ぶ事には、単に相手の話を聞き、自分の意見を伝えるスキルが身に付くというレトリックの側面だけでなく、この様に自分が当然としている考え方・価値観を結果として客観視し、問い合わせるという側面もあります。この過程を通じて、先人が洗練させてきた、より大きな概念の理解にも至ることも出来るでしょう。

こうした思考の問い合わせは、裁判官といっ

た専門家だけでなく、私達が実生活においてより良い判断の為し手となるためにも、有益であると思います。

本レッスンはディベートの導入ということもあり、多くの解説を含みましたが、本教科書の残りでは、より具体的な練習課題を通じて、皆さんより良い判断の成し手となるためのお手伝いをします。

### ■引用文献

Wise, S. (2000) *Rattling the Cage: Toward Legal Rights for Animals*. Foreword by Jane Goodall. Cambridge, MA: Perseus Books.

## 【参考】 「高瀬舟」の発表

課題(1)の高瀬舟ですが、英語での発表練習を兼ねて、以下のようなグループ発表に挑戦してみて下さい。

### 【手順】

- ① 2~5人程度のグループに分かれ、以下のどちらの選択肢を選ぶか、グループで話し合います。  
 [Option 1] Kisuke should be punished. (喜助は罰せられるべきだ)  
 [Option 2] Kisuke should not be punished. (喜助は罰せられるべきでない)
- ② どちらを選んだか、またその理由を下の発表用ノートに英語で書きます。
- ③ 各グループの代表者1名が、全体で発表をします。
- ④ 全グループの発表を聞いた後で、どのグループの意見と理由に最も同意したか挙手します。

### ● Presentation Note (発表で用いるノート)

#### ◇ Introduction

- Good [morning / afternoon / evening ]everyone.
- Our group decided  to punish Kisuke.  
 not to punish Kisuke.
- I am going to tell you the reason.

#### ◇ Body

The reason why we reached this conclusion is that

---



---



---

#### ◇ Conclusion

For this reason, our group decided [ to punish / not to punish ] him. Thank you.

### 課題の解答例 (小野暢思が高校1年次に作成)

(143 words) 【Track # 2】

Good morning everyone. Our group believes that Kisuke should not be punished. We have two reasons. Let me explain.

First, the man felt sorry for what he had done. Even though he killed his sister, he did not hate her. Rather, he loved her. He wanted to remove her pain. He did not kill his sister for his own interest. He did it out of his kindness.

Second, the sister had the freedom of choice. In our society, we can have the right to decide what we do as long as we do not harm other people. In this case, she wanted to get rid of her pain. It was her body. It was her decision. The man only helped her to do what she decided for herself.

For these reasons, we believe that the man should not be punished. Thank you.





# Lesson 2.

## 問題解決型の スピーチを作ろう



Contents:

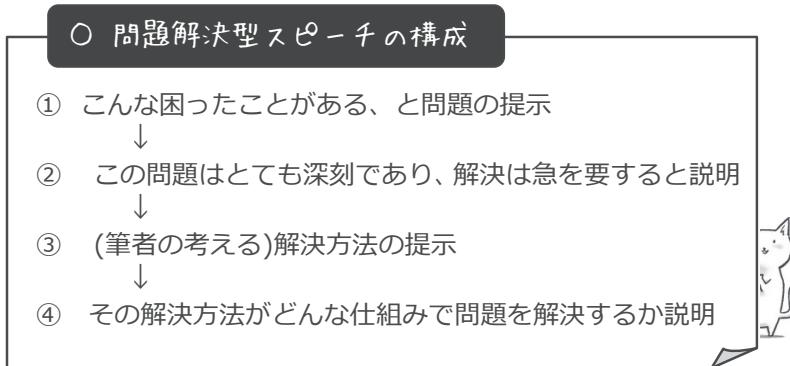
Section 1. 問題解決型のスピーチの構成

Section 2. 問題解決型のスピーチを書いてみよう

Section 3. 原稿を書き直す

## SECTION 1. 問題解決型スピーチの構成

英語ディベートの練習をする前に、一度まとまった分量の英語スピーチを練習してみましょう。スピーチのみならず、論説文でよく見られる文章構成には、以下のパターンがあります：



英語ディベートのスピーチのいくらかは、この問題解決型のスピーチを定型化したものです。まずは、一般的な英語の文章でどうこの形式が使われているか確認しましょう。

### ◆ Task 1.

上の構成例を参考に、意味が通じるように以下の文を並べ替えて下さい。ただし、最初と最後の文は既に与えられています。\*Task 1~3 の解答はこのレッスンの末尾にあります。【CD Track # 3】

[最初の文] The number of young people who do not eat breakfast is increasing.

- ① One good \*solution to this problem is to teach high school students how to cook breakfast easily and quickly. \*solution: 解決法
- ② One of the teachers in the school says that teaching students how to cook encourages them to eat breakfast when they become adult.
- ③ Not eating breakfast is a serious problem because breakfast gives us the important energy which is needed to work or study in the morning.
- ④ For example, one high school in the Saitama prefecture teaches students how to \*prepare breakfast in less than 10 minutes. \*prepare～：～を用意する

[最後の文] I think that this is a good solution, so our school should also teach students how to cook easily and quickly in home economics classes.

[順番] ( ) → ( ) → ( ) → ( )

## ◆ Task 2.

以下の文章を読み、部分③の空所に補うべき 1 文を、本文中の表現を用いて書きなさい（ほぼ抜き書きになります）。

【CD. Track # 4】

- ① The number of people who do not \*vote has been increasing, especially among young people.    \*vote: 投票する
- ② This is a serious problem because the opinions of young people are becoming more and more important because of \*the aging society.  
\*the aging society: 高齢化社会
- ③ In my opinion, in order to \*solve this problem, [ 補うべき語句 ].  
\*solve～：～を解決する
- ④ This plan would increase the \*voting rate among young people. High school students are actually interested in \*politics because of the \*civics classes they are taking.    \*voting rate: 投票率    \*politics: 政治    \*civics classes: 公民の授業
- ⑤ However, when they become 18 years old, they have little interest in politics. This is because most of them are busy studying for the university entrance examinations. What they talk with their friends is anything but politics.
- ⑥ Therefore, giving \*the right to vote to people over 16 must be one of the best solutions to the problem.    \*the right to vote: 投票権

## 【解答欄】

- ① In my opinion, in order to solve this problem, .....
- .....

◆ Task 3.

以下に続くスピーチ原稿からは、下の 2 つのパラグラフが抜けています。本文中のどこに補うのが良いでしょうか。それぞれ、補うべき箇所の、直前のパラグラフの番号を答えて下さい。

Paragraph (A)

[答え] 第( )パラグラフの直前に入れる。

Another solution is to put \*microchips into all pets. Scanning the microchip tells you who the owner is. So, when your dog is lost, injured, or stolen, the chip helps the animal to be returned to you quickly and easily. More importantly, with this chip, no one can throw away their pets because it would be easy to identify who is responsible.

\*microchip: マイクロチップ（ここでは埋め込み式の小型の IC タグ。読み取り機を使うと、そのチップの固有番号を表示することが可能で、データベースと照合してペットの持ち主を特定できる）

\*identify～: ～を特定する

Paragraph (B)

[答え] 第( )パラグラフの直前に入れる。

However, things did not go well. One of the rules of my apartment says: "No pets allowed". We had a long family discussion. In the end, I had to give up. My mother helped me find someone to take care of her.

○代表的な「ディスコースマーカー（道しるべ語）」の一覧

日本語の「しかし」や「それゆえ」と同様に、英語にも話の論理的な流れを示すマーカーがあります。大まかに以下の 4 種類あります。文章を書くとき（また、スピーチをする時）には、読み手に伝わりやすくなるよう、ぜひ使って下さい。

1) 抽象的な内容から具体的な内容へ

For example, ~. (直前の抽象的な内容を具体化するための表現です)

For instance, ~. (直前の主張の根拠となる例を出すための表現です)

such as <具体例の列挙>

2) 逆説的な内容・対比

[逆接] However But Nevertheless Still Yet

[対比] In contrast On the other hand

3) 追加・言い換え

Moreover Furthermore In addition Similarly Also

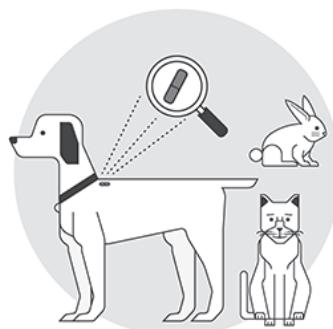
[スピーチ原稿 本文 (補う段落を含めて約 380 語)]

【CD Track # 5】

- ① Good morning everyone. Do you know what my favorite animal is? I love cats so much. Cats are the cutest animals in the world. Seeing them and hugging them make me feel so happy.
  
  - ② So, last December, when I saw a cat in a box on the street, I naturally went up to it. It was one of the loveliest cats I had ever seen in my life. I was so happy. I made up my mind to bring her home.
  
  - ③ From this experience, I have discovered one big problem. People are not responsible enough for their pets. Many pets are thrown out of their houses. I have learned that more than 400,000 pets are killed every year at \*Public Health Centers. I was so shocked. How can we be more responsible for our animals?
- \* Public Health Center: 保健所
- ④ One solution I have in my mind is to ask people to have a license. Like a driver's license, people should take tests in order to be a pet owner. For example, when you want to have a dog, you need to study how to take care of dogs. Also, you have to make sure that you are ready to go for a walk with the dog as often as possible.
  
  - ⑤ This microchip \*was made compulsory in the U.K. in 2016. All dog owners have to make sure that their dog is microchipped. I think Japan should follow suit. I would like you to have some interest in using this microchip so that we can be more responsible for our lovely cats and dogs. Thank you for listening.

\* ~was made compulsory: ~は義務になった

(下) 埋め込んだマイクロチップの読み取りの様子



## SECTION 2. 問題解決型のスピーチを書いてみよう

前の Section で学んだスピーチの形式を元に、それでは皆さんもスピーチ原稿を用意してみましょう(書かないとしても、問題解決型のスピーチを用意する過程を学んでみましょう)。

解決すべき問題と、その解決策が大まかな形で与えられているのが、政策の是非を問うディベートの試合です。英語ディベートの試合も、通常の英語使用の延長線上にあります。

### ◆ Task 4. 「人に伝えてみたい自分の経験を探す」

聞く人の心に残るスピーチは、必ずしも難しい社会問題を扱っても、難しい表現を駆使してもいません。その人でしか語れない、独自の経験・体験があつてこそ、聞く人はスピーチに耳を傾けてくれます。まずは、聞き手の人と共有してみたい、自分でしか話せない経験・体験は無いか探してみましょう。以下の表を埋めて下さい。思いつかない項目は飛ばして構いません。

あなたの経験	
1. 最近嬉しかったこと	
2. 最近楽しかったこと	
3. 最近困っていること	
4. 最近悲しかったこと	
5. 最近驚いたこと	
6. 最近疑問に思ったこと	

### ◆ Task 5. 「自分の経験を話してみる」

Task4 で埋めた表を元にペアを組んで、書いた内容を互いに話してみて下さい。お互いに、相手の経験のうちどれが一番興味深いものか、どれが一番もっと聞いてみたいものか、答えて下さい。

### ◆ Task 6. 「自分の経験を分析してみる」

Task 5で受けたフィードバックを元に、スピーチで取り上げる自分の経験を選んで下さい。その経験には、何か他の人と共有してみたい問題が含まれていないか考えてみて下さい。

- [例] {
- ・「捨て猫を飼おうとしたら、お母さんに反対されて、つらい別れを経験した」  
→ 捨て猫が多いという問題
  - ・「寝坊して朝ご飯を食べずに学校に来て、お腹が減ってる」  
→ 朝食を食べない人が増えているという問題

3) 考えがある程度まとまったら、以下のテンプレートに記入して下さい。

自分がスピーチで話してみたいのは、

という経験で、

それには

という問題が関わっている。

\*注意 自分が話したい問題が、あまりにも個人的なものになりすぎないように気を付けましょう。ほかの人にも共感してもらえそうな、他の人も直面しているような問題かどうか考えてトピックを選んでみてください。

### ◆ Task 7.

それでは、あなたの決めたトピックで、スピーチのアウトラインを作って下さい（日本語と英語のどちらを使っても構いません）。

A. Introduction (あるトピックを導入する小話) :

---



---

B. Problem (解決するべき問題の提示) :

---



---

C. The seriousness of the problem (その解決すべき問題の深刻さ) :

---



---

D. Solution(解決法の提示) :

---



---

E. How the problem will be solved by the solution plan (問題が解決する仕組み) :

---



---

◆ Task 8. 「スピーチ原稿を書く」

以下の要領で、スピーチ原稿を書いて下さい。

ここには、先生から指示されたスピーチ執筆にあたっての注意事項を書き加えて下さい。

例) 原稿は後から簡単に直せるように、手書きではなく PC を使って書くこと。

○英語の文章を書く上で"のコツ

【全体に関して】

- ・文法的正確さを完全には求めず、とりあえず書いてみる。
- ・However、therefore、そして for example といった「道しるべ語(ディスコースマーカー)」を使う。
- ・アウトラインに沿って、パラグラフごとに書く。

【単文と単語について】

- ・英作文は、「英借文」とも呼ばれます。暗唱した単文や、教科書のキーセンテンスの名詞を少し変えるなどして、文を作ります。
- ・難しい表現や単語を使おうとせず、自分のよく知っている語を使い短い文で書く。
- ・英語で何というか分からぬ日本語表現を和英辞典で調べたら、その調べた英単語がどう使われているか、改めて英和辞典で探し、その英和辞典の例文を使って書いて下さい。
- ・伝わり難いかもしれない表現は、以下の具合に、日本語の対訳を続けて言う：  
“dying of too much working, or 過労死 in Japanese”

### SECTION 3. 原稿を書く

書いた文章は、何度か書き直して、ようやく完成します。一晩おいてから自分で読み返す他に、誰かに読んでもらいましょう。

#### ◆ Task 9.

パートナーと書いてきたスピーチ原稿を交換し、以下のチェック項目に注目して読んで下さい。読みながら、「ここは直した方が良いかも」と思った箇所や、「ここは面白い！」と思った箇所に色ペンなどで書き加えて下さい。

読み終わったら、お互いにそれぞれのスピーチ原稿について、どう直したらより良くなるか話し合って下さい。終わったら、もらつたコメントを踏まえて、もう一度書き直してみましょう。スピーチ原稿が出来たら、いよいよ次のレッスンでは発表をします。

#### ○書き直しをする上でのチェック項目

##### 【文法に関して】

- ・意味が通じない文や表現は無いか。
- ・主語と動詞の数の一致は正しいか。  
e.g. She do not have any problems.)

##### 【それぞれの文について】

- ・抽象的な文には、具体的な説明があるか。  
e.g. [抽象的な内容] 「日本の経済は悪化している」  
[具体的な説明] 「失業率が 7 パーセントを超えた」

##### 【内容について】

- ・扱われている問題は、一般の人にも興味を持つてもらえるだけ重要か。
- ・解決案は納得がいくものか。
- ・解決案がどの様に問題を解決するか、分かり易い説明があるか。

#### 【Lesson 内の問題の解答】

Task 1 [ 3 → 1 → 4 → 2 ]

Task 2 people over 16 should be given the right to vote など

Task 3 Paragraph (A) → ④の前 Paragraph (B) → ③の前

## 【参考】 英語で日記を書く (Journal Writing)

皆さんの中で、すでに経験したことのある人もいると思いますが、今回の「おまけページ」では英語で日記を書くことを扱います。過去形さえ使えば文法面で最低限事が足り、そして書く内容に関してあまり考えなくて済むという点で、日記を書くことは容易なライティング活動であると言えます。

書店に行って語学コーナーを覗いてみると、英語で日記を書くための表現・構文集が集められた本が何種類も置いてあるかと思います。どれも内容は殆ど同じで、大抵、1日1つの日記を特定の構文・表現で書かせる構成になっています。

英語の日記は、確かに書くこと自体は他のライティング活動と比べて簡単なのですが、継続することが難しいのが実際です。学校の課題で提出を求められ、先生が添削をしてくれる場合は、とても幸運だと思ってください。何かを書けば、誰かに読んでコメントして貰いたいと自然に思うのでしょうか、自分の日記を誰かに読んで貰う、ましてや英文を直して貰える機会は、中々無いと思います。そして、読んでくれる相手がいない文書を書き続けることは、案外難しい物です。

もし1人で書き続けるのが難しいと思ったら、誰か読んでくれる人を自分で探してみてください。英語の先生でなくても、友達同士で読み合う事も良いと思います。最近では、インターネット上のブログで英語日記を書く事も可能なので、予め何人かの友達と一定期間、日記を書き続けるなどしてみてください。特にディベートの試合をした後、試合内容について振り返って日記に書いてみるのがお勧めです。他の試合でも使えそうな議論、証拠や具体例、そして貰ったアドバイスを日記の形でメモしていくけば、自分のディベート成長記録としてだけでなく、試合で頼れる資料集にもなります。

著者の小林が勤務している豊島岡女子学園高校では、高校1年生の必修科目「英語会話（ディベート）」の課題として、年間で80～100日分ほど日記を書かせています。特製の日記帳を自分が作成し、学校独自の行事や、生徒が特に表現したいだろう事柄（例えば「うちの学校は階段が長い」）を英語でどう表現するかヒントを与え学ばせています。

### お薦めの英文日記帳

- 市販の英文日記帳をいろいろ試しましたが、高校生にぴったりなものは見つからなかったため、ここでは紹介しません。この本の姉妹書Book3「英語ディベート授業用テキスト」の巻末に、自分が作成した日記練習用冊子を2種類、掲載しました。誰か読んで添削してくれる先生を見つけて、ぜひ楽しんで書いてみて下さい。

## 【参考】 スピーチ原稿例

以下に紹介するのは、渋谷教育学園渋谷高校英語ディベート部の部員、大原由佳さんが高校1年次に書いた英語スピーチ原稿です(2010年度 TOEIC エッセイコンテスト最優秀賞を受賞したスピーチの原稿です。著作権保持者である本人とご家族の了承を得て掲載しています)。

このレッスンで学んだスピーチの構成がどう使われているか、そしてこのスピーチのどんな点が特に人を感動させるのか、考えながら読んでみて下さい。

### Every "Onigiri" Tastes Great in the Same Way

OHARA, Yuka

I have a dream. It is to study medicine at a university in America and to take part in solving medical care issues around the world using my linguistic abilities. I used to think that if I had the skills, I would be welcomed by anyone. However, I had failed to notice something very important.

When I was in elementary school, I used to live in New Jersey in America. When I was in first grade, I learned about Martin Luther King, Jr. for the first time. I was very surprised to learn about the fact that black people were being subjected to such cruel, unfair discrimination. I was very shocked despite being young at that time. Through learning about this tragic history, I strongly felt that discrimination must be eliminated. I thought that I had learned something, but I later came to find out that I hadn't.

When I was in second grade, a boy from Kenya came to our school. He lived in the same apartment as me. He was very kind and friendly. We often played tag together with two other American girls who also lived in the same apartment. One day, the four of us made a tree house. It was supposed to be a tree house for all of us, but the two American girls had made a secret password. They told me the password secretly; however, I later found out that my Kenyan friend wasn't told anything. He begged the two girls to tell him the password, but they kept their mouths closed and tried to keep him away. Then I realized that he was being discriminated by his skin color. I remembered about what I had learned in first grade. However I couldn't put my feelings into words and say that they were wrong. All I could do was run away and go home. Soon, my Kenyan friend moved away from our townhouse. I will never forget that day.

When I came back to Japan, I started going to a special English school for returnees. There, I became friends with a girl who's half Japanese and half Senegalese. She wanted to become a nurse in Japan, so she was studying very hard to achieve her goal. However, after a year, her family decided to move to France, where her father grew up. I was shocked. When I asked her why, she told me a sad story. One day, she was baking a cookie in a home economics class. She was kneading the cookie dough when she realized some of her classmates were casting a chilly glance at her. She understood that some people had an instinctive detestation against eating something that someone with a different colored skin had made. She felt very depressed and started to think that even if she became a nurse in Japan, she might not be accepted by some patients. This incident made me think a lot.

Suppose that you went to an "onigiri" shop. If someone with a different colored skin made your "onigiri", how would you feel? No matter who makes the "onigiri", it will all taste delicious in the same way. This might sound obvious but the reality seems that many people are having trouble thinking this way. The truth is, I think, that most people would prefer their "onigiri" made by someone with the same skin color.

When I realized this, I got very worried about what will happen to me if I achieve my goal and go out into the world. Will people from other countries readily welcome my medical treatment? I have learned that although many people understand that discrimination is inhumane, they tend not to be aware of the prejudice that actually controls their real behavior.

I think that the best way to solve this problem is not to fear discrimination. It may take some time to overcome the difficulties, but I believe that an understanding will be developed. I will continue moving towards my dream. By working hard and being active in the world, I'm sure that I can help make the fact that "every onigiri tastes great in the same way" truly global common sense. Yes, I can!

(698 words)



# Lesson 3.

## スピーチ発表と 質疑応答



Contents:

Section 1. スピーチの伝え方

Section 2. 構成のあるスピーチをする

Section 3. Question & Answer

## SECTION 1.スピーチの伝え方

皆さんには、これまでにスピーチの原稿を用意することが出来たと思います。ここでは、英語のスピーチの伝え方に関して、注意する観点を説明します。

### ○ 話し方を評価する観点

- ① Eye contact (アイコンタクト・聴衆を見て話すこと)
- ② Vocal style (声の抑揚の付け方、声量、速さ)
- ③ Use of notes (ノートの用い方)
- ④ Body language (ジェスチャー・姿勢など)
- ⑤ Facial expression (表情)
- ⑥ Attitude (聞き手への態度、緊張・自信の表れ)



まず、①の Eye contact に関しては、スピーチをする時には、出来るだけ下を向かず聴衆と目線を合わせ、語りかけた方が良いということです。一般に、一点だけを見つめるのではなく、聴衆のいる空間を Z 字を描くように見つめるのが望ましいと言われています。

②の Vocal style とは、その名の通り、声の用い方に関する項目です。聞き取りやすい大きさか（小さいのも問題ですが、大きすぎるのも問題です）。強調するべきところで、間を置いたり、強弱の工夫をしているか、速すぎないか、という内容です。この Vocal Style の使い方が上手くなることが、発音の向上にも繋がります。

Eye contact と関連しますが、ノートをどのように用いているか、という項目が③ Use of note になります。ノートの用い方にはいろいろ工夫の仕方があります。紙を小さく切ったノートを複数枚用いる人もいれば、全くノートを使わない人もいます。この項目に関しては、ノートばかり見てずっと下を向いていれば、聴衆に気持ちが伝わらない程度の理解で十分でしょう。

④の Body language では、スピーカーが効果的にジェスチャーを用いているか、またどのような姿勢でスピーチをしているかが問われます。ジェスチャーは、ノートを持っていると使えません。姿勢に関しては例ええば、小刻みに、左右に振り子のように体を動かすスピーカーがいます。スピーチの初心者としては、それらを意識する程度で十分でしょう。

⑤の Facial expression を簡単に説明すれば、「嬉しいときは楽しそうに話し、つらいことを話すときは悲しそうな顔をしながら話す」という事です。

最後に⑥の Attitude では、スピーカーの与える全体的な印象を見ます。これまで、ボディーランゲージや表情などを項目として挙げましたが、それ以外の要素で何か気が付いた点があればこの項目に含めてみて下さい。

### ◆ Task 1. 有名なスピーチの鑑賞

スピーチの名人、とよばれるような人のスピーチを見て、聞いてみましょう。以下の 3 つのスピーチは特に有名なもので、一度は見て、聞いてみた方が良いものです。YouTube といった動画サイトで検索して、探して見て下さい。

探したら、それぞれ冒頭の 1 分間だけ見て、前ページの話し方の 6 つの観点がどう活かされているか、話し合ってみて下さい。

1. John F. Kennedy (Washington, D.C. / January 20, 1961):  
*Inaugural Address, "Ask not what your country can do for you."*
2. Martin Luther King (Washington, D.C. / August 28, 1963) :  
*"I Have A Dream"*
3. Barack Obama (July 27, 2004):  
*Keynote Address at the 2004 Democratic National Convention*

### ◆ Task 2. 先生・先輩のスピーチ鑑賞

次は、先生や先輩に実演をしてもらいましょう。

同じ内容で、一回目は下を向いたり、早口で話すなど、スピーチの初心者がやりがちな過ちをしてもらい、2 回目はいつも通りのスタイルでスピーチをしてもらいます。終わったら、それぞれどう違い、どう伝わりやすくなかったか話し合ってみましょう。

### ◆ Task 3. スピーチ発表会

次ページの評価用紙を用いて、簡単なスピーチ大会をしてみましょう（次のセクションの、「構成のあるスピーチをする」を終えた後でもよいでしょう）。トピックは、前レッスンの物を使ってください。ワークシートを人数分コピーします。

コピーしたワークシートを、切り取り線で切り取り、各スピーカーに対して 1 枚ずつ評価用紙を準備して下さい。評価項目について確認した後、トピックと準備時間を決めて、準備の出来た人からスピーチをします。聞いている人は、評価用紙に記入をしてください。コメントも必ず書いてあげてください。内容に関しては、General Comment の欄に記入して下さい。

1 つ修正箇所を指摘するにつき、2 つ以上良かったところを書いて下さい。全員がスピーチを終えた後、投票でベストスピーカーを選び、その人のどの様な点が良かったか、ディスカッションして下さい。最後に、評価用紙を集め、スピーカーに渡したら終了です。あるいは、参加者の投票で「ベスト・スピーカー」を 1 人選んでも良いでしょう。

Name of the Speaker: ( )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

Name of the Speaker: ( )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

Name of the Speaker: ( )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

---

## SECTION 2. 構成のあるスピーチをする

---

ディベートのスピーチの特徴として、フォーマットがある程度決まっていることが挙げられます。アカデミック・ライティングを教わった事のある人にとっては見覚えのあるものとなりますが、ディベートのスピーチは以下の構成を持っていることが期待されています：

### ○ スピーチの構成

#### I . Introduction (導入)

- A. Opening Line (出だしの文句)
- B. Introduction of the topic (トピックの導入)
- C. Thesis statement (主題文)
- D. Signposting (案内表示)

#### II . Body (本論)

- A. Explanation of the 1st subtopic (サブトピックの説明)
- B. Explanation of the other subtopics (他のサブトピックの説明)
- C. .....

#### III . Conclusion (結論)

- A. Summary (要約)
- B. Indication of the speech end (スピーチの終わりの示唆)

あるスピーチは、まず Introduction (導入)、Body (本論)、そして Conclusion (結論)の3つの部分に分けられ、それぞれに特有の役割と構成要素があります。

まず Introduction では、挨拶などをした後にトピックを導入し、このスピーチ全体で何を伝えるのかまとめた1文を言います。このスピーチ全体の主張をまとめた文は、ライティングでは thesis statement と呼ばれます。最後に、これから自分が何を話すかを、Signpost (標識) を列挙することで示します。Signpost とは、スピーチ本論でのサブトピック名をまとめた短い名詞、あるいはフレーズを指します。新聞記事での見出しに対応します。

次に Body の部分では、Introduction で示した主張を具体的に説明します。聴いている人が、より容易に内容を理解できるように、本論はさらにいくつかの部分に分かれます。つまりは、ライティングにおける、パラグラフに相当する単位を複数述べることによって、ある一貫したメッセージを伝えます。

最後に Conclusion の部分では、伝えた内容をもう一度簡単に繰り返すことによって確かめ、スピーチの終わりを示す挨拶を述べます。それでは実際に、練習してみましょう。

#### ◆ Task 4. 自己紹介スピーチ

次のページのワークシートを使って(コピーして複数枚用意してください)、以下のなかからトピックを1つ選んで 1~2 分間のスピーチを準備して下さい。準備が終わったら、ストップウォッチで時間を計りながら、話してみてください。

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ① My favorite book                | ⑥ My happiest moment in 2009  |
| ② My favorite food / drink        | ⑦ What I have learned in 2009 |
| ③ My favorite item (e.g. iPod など) | ⑧ My best friend              |
| ④ My favorite animal              | ⑨ My family                   |
| ⑤ My favorite pastime             | ⑩ My school                   |

#### ◆ Task 5. 「私のオススメ」スピーチ

以下のトピックから1つ選んで、聴いている人に何かを薦めるスピーチをして下さい。スピーチ時間は同じく 1~2 分間です。

- |                                 |                                    |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ① You should eat (any food).    | ④ You should listen to (any music) |
| ② You should read (any book).   | ⑤ You should buy (any item)        |
| ③ You should visit (any place). |                                    |

#### ◆ Task 6. 議論を含んだスピーチ

以下のトピックから1つ選んで、聴いている人を説得するスピーチをして下さい。スピーチ時間は、2~3 分を目標にして下さい。

- ① Our high school should abolish (廃止する) the school uniform.
- ② Students should be allowed to bring their cell phones (携帯電話) to school.
- ③ The mascot of our high school should be Kumamon.  
(くまモン以外でも、何か面白いものを学校のマスコットにしよう、というトピックで)
- ④ Our high school should keep penguins in the swimming pool.  
(ペンギン以外でも、何か面白い動物を飼おう、というトピックで).

## ◇Presenting a Structured Speech◇

### I ) Opening Line: Attention getter

Good (morning / afternoon / evening) everyone.

---

---

### II ) Introduction: Plan of your speech

(A) Topic: I am going to talk about \_\_\_\_\_

---

(B) Thesis Statement: \_\_\_\_\_

---

(C) Signposts 1st Sub-topic: \_\_\_\_\_

2nd Sub-topic: \_\_\_\_\_

---

### III ) Body: Saying what you want to say

1st Sub-topic: \_\_\_\_\_

---

---

2nd Sub-topic: \_\_\_\_\_

---

---

### IV) Conclusion: Summary and the indication of the end of your speech

Thank you.

Class (        ) #(        ) Name \_\_\_\_\_

## 自己紹介スピーチの原稿例

### (1) My Favorite Food

【CD Track # 6】

Good afternoon everyone. I am going to talk about my favorite food. It is Spaghetti Peperoncino. I love it so much.

I am going to tell you three things: how easily it is to cook, how healthy it is, and lastly and most importantly, how good it tastes.

First, I will tell you how to make Spaghetti Peperoncino so that you can see how easy it is to cook. It takes only four steps. First, cut garlic and hot pepper. Then, boil Spaghetti. Third, using a frying pan, roast garlic and hot pepper. Finally, mix them together with olive oil, salt, and black pepper. That's all. We do not need to spend a lot of time cooking, so it is very good when you are in a hurry.

Second, Spaghetti Peperoncino is healthy because it includes hot pepper, garlic, and olive oil. Hot pepper makes us hot, making our blood circulation better. Garlic is good for making energy. Olive oil is good for reducing your cholesterol level.

Third, Spaghetti Peperoncino is so tasty because it is mildly spicy, thanks to garlic and hot pepper. I love spicy food. The hotter, the better. However, there are some people who cannot eat too much spicy food. For them, this can be a good choice.

In conclusion, I have told you that Spaghetti Peperoncino is very easy to cook, good for our health, and tastes so good. So, we should eat this great food more! Thank you. (244 words 李貴愛が高校1年次に作成)

### (2) My favorite Animal

【CD. Track # 7】

Hello everyone. My topic is "my favorite animal" and it is a dog. In my speech, I am going to tell you that dogs are very useful and good friends to us. First, I will tell you how they help people. Second, how fun it is to play with them. Third, how they make us more responsible people. So, let me explain one by one.

First, dogs can help people. I will give you some examples. As you know, dogs can guide people whose eyes are not good. With the help of dogs, those people can walk outside safely. Also, dogs can protect your home at night. If a thief breaks into your home, dogs will bark at him. In this way, dogs can warn you of the danger and protect your house and your life.

Second, dogs are good friends to us. You can play with your dog. You can

take a walk in the park with your dog. You can play Frisbee with your dog there. To play with your human friends can be sometimes difficult because we have other arrangements and a lot of homework. However, you will never feel lonely if you have a dog. In contrast to cats and most of the other animals, dogs need someone who takes care of them. You can be the one.

Finally, having a dog teaches us what it takes to be a responsible person. Having a dog can be extremely difficult because he or she wants to take a walk even when it is raining. We must give food to them. After sharing so much time together, they would die someday. They are not the TV games, which we can stop playing and simply throw away. They are living. As the owner of my dog, I have to be responsible for him. In this way, dogs teach us some important lessons on what it takes to be a responsible person.

In summary, if you have a dog, you will be able to have many great experiences and learn important lessons as I told you before. So, let's get a dog!

(352 words 小野暢思が中学3年次に作成)

### ○発表会を盛り上げる工夫

- ① 誰かが発表する時には、拍手。発表を終えたらまた拍手して下さい。
- ② 聞きながら、面白いと思ったら笑みを、その通りだと思ったら肯いて下さい。聞いている人のリアクションが無いと、とても話しづらいでしょう。逆に好意的な反応があれば、俄然スピーチも元気になります。
- ③ 全員がスピーチをやり終えた後で、上手かったと思う人を投票して見てください。そして、その人のどこが上手であったのか、話し合ってみてください。
- ④ 直した方がいいところを探す前に、その人のスピーチの良かったところを見つけてください。直すべき個所を1つ指摘するに対して、その人のスピーチの良いところを2~3つほど探してください。
- ⑤ 英語能力が十分に高い場合、あるいはスピーチの構成に慣れてきた場合は、準備時間を減らすか、あるいはトピックをくじ引きで決めて、その場で即興でスピーチしてみてください。



### SECTION 3. QUESTION & ANSWER

今度は、誰かのスピーチを聞き、内容確認の質問をして、要約を発表する練習をします。

#### ◆ Task 7. 質問の練習

[手順]

- ① スピーチを1つ誰かに発表して貰います。
- ② スピーチを聞きながら、次ページのシートに記入をして、要約を作ります。
- ③ スピーチ発表が終わった後で、その内容について以下のフォーマットを用いて確認の質問をします。
- ④ 確認した後には、ワークシート Body(3)の箇所でそのスピーチについて自身の意見を示して下さい。
- ⑤ 最後に、そのスピーチの要約を誰か1人が発表します。
- ⑥ どれだけ正確・簡潔にまとめることができたか講評し合ってみて下さい。

#### ■ Format for Questioning

Good [morning / afternoon / evening] everyone.

Let me ask ..... (質問をする相手の名前、または単に you) some questions.

##### (1) 聞き取ったことの確認 (Yes-no questions)

- The topic of your speech was ..... . Is that right?
- You believe that ..... . Is that right?
- You have ( one / two / three ) reasons to support. Is that right?
- Your first reason was that ..... . Is that right?
- Your second reason was that ..... . Is that right?
- In your conclusion, you said ..... . Is that right?

##### (2) 聞き取れなかったことの確認 (Wh-questions)

- What do you mean by saying ..... ?
- What was the topic of your speech?
- What was your opinion on the topic?
- What was your ( first / second / third ) reason?
- Could you clarify your example for the ( first / second / third ) reason?

Thank you.

## Making a Summary Speech

### ■ Introduction

- Good [morning / afternoon / evening ]everyone.
- I would like to summarize the speech of ..... (スピーカー名).

### ■ Body (1)

- The topic of [ his / her ] speech was .....
- [ He / She ] thinks that .....
- [ He / She ] gave us [ one / two / three ] [ reasons / subtopics ] to support [ his / her ] opinion.

### ■ Body (2)

- First [ reason / subtopic ] was about ..... .
- [ He / She ] thinks that .....  
.....
- Second [ reason / subtopic ] was about ..... .
- [ He / She ] thinks that .....  
.....

### ■ Body (3)

Now, let me give you my opinion. I [ agree / disagree ] with [ his / her ] opinion because

.....

.....

### ■ Conclusion

This is the end of my summary speech. Thank you.

Class (        ) #(        ) Name

## Summary Speech Evaluation Sheet

■ The Name of the Summary Speaker :

(1) Speech Manner

The number of questions	(        ) times
Speech Delivery	1 2 3 4 5

(2) Matter

	Note (要約スピーチの内容をメモして下さい)	Score
Introduction		1 2 3 4 5
1 <sup>st</sup> reason		1 2 3 4 5
2 <sup>nd</sup> reason		1 2 3 4 5
3 <sup>rd</sup> reason		1 2 3 4 5
Opinion		1 2 3 4 5

(3) Total Score [ ..... / 30 ] (←単純に各 Score を合計して下さい)

■ The Name of the Summary Speaker :

(1) Speech Manner

The number of questions	(        ) times
Speech Delivery	1 2 3 4 5

(2) Matter

	Note (要約スピーチの内容をメモして下さい)	Score
Introduction		1 2 3 4 5
1 <sup>st</sup> reason		1 2 3 4 5
2 <sup>nd</sup> reason		1 2 3 4 5
3 <sup>rd</sup> reason		1 2 3 4 5
Opinion		1 2 3 4 5

(3) Total Score [ ..... / 30 ] (←単純に各 Score を合計して下さい)

## 【参考】有名なスピーチの紹介

既に紹介した3つ以外にも、インターネットを利用すれば、英語の名演説を簡単に聞くことが出来ます。以下に挙げたスピーチも、それぞれ聞くだけの価値があります。Googleで検索すれば、音声・スクリプト、最近のものであれば動画も見つかります。ぜひ聞いて、気に行ったスピーチを1つ選び、その話し手に成りきってスピーチ練習をしてみて下さい。

### 有名なスピーチ（年代順）

1. Franklin Delano Roosevelt (December 8, 1941):  
*Declaration of War against Japan*
2. Douglas MacArthur (April 20, 1951):  
*"Old soldiers never die, they just fade away"*
3. John F. Kennedy (West Berlin, Germany / June 26, 1963):  
*Speech at the Berlin Wall, "Ich Bin Ein Berliner"*
4. Lyndon B. Johnson (March 15, 1965):  
*Address to congress on voting rights. "We Shall Overcome"*
5. Robert F. Kennedy (Indianapolis / April 4, 1968)  
*Remarks on the Assassination of Martin Luther King, Jr.*
6. Governor Mario Cuomo (San Francisco, CA. / July 16, 1984):  
*Keynote Address, "This is how we were warned it would be."*
7. Reverend Jesse Jackson (San Francisco, CA. / July 16, 1984):  
*Address to the Democratic Convention, "God is not finished with me yet."*
8. Ronald Reagan (January 28, 1986)  
*The Space Shuttle "Challenger" Tragedy Address.*
9. Bill Clinton (to church leaders in Memphis / November 13, 1993):  
*Remarks to the Church of God in Christ in Memphis, "If Martin Luther King were to reappear"*
10. Bill Clinton (Normandy, France / June 6, 1994):  
*President's Address at the US National Cemetery*
11. George W. Bush (Washington, D.C. / September 20, 2001):  
*Address to Congress After the Attacks of September 11*





# Lesson 4.

## 議論の作り方



### Contents:

Section 1. 事実と意見の区別

Section 2. 意見と根拠

Section 3. 議論の構成

Section 4. 論証の作り方

Section 5. 議論を含んだスピーチ作り

## SECTION 1. 事実と意見の区別

英語ディベートを通じて、私達はより良い説得の仕方を学ぼうとしていますが、そもそも何を説得させようとしているのでしょうか。説得させる物は、意見(Opinion)です。例えば、広告ではその商品に関する様々な事実(Fact)を提示して、結果的に「あなたはこの商品を買うべきだ」という意見を認めてもらおうとします。また選挙での候補者は、過去の自分の経験や実績などの事実を踏まえて、最終的には「私に投票するべきだ」という意見に繋げます。

誰かに説得されている時には、何が事実で何が意見なのか区別して聞けば、その可否の判断がより容易になります。また逆に、説得をする上でも両者の区別をしておけばより話を整理しやすくなるでしょう。

### Task 1. 事実と意見を区別する(distinguishing facts from opinions)

それでは両者の区別の練習をしてみましょう。以下の文を読んで下さい。それが意見(Opinion)であるか、事実(Fact)であるか、該当する方を選んでください。

1. Shibuya is the best place to live in Japan. [ Opinion / Fact ]
2. Shibuya is the name of a city in Japan. [ O / F ]
3. A dog has four legs. [ O / F ]
4. A dog is better animal than a cat. [ O / F ]
5. Children are not allowed to drive a car in Japan. [ O / F ]
6. Driving a car can be dangerous. [ O / F ]
7. The novel, "Kokoro" was written by Natsume. [ O / F ]
8. The novels written by Natsume are interesting. [ O / F ]
9. Ichiro is a great baseball player. [ O / F ]
10. Ichiro is a baseball player. [ O / F ]
11. Japanese government should abolish death penalty(死刑). [ O / F ]
12. Japan is one of the countries that still have the death penalty. [ O / F ]

解答は次のページにあります。まずは見ずに、考えてみましょう。

### [解答]

意見であるのは、1, 4, 6, 8, 9, 11 です。多くの意見には、“qualifier word”という何かが「大きい」や「美しい」など話し手の価値観を示す語が付いており、上の練習問題では“best”, “better”, “dangerous”, “interesting”, そして“great”がそれに該当します。また「～をするべきだ」や「～に違いない」という話し手の判断を示す、should や must といった助動詞を含む文も、意見に含めることができます。

何が意見で、何が事実なのかを区別することは時には難しくもあります。事実とは、Adams & Brody (2000:204) に拠れば、「証明でき、実際に存在し、あるいは皆が真実だと同意する物 (something that can be proved, that actually exists, or that everyone agrees is true)」と定義されます。また、意見は「ある人が持つ、誰かあるいは何かに対する信念・判断(someone's belief or judgment about someone or something)」と定義されています。先ほどの問題は比較的容易に区別出来たかと思いますが、中にはどちらとも言えない文もあります。

### Task 2. 事実と意見を区別する [応用]

最近学校の授業で読んだ英文を読み返し、事実の文と意見の文をそれぞれマークして下さい。その際には、“good”, “bad”, “terrible”, そして“great”といった形容詞、“should” や “must” といった助動詞、そして “it seems ~”, “it is likely that ~”, “in my opinion”といったフレーズに注意して下さい。判断が難しい文は、無理にどちらかに分類せず、その旨メモして下さい。

---

## SECTION 2. 意見と根拠

---

前節では、事実と意見を区別する練習をしました。意見は人によって異なり、本当であるかどうか疑問の余地が残る物です。こう書けば、意見はあまり良い物のようには聞こえませんが、もし人が事実しか言わなくなったら世界はどうなるでしょうか。ニュース原稿の様な言葉でしか語れない世界は、きっとつまらない物だと思います。人が意見を言えるからこそ、対立や誤解が生まれ得る一方で、その人でしか語れない豊かな知識を共有することが出来ます。

意見を相手に効果的に伝えるには、その根拠も示す事が必要になります。どうして自分がそんな意見を持っているのか、その根拠を加えることで、相手が理性に基づいて同意する事が出来ます。また賛成できないのであれば、どうしてなのか検討を可能にするので、より生産的に話すことが出来ます。

例えば、「電車の優先席は廃止するべきだ」という意見を持った人がいたとします。しかし、その意見だけを聞いたら、ほとんどの人は単に反対するか、もしくは「変なことをいう人だ。お年寄りなどへの配慮の足りない人だ」と判断するかもしれません。しかし、こんな説明が加えられればどうでしょうか：

なぜなら、優先席があるが故に、それ以外の座席でお年寄り等に席を譲らなくなるからだ。目の前に妊婦さんが立っていても、優先席に行けば良いと考え、席を譲らない人がいる。どの席でも特別な配慮が必要な人には席を譲るべきであって、優先席という、それ以外の場所では譲らないことを正当化する座席は望ましくない。

実際、先日混んでいる電車の中で、お年寄りに席を譲らず携帯ゲーム機で遊んでいた人がいた。混雑した車内では、優先席まで動くことがきっと無理だったにも関わらず。

もし優先席が無ければ、全ての座席がいわば「優先席」になり、もっと譲り合いが起きるはずだ。こんな理由で、自分はそう思う。

理由も含めて伝えることで、今度は聞き手の人も、話し手の意見に対してきちんと考えて返答してくれるでしょう。

この様に、意見にその根拠が加わった物を、以下では議論 (Argument)と呼びます。また、根拠は大まかに 2 種類に分けることが出来ます。どうしてその意見が正しいと言えるのかの論証 (Reasoning)と、その証拠(Evidence)です。前者は、順を追った論理的な説明で、上の例では「なぜなら～望ましくない」がその部分に当たります。また証拠は、「実際～」の部分が、対応します。以上の関係は、以下にまとめることができます：

### ○ 議論の構成(The structure of an argument)

- (1) 意見(\*Opinion, Claim, Assertion) + 根拠(Support)=議論 (Argument)
- (2) 根拠 (Support) = 論証 (Reasoning) + 証拠 (Evidence)

\*opinion, claim, そして assertion はそれぞれ同じ意味で用いられています。

### Task 3. 2人で即興ディベート

これらの要素を踏まえて議論を作る前に、一度自分がどれだけ話せるのか練習を兼ねて確認してみましょう。以下の課題を行って下さい。

ペアを組み、以下の論題(英語では Motion と呼びます)から 1つ選び、賛成・反対に分かれて相手の説得を試みて下さい。

#### [論題]

- A. We should ban the giving of chocolate on St. Valentine's day in high schools.  
「高校でバレンタインの日にチョコレートをあげる事を禁止するべきだ」
- B. High school students should have a part-time job.  
「高校生は何らかのアルバイトをするべきだ」
- C. High schools should abolish the school uniform.  
「高校は制服を廃止するべきだ」

#### [やり方]

- ① ジャンケンをします。勝った人が賛成側、負けた人が否定側になります。
- ② この論題に関して自分の役割に応じて相手を説得して下さい。時間は 1 分です。
- ③ 相手の発言に対して何も言い返せなかつたり、5 秒間以上沈黙してしまった方が負けです。2 人とも英語でずっと話し続けることが出来れば、引き分けです。

## SECTION 3. 議論の構成

英語ディベートで何か議論を提示する時には、必ずこの様な構成で話さなければならない、という決まりはありません。説得の仕方は科学 (Science)ではなく、水泳や料理の仕方と似た、一種の技術(Art)であり、万人が従う必要があり、その通りにやれば必ず成功する話し方はありません。しかし経験則的に、こう話せばより聴衆に分かってもらえる、この順番で話せばノートをきちんと取ってもらえる、というフォーマットがあります。この Lesson の残りでは、その型を導入し、実際にその構成に沿ったスピーチをすることを目標とします。それでは実際に、1 つの議論を含んだスピーチ例を見てみましょう。

Good morning everyone. Today, I want to talk about a very important issue in our school. It is about what we do on the February 14th. Yes, it is about St. Valentine's Day. I believe that the giving of chocolate on St. Valentine's Day should be banned in our school. I will give you one argument. That is the psychological harm on unlucky boys. I will explain to you that this practice should be banned because St. Valentine's Day makes unlucky boys feel so bad.

What is St. Valentine's day? On that day, girls give chocolate to boys. This makes boys feel really good. This is because he can feel being cared for and respected by female friends. Also, the number of gifts you get tells you how popular you are. However, please imagine a situation when you get no chocolate at all. You may be depressed. You may think that no one likes you. It is a nightmare.

For example, my friend did not get any chocolate this year. Because of this, he got sick and had to be absent from school for several days.

Why is this point important? This is because school should provide students the best learning environment. If St. Valentines' Day makes it difficult for some innocent boys to study, it should be banned. School is the place for study. For this reason, I beg to propose. Thank you. (243 words)



先ほどの課題で扱った、バレンタインに関する論題でのスピーチ例です。このスピーチには、どの様な構成があるでしょうか。まず、先ほど学んだ意見(Opinion)と、「論証(Reasoning)+証拠(Support)」という根拠(Support)の部分を探してみましょう。

Opinion は、“it should be banned because St. Valentine's Day causes some unlucky boys to have very bad feelings”になります。論証(Reasoning)は第2段落になり、一般的に正しいと考えられている命題を組み合わせて、どうしてその意見が成り立つか主張が根拠づけられています。最後に“For example,”で始まる第3段落が、証拠(Evidence)の部分になります。

このスピーチには、これまで説明した以外の要素が含まれています。確認してみましょう。まず、議論をスピーチとして伝える場合は、議論に名前を付けることで、聞き手に続く内容を予

想させると同時に、メモをする上でのラベルを与えることができます。この議論につけられた名前は、サインポスト(Signpost、「標識」のことです) と呼ばれています。上の例では、第 1 段落での “That is the psychological harm on unlucky boys” がそれに当たります。サインポストは大抵、名詞やフレーズで与えられます。その名前を聞いただけで、聴衆の人が内容を想像出来るような物を選びます(動名詞を使い目的語を加えると、特に分かり易くなります。例えば、“saving unlucky boys” という具合に)。

さらに、このスピーチでは議論の内容自体に関わるもう 1 つの要素が加わっていました。最後の段落の、“Why is this point important?”と、それに続く 3 文です。「チョコをもらえなかつた男子生徒が悲しみのあまり学校を休んでしまう。例えば自分の友達がそうだ」という内容に続いて、どうしてその様な不幸な男子生徒に配慮することが大切であるのか、説明しています。

議論の中には、確かにそうかもしれないが、重要性が低いものもあります。例えば、「チョコレートを食べると虫歯になりやすいから禁止するべきだ」と言ったとします。歯を磨けば良い程度の問題で、重要性が低いと思われてしまうかもしれません。また他の例として、「高校でバレンタインを禁止するべきだ。なぜなら、バレンタインはチョコレート会社が仕組んだ巧妙な販売促進キャンペーンであるからだ」という議論があったとします。仮に本当に、バレンタインがチョコレート会社が売り上げを伸ばすための戦略の 1 つであったとしても、だからといって、どうして高校でチョコのやり取りを禁止する事に繋がるのか、関連性が分かりません。

この様に、ある議論の論証と証拠は伝わっても、その重要性と関連性が理解してもらえない場合もあります。その時のために、最後にこの 2 点について説明があると議論がより受け入れてもらい易くなるでしょう。まとめると、1 つの議論には、先ほどのものに加えて、「重要性(Importance)と関連性(Relevance)を加えた、以下の構成があると期待されます：

### ○ 議論の構成・改訂版

- ① Signpost (標識・議論名)  
議論の名前 (新聞記事での見出しに相応する物)
- ② Opinion / Assertion / Claim (主張・意見)  
議論の要旨を 1 文にまとめた物 (新聞記事でのリード文)
- ③ Reasoning (論証)  
どうしてその主張が成り立つか、段階を追った説明
- ④ Evidence (証拠)  
主張を裏付ける例、小話、統計など
- ⑤ Importance (重要性) / Relevance (関連性)  
その議論がどうして重要で、関連性があるのかの説明

#### Task 4. 議論の構成の分析

以上の説明を踏まえ、以下のスピーチ原稿を読んでみて、先ほど説明した 5 つの要素を探してみましょう。それぞれに対応する箇所をマークしてみてください。

【CD. Track # 9】

Hello everyone. The \*motion before us today is that we should \*abolish school uniforms. I strongly support this motion. I will give you one reason which is about the dirtiness of the school uniform. I will argue that because school uniforms are so dirty and may make us sick, they should be abolished.

Let me explain to you why this is the case. First, let me ask you how we use school uniforms. We wear the same jacket, pants, or skirt every day. Only at the arrival of a new season do students usually change their uniforms. They are not washed or cleaned frequently. In short, they are quite dirty.

Please remember the smell of your friend's uniform in summer. It was soaked with sweat. You can easily understand how it is dirty. School uniforms may make you sick.

Then, please imagine the situation when we abolish school uniforms. What will happen is that students wear different clothes every day. When we were in elementary school, where there was no uniform, we wore different clothes every day. This is a much better on for children's health.

Why is this issue so important? Of course, children are weak and need to be protected against potential harms such as diseases. Our School has the responsibility to make sure that children will not get sick because of bad health conditions. For this reason, I \*beg to propose. Thank you. (234 words)



\*motion: 論題      abolish～: ～を廃止する      beg～ : ～を熱心に頼む

このスピーチ例で特に工夫されていることは、現状の制服の問題の説明を まずした上で、その後で制服廃止の提案が受け入れられたら何が起こるか、大まかに 2 つに区切って論証が行われている点です。この様に、何らかの行動を促したり、政策の採用を求めるスピーチでは、「現状の問題の説明」と「政策導入後にどう問題が解決されるかの説明」を論証として行えば、特に伝わりやすくなるでしょう。前者を説明するときは、“Let me explain the status quo (現状)” で始め、後者の説明に移る際には、“Then, after the plan adoption,” というフレーズを使うのが、日本のディベーターの間で文化のようになっています。

---

## SECTION 4. 論証の作り方

---

論証(Reasoning)、という言葉を聞くと厳密さを求められる数学の証明や、「人は死ぬ。ソクラテスは人だ。よってソクラテスは死ぬ」という3段論法を思い浮かべる人がいるかもしれません。その様な論証が出来るにこしたことはありませんが、日常生活で何かの理由づけを行おうとしたり、ディベートで議論をする場合には、その様な論証は不可能か、煩雑になりすぎて聞き手を退屈させてしまうでしょう。厳密な立証を行えるほど、実際の世の中は抽象的でも単純でもありません。聞き手が受け入れてくれる限りで、大まかな説明で構いません。

この Opinion (別の用語では Assertion) と Reasoning の関係を理解する上で役に立つのは、「風が吹けばおけ屋が儲かる」という江戸時代の諺です。あるいは、カオス理論の説明でよく用いられる、「北京の蝶の羽ばたきが、ニューヨークで嵐を起こす」という主張が参考になります。それぞれどうしてその主張が成り立つか一見分かりませんが、一般に正しいと思える小さな命題をいくつも提示することで、原因と結果の関係が成り立つことを示せます。例えば、「風が吹けば～」には以下の論証が与えられています：

- ・風が吹くと、砂ぼこりが立つ。
- ・砂ぼこりが目に入って、こすってしまい、目の悪くなる方が増える。
- ・目の悪い方でも活躍できる職業である、三味線弾きになる人が増える。
- ・三味線を作るため、材料となるネコがたくさん捕まえられる。
- ・ネコがいなくなると、ネズミが増える。・ネズミは家の柱をかじる。
- ・柱が傾くと、家が傾く。(これ以降の流れについては諸説あります)
- ・家が傾くと、屋根瓦が落ちる。・落ちた瓦に当たり、亡くなる方が出る。
- ・亡くなった方の葬儀のために、棺おけがたくさん必要になる。
- ・ゆえに、おけ屋が儲かる。

ずいぶん失礼な内容も含んでいますが、なるほどそうかも、とも理屈の上では納得させられるかもしれません。論証ではこの様に、一般に正しいと認識されている情報を組み合わせて、主張がなぜ成り立つかを示します。

論証とは何か比喩的に説明すると、ある出発点から到着点までの道筋の説明だと思ってください。「地球温暖化が進むと、アイスクリーム会社の業績が上がる」という意見があるとします。この場合は「地球温暖化が進む」というスタート地点から、「アイスクリーム会社の業績が上が

る」というゴールに至るまで、その途中の道筋を説明するのが論証だと言えます。確認のために、以下の練習問題に挑戦してみて下さい。

### Task 5. 論証作りの練習①

ペアを組み、以下の3つのトピックについてそれぞれ相手に説明して下さい。

- (1) あなたの家から学校までの道筋を、英語で誰かに説明して下さい。
- (2) “If you have a younger brother or sister, you would be a more responsible person”という意見の論証を誰かに説明してください。
- (3) “If you have a boyfriend or girlfriend, your life will be happier” という意見の論証を誰かに説明して下さい。

### Task 6. 論証作りの練習②

論証をより分かりやすくするためには、内容をさらに大まかに2つあるいは3つのブロックに分けてスピーチすると良いでしょう。例えば家から学校までの行き方を説明する際に、電車を使って通学しているのなら、家から駅まで、出発駅から到着駅まで、そして駅から学校までという3つの段階(steps / levels)に区切って説明するとより分かりやすくなると思います。

再度の確認になりますが、先ほどのTask4での高校での制服廃止の論証では、まず制服がいかに衛生的でないか説明されています。その次に、もし廃止されたら何が起こるか説明されています。この様に、ある行動でどんな変化が起こるのか説明する場合は、まず現状の問題を説明し、その次にもしその行動をとったらどうその問題が解決するのか、という具合に行動の前後を明確に区切れば分かりやすくなります(ダイエット食品・機具の広告でよく見かける「Before / After」の説明と同じ構成です)。この様に、論証をブロックに分ける習慣をつけると、より複雑な議論も比較的伝え易くなります。確認のために以下の練習をして下さい。

- (1) あなたの家から学校までの道筋を、今度は明確に幾つかの段階(step / level)に分けて英語で説明して下さい。
- (2) 同様に、“If people use bicycles instead of cars, polar bears(ホッキョクグマ) will be happier.” という意見の論証を、幾つかの段階に分けて説明して下さい。
- (3) 今度は、「Before / After」で区切って、“if there is no homework, students will become more independent” という意見の論証を行って下さい。

## SECTION 5. 議論を含んだスピーチ作り

それでは、実際に 1 つの議論を含んだスピーチをしてみましょう。スピーチの準備には次ページのワークシートを使って下さい。論題は以下のものから 1 つ選んで下さい。

[Topic: Education]

- (1) School libraries should have comic books.
- (2) There should be no homework.
- (3) Children should be given money as their birthday present.
- (4) Corporal punishment (体罰) is justifiable.
- (5) Students should be allowed to choose their own teachers in school.
- (6) There should be no final examinations(期末試験).
- (7) Students should join an athletic club (体育会系の部活) .
- (8) Parents are the best teachers.

準備が終わったら、発表をしてみてください。何か紙を用意してノートを取りながらスピーチを聞いてみてください。終わったら、誰のスピーチが内容、議論の構成、話し方の点で良かったか、話し合ってみてください。



## ◇Making an Argumentative Speech◇

### ■ Introduction

- Good [morning / afternoon / evening] everyone.
- I believe that \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### (1) Signposting

I will give you one argument. It is \_\_\_\_\_

### ■ Body

#### (2) Opinion (Claim)

[I will explain to you / My claim is] that \_\_\_\_\_

#### (3) Reasoning

My reasoning is as follows.  
\_\_\_\_\_

#### (4) Evidence

There is supporting evidence.  
\_\_\_\_\_

#### (5) Importance / Relevance

This argument is [important / relevant] because  
\_\_\_\_\_

### ■ Conclusion

- For this reason, I beg to propose. Thank you.

Class(      ) #(      ) Name \_\_\_\_\_

## ◊Taking Notes of Argumentative Speeches◊

■ Speaker Name: \_\_\_\_\_

Motion:

(1) Signpost	
(2) Opinion/Claim	
(3) Reasoning	
(4) Evidence	
(5) Importance / Relevance	

■ Speaker Name: \_\_\_\_\_

Motion:

(1) Signpost	
(2) Opinion/Claim	
(3) Reasoning	
(4) Evidence	
(5) Importance / Relevance	

## 【参考】 2人で即興ディベート・続き

本レッスンでも紹介した、「I think that～ because …」という様に、ある事柄に関して賛成・反対の立場を取って理由を説明する活動を、もう少しやってみましょう。

以下のトピックは、「A は B より良い」というグループと、「A は B をするべきだ」というグループの2つに分かれています。前者のトピックでは1人がAの擁護者、もう1人がBの擁護者になり（「ジャンケンで勝った人がA」という様に決めて下さい）、相手の説得を試みます。後者のトピックでは、1人がその命題に賛成、もう1人が反対の立場で同様に説得を試みます。

制限時間は1分から2分程度に決め、5秒カウントをして、沈黙をしてしまった方が負けです。

### Topics

#### (1) A is better than B

- Snowball fighting (雪合戦) is better than snowman making (雪だるま作り).
- Garigari-kun (ガリガリ君) is better than Häagen-Dazs ice cream.
- Haiku contests are better than debate competitions.
- Playing Kemari (蹴鞠) is better than playing soccer.

#### (2) A should do B

- Teachers should not give homework to students.
- We should not give “Giri chocolate (義理チョコ)” on St Valentine Day.
- We should not give “Otoshidama (お年玉)” to children.
- We should eat penguins.

上に挙げたトピックを全て終えてしまったら、今度は自分たちで新しい物を考えてみてください。どんな物とどんな物が比較対象としてあり得るのか、どんなトピックであれば話が面白くなるのか、そんな点に注意して案を出してみて下さい。思いつかなければ、「食べ物対決（うどん対パスタ）」、「場所対決（東京対京都）」、「作品対決（「名探偵コナン」対「ドラえもん」）」という観点で探してみて下さい。



# Lesson 5.

## 反論の仕方



### Contents:

Section 1. 反論と否定側立論の区別

Section 2. 反論のフォーマット

Section 3. 前提の過ちを指摘する

Section 4. 反論を考える練習

## SECTION 1. 反論と否定側立論の区別

これまでの練習で、議論を1つ含んだスピーチを行えるようになりました。今回から、いよいよディベートらしく、お互いの議論に対して応答し合っていきます。まず始めに、かみ合った議論をするためには、どの様な反論をすることが望ましいのか確認します。

一般に「議論が平行線を辿る」という状態は、反論が上手くいかなかった場合に起きます。例えば、次の議論があったとします。

### ■ 議論の例: : English should be an official language(公用語) of Japan.

【CD. Track # 10】

I strongly believe that English should be an official language of Japan. This is because it would promote Japanese people to learn English more and enables them to communicate with non-Japanese people more easily.

In Japan, the number of people who do not speak Japanese is increasing. Some of them are travelers and some of the others are workers from foreign countries. Because of the language differences, they have some difficulties in communicating with Japanese people, which sometimes causes serious inconveniences in daily life for them.

If English is made an official language, Japanese people will be compelled to learn more English. Consequently, the number of Japanese who can communicate with non-Japanese people would increase.

This plan is important as Japan can be more friendly to non-Japanese people. For this reason, I beg to propose. (134 words)



英語を公用語にするべきだ、という論題に対し、その理由として、英語を使えば日本人は英語をより学ぶようになり、ノン・ジャパニーズの人とよりスムーズに意思の疎通ができるようになるから、と主張されています。この意見にどう反論しましょうか。

日常生活で議論が平行線をたどっている時、それは往々にして反論のつもりで、別の議論をぶつけていること、つまり否定側の立論をしていることが原因です。

例えば、家族とのテレビのチャンネル争いを思い出してみてください。「学校に行って友達と話題についていけないと困るから、友達はみんな見ているドラえもんを見たい」と、あなたが言ったとします。それに対して、お父さん（あるいは他のご家族）は、「自分が応援しないと、また今年もヤクルトは負け続けるので、どうしても野球中継を見たい」という趣旨のことを、よく言うのではないか（言いませんか？）。お互いに、友達づきあいにおけるドラえもんの役割と、ヤクルトを応援する必要性を主張しあい、結局は（お母さんが止めなければ）ケンカになってしまふかもしれません。これは、お互いが自分の言い分だけを話し、相手の議論に対して反論を行っていないことが原因です。

英語公用語に関する議論に戻ると、例えば「英語を公用語にすると、行政上の書類を日本語と英語の2種類作成せねばならず、とてもコストがかかるので反対だ」または「英語を公用語とすると、日本語が疎かになるので反対だ」と言い返したとします。これでは、お互いに自分が賛成、反対する理由を述べただけで、議論がかみ合わず最後にはケンカになってしまいます。それでは、どうすれば相手の言い分を聞いた上で、反論することが出来るのでしょうか。反論の例として、例えば以下の様なものがあります。

#### ■ 反論の例: : English should be an official language(公用語) of Japan.

【CD Track #11】

The previous speaker argued that better English abilities allow Japanese to communicate more easily with people who do not speak Japanese. Still, this is not always true because there are a lot of non-Japanese people who do not speak English in Japan. Actually, the majority of them come from Korea, China, or Brazil. They do not speak English. If Japanese people really want to be friendly to people from foreign countries, they should learn Korean, Chinese, or Portuguese more.

(77 words)



ここではまず、反論する議論が何であるのか、1文目で簡単にまとめています。次に、“not always true because ~”という表現で、「～という理由で、必ずしも正しくない」と簡潔にその議論の弱点を指摘しています。最後に、“because~”の内容をより詳しく説明しています。この様に話せば、相手の理由づけに対して、どうして納得できないのか効果的に伝える事ができます。

## SECTION 2. 反論のフォーマット

ここまで、相手に反対するとして、反対の根拠を述べ立論する事と、相手の根拠を否定する・弱める事、それぞれ区別する必要があることを確認しました。後者を、反論 (refutation, rebuttal)と言います(反駁という難しい訳語を使う人もいます)。それでは次に、反論をする場合に便利なフォーマットを紹介します。

反論を思いつくには、まず以下の 5 種類の反論の型を手がかりに考えてみると良いでしょう：

### ○ 反論の 5 つのフォーマット

- ① Not true (「正しくありません」)
- ② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)
- ③ Not significant / important (「重要ではありません」)
- ④ Not relevant (「関係ありません」)
- ⑤ That's the opposite (「それは逆です」)

以下では具体的に、“Japanese government should abolish the death penalty” (日本政府は死刑制度を廃止するべきだ)という論題の肯定側の議論に対して、それぞれのパターンを用いて反論例を示していきます。

#### ① Not true (「正しくありません」)

【CD. Track # 12】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it is a cruel punishment(残酷な罰則).
Refutation	This argument is not true because the death penalty is not a cruel punishment. Convicts(受刑者) are hanged in Japan. This gives them minimum pain only for a short time.

このパターンは、相手の論証で用いられた、一見正しいとされる命題を否定することで、論証の流れを止めるものです。死刑制度は残酷であるので廃止するべきだ、という意見に対して、それは正しくない、なぜなら日本の死刑執行の手段である絞首刑は、最小限の痛みを短い時間与えるのであるからだ、と反論しています(絞首刑の残酷性に関する医者など専門家の意見や、

他の死刑執行手段、拷問など残虐性が認められる刑罰との比較を証拠として加えればより強い反論になるでしょう。

② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)

【CD. Track # 13】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it deprives convicts of the chances to rehabilitate and feel truly sorry for the victims. What the victims want is sincere apology from the criminals.
Refutation	This argument is not always true because what most of the victims and their family members want is not apology from the bad guys but severe punishments for them.

死刑制度は死刑囚が罪を悔い改め心から被害者に謝罪する機会を奪う。被害者とその家族が欲しいのは心からの謝罪だ。この議論に対して、いつもそうとは言えない。なぜなら大抵の被害者らが望むのは彼らからの謝罪ではなく、彼らへの厳しい罰だと反論しています。

③ Not significant / important(「重要ではありません」)

【CD Track # 14】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it causes psychological harm to those who carry out the execution.
Refutation	This argument is not important because those who carry out the execution are simply doing their job. They have nothing to be ashamed of as they are giving justice. Also, if they do not want to do it, they can simply quit the job.

死刑を執行する人の精神的な負担が大きいので、死刑は廃止されるべきだという議論に対して、ここではそれは重要ではないと反論しています。死刑執行は、正義を実現させるために必要な任務であり、何ら恥じるものではない。また、その任に堪えられなければ、職を辞することもできる。そう反論されています。

④ Not relevant (「関係ありません」)

【CD. Track # 15】

Argument	The death penalty should be abolished in Japan because it was abolished in Canada, UK, and most of the other advanced countries.
Refutation	It is not relevant. We do not have to abolish the death penalty simply because it was abolished in other countries. Each country has different needs and priorities. We do not have to simply copy what is done in other countries. Instead, we should think about what is best for our society.

カナダ、イギリスなど他の先進国において廃止されているので、日本でも死刑制度は廃止するべきだという議論が「関係ない」と反論されています。他国は他国、日本は日本で考えるべきだ、とまとめられています。

⑤ That's the opposite (「それは逆です」)

[CD. Track # 16]

Argument	The death penalty should be abolished because life is so precious and no one should take away the life of another.
Refutation	I agree that life is important but the conclusion should be the opposite. Nothing is more important than life. If one person takes the life of another, they can compensate only with their life. Therefore, the death penalty should be supported precisely because of the importance of life.

一番効果的な反論とされるのは、この "flip" とも呼ばれる、相手が論証で用いたのと同じ命題・前提を用いて、全く逆の主張をすることです。ここでは、生命は何物よりも大切であるので死刑制度は廃止されるべきだという主張に対して、それだけ大切な命を奪った者は、自らの命でのみ償うことができる。それ故にこそ死刑制度は存続されるべきだ、と反論しています。

---

### SECTION 3. 前提の過ちを指摘する

---

前述の反論のパターン通りに反論をすることが出来れば、聞いている人にもとても分かり易いのですが、実際のディベートの試合では、この様に綺麗に纏めることは中々難しいと思います。それで付け加えとして、経験上最も使い易い、相手がその議論の中で暗黙の内に正しいと前提・想像している内容を指摘する反論の仕方を紹介します。

○ 相手の議論の前提・思い込みを指摘する

Their argument is not true because it is based on a false assumption that ~.  
「彼らの議論は、～という間違った前提に基づいており、正しくありません」



例えば、再び死刑制度廃止に関する以下の議論を考えて下さい：

【CD. Track # 17】

Argument	The death penalty should be abolished because innocent people are sometimes mistakenly given the punishment and hanged. Police investigation heavily relies on confessions from suspects. In some cases, police officers go too far and force suspects to make a false confession. Based on this forced confession, innocent people have been given the death penalty and lost their lives. If the death penalty is abolished, there would be the chance of retrials. At least, we can avoid killing innocent people by mistake.
----------	--

死刑制度があると、無実の人人がしばしば誤って殺されてしまうので死刑制度を廃止するべきだ、という議論ですが、前述のパターンに当てはめようとしても、内容が複雑でどれか 1 つに落とし込む事が出来ないのではと思います。この様な場合どうしましょうか。この議論には、幾つかの前提・思いこみ(assumption)があります。その前提を誤った物であると指摘することで、その結論も誤りであると反論します。例えば：

【CD. Track # 18】

Refutation	<p>This argument is based on false assumptions. First assumption is that Japanese police may make mistakes because they put too much emphasis on getting confessions from suspects. This is no longer the case because the advance of scientific investigation, such as DNA testing allows the police to conduct more reliable investigations.</p> <p>Another assumption is that you cannot get retrials if you are given death penalty. Even if you are given the death penalty, it usually takes years before the execution is conducted. So, there are plenty of opportunities to ask for retrials. If the person is truly innocent, it is certain that he or she can be found not guilty through the retrials. Therefore, this argument does not stand.</p>
------------	---

ここでは、2 つの前提が疑われています。まず、捜査段階で強要された自白を証拠に罪に問われ無実の人間に死刑が宣告されるという前提に対して、現在の捜査は DNA 鑑定といった科学的な方法に頼っており、かつての自白主義に基づいた捜査での冤罪は起こらないと言っています。次に、死刑執行されれば再審の機会が無くそのまま冤罪を晴らせない、という前提に対して、執行までには通常何年かの猶予があり、再審請求の機会は充分にある、と指摘しています。この様に、議論の中には前述のパターンでは簡単に対応できない物もあり（そして実際の議論ではその様な物の方が多いのですが）、その様な場合では相手の議論の中に含まれている前提の誤りを指摘する事で反論が出来ます。それでは実際に、反論を考えてみましょう。

## SECTION 4. 反論を考える練習

### Task1. 反論の表現の確認

- 1) まず、それぞれ適当な反論の冒頭部分を選んで下さい。
- 2) その後、練習のために家で理由の部分「なぜなら～」を日本語で書いて下さい。次回の授業で友だちと読み比べてもらいます。\*どれか1つだけが答え、というわけではありません。「なぜなら～」の部分が作りやすいものを選んで下さい。

1) 英語の小テストの追試(Try Again)が大変なので、学期中は、家のお手伝いをすることはできない。

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

2) 筆記試験をすることは、生徒に多大なストレスを与えるので、やめよう。(東京大学[改])

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

3) 夏休みの宿題を出すことは、生徒が自分で勉強の計画をたてる能力を育てないので、やめよう。

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

4) 子どもはペットの世話をきちんとできないので、子どもがペットを持つことを法律で禁止しよう。(東京大学)

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

5) 動物園は、動物を檻に入れて見世物にするなど、動物虐待であり、動物園は廃止しよう。(慶應大学)

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

o

6) 火星への有人探査などの宇宙計画は、膨大なお金がかかるのでやめよう。(筑波大学)

- それは : a. not true      b. not always true      c. not important  
d. not relevant      e. solved easily      f. the opposite

なぜなら、-----

**Task 2. 反論の表現の確認**

以下の反論では、because の前に入れるべき表現が欠けています。それぞれ、選択肢から適切な表現を選びなさい(論題に対する肯定側の意見への、反論を完成させて下さい)。解答例は次のページにあります。

- |       |                 |                        |                  |
|-------|-----------------|------------------------|------------------|
| [選択肢] | a. not true     | b. not always true     | c. not important |
|       | d. not relevant | e. that's the opposite |                  |

1) 【論題】 “Cats are better pets than dogs”

You said cats are better than dogs			
① because cats eat less than dogs, saving money for food	but that's [ ]	because it won't cost a lot to feed a pet, whatever it is.	
② because they are more lovely than dogs	but that's [ ]	because some people think otherwise.	
③ because cats live longer than dogs	but that's [ ]	because my sources say dogs can live longer than most of the cats*	
④ because I like cats and hate dogs.	but that's [ ]	because your personal tastes has nothing to do with the pets in general.	
⑤ because we do not have to take it for a walk every day.	but that's [ ]	because that means cat owners lose the chance to have exercise every day.	

\*注: 種類にもよりますが、実際はねこは15年、犬は12年程度だそうです。

2) 【論題】 “We should remove vending machines in high schools”

You said we should remove vending machines in high schools			
① because they make us waste our money	but that's [ ] (複数回答可)	because it also gives us the chance to learn how not to waste money	
② because they are dangerous when we have an earthquake	but that's [ ] (複数回答可)	because we can fix them firmly on the wall so that it won't fall down.	
③ because elementary schools do not have them.	but that's [ ]	because elementary schools have little to do with the topic.	
④ because they use electricity, causing global warming	but that's [ ]	because removing them will not solve the global warming.	
⑤ because vending machines jam and take our money	but that's [ ] (複数回答可)	because it rarely happens	

### Task 3. 反論をするフォーマットの練習

以下の議論を読んで、それぞれ適当な反論を考えてみましょう。ここでは前述の 5 つのパターンを主に用いて、それで対応できない場合だけ前提を疑って反論して下さい。答えの可能性は無数にあります。答え合わせでは、下のフォーマットを使って答えを発表させて下さい。

- (1) We should not eat ice cream because eating it makes us fat.
- (2) Fireworks in summer festivals should be banned because they are noisy.
- (3) Zoos should be abolished because they treat animals badly.
- (4) English should be taught in elementary schools in Japan because so many people in this world speak the English language.
- (5) Cats are better pets than dogs because cats can catch mice.
- (6) Nuclear power plants (原子力発電所) should be constructed more because they would cause little environmental problems.
- (7) The Japanese government should stop its space exploration program (宇宙開発計画) because it is a waste of money.
- (8) Children should not use the Internet because there are so many bad websites that give bad influences on them.
- (9) Tokyo should host the 2016 Summer Olympics because it would give economic benefits to Tokyo.
- (10) The smoking of tobacco should be made illegal because smoking is unhealthy.

#### ■反論の発表用フォーマット :

Let me refute the argument number [ ] (←議論の番号を入れます) .

They said [反論する議論の要約] but it is ( \_\_\_\_\_ ) because \_\_\_\_\_

That's all. Thank you. (←最後に、この様な自分の発言が終わったことを示す表現を使います) .

#### Task 2 の解答例:

- 1) ① c ② b ③ a ④ d ⑤ e
- 2) ① a b c(複数回答) ② a b c(複数回答) ③ d ④ c ⑤ a b (複数回答)

#### Task 4. 議論作りと反論

それでは次に、Lesson 4 で作り方を学んだ、5つの要素で構成された議論に対して反論してみましょう。以下の論題から1つ選び、議論を1つ含んだスピーチを用意して下さい。ペアを組んでお互いの用意したスピーチを確認した後に、実際に発表してみてください。スピーチが終わる度に、その議論に対してどんな反論があり得るか参加者全員で考えてみて下さい。

##### 【Theme A】 Funny Speech

- (1) Chief inspector Zenigata (錢形警部) should not arrest Lupin the third (ルパン三世).
- (2) Black Jack should not ask too much money for his operations.
- (3) Ran (毛利蘭) should forget about Shinichi(工藤新一).
- (4) Ms. Megumi Noda (のだめ) should learn cooking before studying music.
- (5) Shizuka(しづか) should not get married to Nobita but to Dekisugi (出来杉).
- (6) Nobita (のび太) should not get married to Shizuka but to Jaiko(ジャイ子)
- (6) Igo (囮碁)should be played in the Winter Olympic Games.
- (7) Soccer should be played with two balls.
- (8) Having a boyfriend or girlfriend is a waste of time.
- (9) The United Nations should develop Evangelion (人型決戦兵器エヴァンゲリオン).

##### 【Theme B】 Children & Education

- (1) Parents should not physically punish children even for educational purposes.
- (2) Children who have finished compulsory education should be given the right to vote.
- (3) Playing with friends is more important than studying for elementary school students.
- (4) Advertisements that target children should be banned.
- (5) Child labor is a necessary evil for developing countries.
- (6) International adoption should be banned.
- (7) Child actors or actresses should be prohibited from working on weekdays.
- (8) Having a younger brother or sister is better than having an older one.
- (9) High school students should not have a cell phone.

(上の論題が難しい場合は、巻末の論題集から選んで下さい)

## 【参考】 ロールプレイ「それって勘違い！」

ペアを組みます。1人の人が日本人、もう1人が外国人の人（最近ではノンジャパニーズという表現もあります）の役割を演じます。役割は、ジャンケン等で決めて下さい。その外国人の方は、日本に関して大きな誤解をしています。日本人役の人は、誤解を正して下さい。外国人役の人は、あくまでその誤解を貫き通して下さい

手順としては、外国人役の人が以下のそれぞれの文で会話を始めます。1分～2分間区切って話し続けて下さい。相手に言い返せず、5秒間以上沈黙してしまった方の負けです。

### Topics

- (1) "I heard that all Japanese have *Chonmage* hairstyle(ちょんまげ), but you do not. Why?"
- (2) "I heard that most Japanese people are Christian because they celebrate Christmas so eagerly. Is that right?"
- (3) "I heard that the most important Japanese industry is publishing comic books. Is that right?"
- (4) "I heard that high school girls in Japan wear miniskirts because global warming is happening and it is getting hotter. Is that right?"
- (5) "All famous Japanese buildings such as Kinkakuji temple(金閣寺), Tokyo Tower, and the Diet Building (国会議事堂) are made of wood and paper. That's impressive!"
- (6) "I heard that Japanese people are crazy about eating whale. Is that right?"





# Lesson 6.

## 議論の思い付き方



### Contents:

Section 1. 登場人物で考える

Section 2. 論題特有の観点で考える

Section 3. 役割で考える

Section 4. 大きな対立軸で考える

## SECTION 1. 登場人物で考える

このレッスンでは、議論を思い付く方法を 4 つ紹介します。与えられた論題に対して、その当事者ごとに議論を考える方法、論題特有の観点で考える方法、政策の当事者が果たすべき役割で考える方法、そして大きな対立軸を踏まえて考える方法、それぞれ簡単に説明します。

まず 1 つ目の方法ですが、その論題に関する当事者をリストアップして、各者ごとに政策の利点・欠点は無いか思案するやり方です。例えば仮定として、日本政府が喫煙を全面禁止するとします。現実には難しい政策でしょうが、煙草を製造・販売した場合、また吸った場合には麻薬に対する同様に刑事罰に問われるとなります。この政策で影響を受ける人は誰でしょうか。また、それらの人々にとってどんな良い事、悪い事があるでしょうか。

まず、これまで煙草を吸っていて、今後吸えなくなる喫煙者がいます。そして煙草を製造する日本たばこ産業や、ライターや携帯用灰皿といった喫煙用具を製造している会社がいます。また、たばこの価格に対して約 6 割の税金を得ている日本政府と地方公共団体がいます。煙草の自動販売機を製造する人、そしてそれを自分の土地に設置して利益を得ている人もいます。受動喫煙に晒されている人など、他にも無数に考えられるかもしれません。

当事者をリストアップしたら、次にそれぞれにとっての政策の長短を考えてみます。喫煙者は自分の楽しみを奪われてしまいますが、肺癌や喉頭癌といった健康へのリスクが減るでしょう（またお金を少し貯めることができると予想されます）。日本政府と地方公共団体は税収を減らす事になりますが、煙草で病気になる人も減るため、医療費の国庫負担が軽減されるかもしれません。受動喫煙に悩んでいた人にとっては朗報でしょう。以上は、以下にまとめる事が出来ます。

たばこ非合法化のメリット	たばこ非合法化のデメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>・喫煙者の健康</li><li>・国の医療費負担の抑制</li><li>・受動喫煙者の健康</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・喫煙者の権利制限</li><li>・国の税収減少</li><li>・煙草産業の経済的損失</li></ul>

この様に、その政策で影響を受ける人は誰なのかを手がかりに、議論を作ることが出来ます。それでは次に、このやり方を使って練習問題を解いてみましょう。

### Task 1. 当事者から議論を考える

以下の論題についてその当事者をリストアップし、各自にとっての政策の長短を考えて下さい。

- (1) The Japanese government should ban the selling and consumption of alcohol.
- (2) We should ban the giving of Giri-choko (義理チョコ).
- (3) The Japanese government should abolish the death penalty and introduce life in prison without parole (仮釈放無しの終身刑).

解説例が以下にあります。まずは見ないで考えてみて下さい。

#### (1) アルコールの非合法化の是非 (煙草の非合法化とほぼ同じ内容)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒による事故や事件の被害者を作らないですむ</li> <li>・飲酒者的心身の健康向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒者の権利制限 (楽しみが減る)</li> <li>・国の税収減少 (酒税が無くなる)</li> <li>・アルコール産業の経済的損失</li> <li>・非合法団体にとっての収入源 (闇市場で製造・販売し暴力団などの資金源となる)</li> </ul>

#### (2) 義理チョコ禁止の是非 (多少おふざけの議論を含みます)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌々義理チョコを配らされていた人が、用意せずに済む</li> <li>・チョコを食べて虫歯になる人が減る。</li> <li>・義理チョコを本命チョコと誤解して、後で悲しむ人を作らずに済む</li> <li>・チョコレートが嫌いな人が渡されて処置に困らずに済む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つもチョコをもらえない男性が悲しむ</li> <li>・チョコレート業界にとって打撃</li> <li>・歯医者さんを訪れる人が減る</li> <li>・義理チョコのふりをして密かに本命チョコを渡していた人が困る</li> <li>・職場や学校で1つの行事として楽しんでいた人にとって残念</li> </ul>

#### (3) 死刑制度存廃の是非 (「議論を呼ぶ」議論を含んでいます)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冤罪の者を殺さずに済む</li> <li>・改心した死刑囚が一生をかけて罪を償う機会を得る</li> <li>・死刑執行官が罪の意識に苛まれずに済む</li> <li>・国民が「政府の殺人」に荷担せずに済む</li> <li>・日本が人権国家としての名聲を得る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府にとって犯罪抑止の手段が減る</li> <li>・犯罪被害者とその遺族への1つの救済手段が無くなる</li> <li>・本来は死刑であった者が終身刑となり、国民の税金が犯罪者を生かす為に使われてしまう。</li> </ul>

## SECTION 2. 論題特有の観点で考える

ある論題についての議論を考える方法として、まずその論題に関わる登場人物をリストアップして、各者についてのメリットとデメリットを考えるやり方を説明しました。今度は登場人物の代わりに、その論題に関わる大切な観点を挙げて、その観点に応じて議論を作る方法を紹介します。例えば、以下の選挙に関する論題について考えてみましょう：

- (1) Japan should introduce compulsory voting.  
(日本は投票を義務化するべきだ)
- (2) The Prime Minister of Japan should be chosen by direct vote of citizens.  
(首相公選制を日本で導入するべきだ)
- (3) We should give the right to vote to high school students.  
(高校生に投票権を与えるべきだ)

これら選挙に関する論題に関して、先ほどの登場人物で考える方法を用いた場合ではまず「候補者」、「実際に選挙で選ばれる人」、そして「有権者」というグループが出てくるかと思います。ただ、これだけではまだ議論を作る上で材料不足だと思います。それで次に、選挙に特有の観点を考えてみましょう。良い選挙、望ましい選挙のあり方とはどんなものでしょうか。大抵の人が納得する観点として、以下の4つが挙げられると思います：

### 選挙の良さを評価する観点

1. 特定の層だけでなく、幅広い層の民意を反映していること（民意の反映）
2. 政治への人々の参加・関心を高める様なものであること（政治への関心の向上）
3. 「良い政治家」が実際に選ばれること（政治家の質）
4. 選ばれた政治家が実行する政策が「良いもの」であること（政策の質）

これら4つの観点において、上記の3つの論題で示される政策が実行された場合それぞれどんな良い結果、悪い結果が起こるか考えてみましょう。まずは「日本は投票を義務化するべきだ」という論題を例に取ってみます。投票の義務化は、ギリシャ、オーストラリア、そしてイスラエル等では導入されている政策で、もし投票しなければ1万円程度の罰金を支払わされることになります。政策の長所・短所は、以下の表の様にまとめられます：

◇ 観点ごとの投票義務化のメリット

観点	メリット
1. 民意の反映	全ての人が投票するので、民意がより反映される。
2. 政治への関心	これまで政治に関心を持たず棄権していた人も、必ず投票しなければならないので、政治について情報を集めるようになる。
3. 政治家の質	より多くの層から支持を得られるように、政治家が一層魅力的な候補者になるよう努力する。
4. 政策の質	今までのように特定の利権団体・圧力団体の意見だけでなく、より広い層から支持を得る政策が出されるようになる。

◇ 観点ごとの投票義務化のデメリット

観点	デメリット
1. 民意の反映	政治への失望感からあえて投票に行かない事で示されていた民意が示されなくなる。また、熟慮して投票していた人間の民意が、いい加減に投票する人間が増加することで相対的に表れ難くなる。
2. 政治への関心	単に投票させるだけで、本当に政治自体への関心が高まるかどうか疑問が残る（正確にはこれは議論というより反論です）。
3. 政治家の質	より多くの層から支持を得るために、単に知名度が高いだけで、政策立案能力に欠ける人間（例えば俳優、元スポーツ選手など）が候補者として集められる。
4. 政策の質	より広い層から支持を得るために、一層の利益誘導政治（パラマキ政治）が起こる。

以上の通り、ある分野に関する論題には、共通して用いることが可能な議論・争点があります。その様なパターンを見出すことが比較的容易な分野には、例えば次の表にまとめられる物があります（内容的には、まだディベートをするには難しいと思いますが）。

どこの国の移民政策であろうと、どの国家間の貿易協定であろうと、どの国に対して制裁を加えるのであろうとも、その政策を評価する観点は同じであり得ます。これらの論題について新聞記事などで読んだり、ディベートの試合を見る機会があれば、得た知識をメモしておき、後日試合等で応用してみましょう。

分野	論題例
「移民政策」 (immigration policy)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Japan should accept more foreign laborers.</li> <li>The United States should open its doors to illegal immigrants.</li> </ul>
「自由貿易協定」 (Free-trade Agreement)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Japan and Australia should sign the FTA.</li> <li>Japan should ratify the FTA with the United States.</li> <li>ASEAN + 3 needs free trade.</li> </ul>
「経済・軍事制裁」 (military and economic sanction)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Japan should impose economic sanctions on North Korea.</li> <li>ASEAN should stop trade with Myanmar.</li> <li>We should impose an arms embargo on Sudan.</li> </ul>

## Task 2. 論題特有の観点から議論を考える

確認のため、先ほどの選挙関連の論題の残り 2 つについて、政策を導入することで生じる長所と短所をそれぞれ考えてみて下さい。

## SECTION 3. 役割で考える

ここまで議論を思いつく手段として、まずそのトピックに関しての当事者をリストアップする方法、そして特定の分野に共通した観点を応用する方法を紹介しました。次に、その特定の分野に共通した観点自体を見つける方法をより詳しく説明します。それは、その政策の行為主体が果たすべき役割とは何であるのか、考えてみる事です。以下では、学校教育と政府の役割に関して考えてみます。まず、以下の学校教育に関する論題を見てください：

- (1) Corporal punishment is justifiable in schools.  
(学校での体罰は正当化できる)
  - (2) High schools should teach students how to drive cars.  
(高校は生徒に車の運転を教えるべきだ)
  - (3) Students should be given the right to fire teachers who are not popular.  
(人気のない教員を解雇する権利を生徒は与えられるべきだ)

これらの論題で議論を考える際には、共通して「子どもとはいかなる存在であり、その上で学校・教員の果たすべき役割とは何か」という点を問う事になります。一般的によく聞く分析としては、この様な物があります：

- ・子どもは実社会から守られるべき存在である。
- ・公教育は子どもが将来実社会で生活するにあたり必要な、最低限度の知識と技能を、全ての子弟に平等に教える使命がある。
- ・教員は教育の専門家であり、全ての生徒を平等に扱う責任がある。

試合ではこれらの分析に則り、政策がいかに「るべき学校」「るべき子どもの扱い方」「るべき教員像」に適っているのか、あるいは適っていないのか議論をすることが可能です。予めそれらの分析を用意しておけば、特定の論題を与えられた際に素早く議論を用意することが出来るでしょう。次に、別の例を見てみましょう。

以下の論題に共通する争点として、「いかなる場合において、政府が個人の権利を制限することが許されるのか」という問い合わせあります：

- (4) The Japanese government should ban smoking in all public places  
(日本政府は全ての公共の場での喫煙を禁ずるべきだ)
- (5) The Japanese government should censor the Internet.  
(日本政府はインターネットを検閲するべきだ)
- (6) The Japanese government should ban cosmetic surgery.  
(日本政府は整形外科手術を禁ずるべきだ)

公共の場での喫煙の禁止、インターネットの検閲、そして整形手術の禁止など、個人の持つ権利・自由に対して政府が何らかの制限を課すことの是非は、恐らくディベートで最も多く話される内容です。

この様な論題では、個人が持つ権利の尊重と、政府がそれを制限することで生み出すことの出来る公益のどちらの方がより大切であるかが論じられます。例えば、インターネットの検閲では、人が持つ表現の自由・情報へのアクセス権に対して、犯罪の抑止など公共の福祉に対する政府の責任、どちらの方がより重要であるか問われます。政府はいかなる場合に個人の権利を制限することが許されるのか、予め分析をしておけば、よりスムーズに議論を用意することが出来るでしょう。

### Task 3. 役割を考える

まとめとして、以下のトピックについてその役割を各自で考えてみて下さい。その後、グループに分かれ意見を交換して役割のリストを作ります。最後に、全体で発表します。

- (1) 期末試験 (final examination)
- (2) 家族 (family)
- (3) オリンピック (The Olympic Games)
- (4) 刑罰 (punishment)

### SECTION 4. 大きな対立軸で考える

例これまで確認した通り、ディベートで扱われる論題は、その対象となる分野・トピックに応じていくつかに分類することが可能であり、それぞれに特有の議論や争点が存在します。最後に、ある大きな対立軸を踏まえて議論を作る方法を紹介します。以下ではまず「合法化(legalization)」の分野で例示します。以下の論題を見て下さい：

- (1) Developing countries should legalize the selling of organs.  
(発展途上国は臓器売買を合法化するべきだ)
- (2) The Japanese government should legalize soft drugs such as marihuana.  
(日本政府はマリファナといった「ソフトドラッグ」を合法化するべきだ)
- (3) Japanese government should legalize surrogacy.  
(日本政府は代理母出産を合法化するべきだ)

これら、現在禁止されている行為を合法化する論題で、賛成・反対意見を幾つか考えてみると、似通った観点の議論が頻出することに気が付くかもしれません。

例えば、海外で調達するなどして日本人も関わっているとされる臓器売買に関して考えてみましょう。腎臓移植を希望する患者は日本では1万2千人、アメリカでは7万人いますが、それだけの移植可能な腎臓は無く、法の規制が緩い発展途上国に行き金銭と引き替えに臓器移植を受ける事例が幾つか報告されています。この臓器売買の合法化に関して賛成・反対意見を考えてみると、以下の論点が浮かび上がるはずです：

- ・合法化した場合と非合法化した場合、どちらの方が政府にとって規制が容易か（臓器摘出を目的とした誘拐や、親による子どもからの臓器摘出の摘発）。
- ・どちらの方が、マフィアなど非合法組織への資金流入を防ぐことができるか。
- ・どちらの方が、臓器提供者に対して、適切な医療を与えることができるか。
- ・どちらの方が、臓器提供者に対して、正当な報酬が与えられるか。
- ・どちらの方が、臓器を必要とする者にとって利便性があるか。

次に、コカイン等中毒性の高い薬物と比較した意味での、大麻といった「ソフトドラッグ」の合法化について考えてみましょう。オランダなど EU 圏の幾つかの国では、その存在自体は好ましくないが、大麻を根絶する事は不可能であり、厳罰化で望んだ場合の方が生じる害が大きくなるため、一定の条件下で所持・使用が許容されています。この論題では、以下の論点が考えられるのではと思います：

- ・合法化した場合と非合法化した場合どちらの方が政府にとって規制が容易か。
- ・どちらの方が、マフィアなど非合法組織への資金流入を防ぐことができるか。
- ・どちらの方が、大麻使用者に対して適切な更生プログラムを与えることができるか。
- ・どちらの方が、大麻を必要とする者にとって利便性があるか。

次に、代理母出産について考えてみましょう。代理母出産とは、子どもを産めない女性の代わりに体外受精などで別の女性が妊娠し、誕生した子どもを譲り渡す行為を指します。日本では法律上の規制はなく（同時に、代理母出産で産まれた子どもの民法上の地位について法律の文言では定められてはいません）、日本産婦人科学会が自主規制をしていますが、2001 年に長野県の医師が実施し問題化しました。2006 年には、あるタレントが海外で代理母出産を行い、得た子どもを養子ではなく、自分ら夫婦の実の子であると戸籍上に記す事を求めて裁判が起こされました。この代理母出産の合法化の是非に関する論題では、以下の論点が思いつくのではと思います：

- ・合法化した場合と非合法化した場合どちらの方が政府にとって規制が容易か。
- ・どちらの方が、母体提供者に対して、適切な医療を与えることができるか。
- ・どちらの方が、母体提供者に対して、正当な報酬が与えられるか。
- ・どちらの方が、代理母を必要とする者にとって、利便性があるか。

以上の様に、それぞれの論題では、合法化した場合と現状のまま非合法化した場合ではどちらがより社会にとって望ましい結果をもたらすことが出来るか、この問い合わせを中心として、幾つか

の観点において議論を派生させる事が出来ます。

この様な、社会通念上望ましくはない、あるいは代理出産のように倫理上慎重にならざるを得ない行為であっても、法で禁じた場合の方が害が大きいためあえて合法化するという考え方は、公衆衛生の政策において、Harm reduction policy と呼ばれます。ディベートに応用する場合は、合法化するか、全面禁止が良いのか、この対立軸で議論を展開することになります。

この Harm reduction policy の考え方の様に、様々な議論に応用することの出来る大きな対立軸を踏まえた枠組みは、オーストラリアのディベーターが使う用語を借りれば「クッキーカッター」と呼ばれます。それらは上手く使いこなせば便利なのですが、議論が公式的になってしまい、初心者にとっては、あまり考える勉強にならないと思います。まずは実際にディベートの試合をした後で、他の論題でも使える議論は無かったか考え、自分なりのクッキーカッターを作つてみて下さい。

#### Task 4.

以下の論題について、前述の「合法化」の論題に関する解説を参考に、肯定と否定の議論をそれぞれ考えて下さい。

- (1) The Japanese government should make all forms of gambling illegal.  
(日本政府はあらゆる種類のギャンブルを非合法化するべきだ)
- (2) Child labor should be legalized in developing countries.  
(発展途上国では児童労働を合法化するべきだ)
- (3) The IOC should allow athletes to use performance-enhancing drugs.  
(国際オリンピック委員会はドーピング薬の使用を選手に許すべきだ)

#### Task 5.

このレッスンのまとめとして、次の手順で議論を出来るだけ出す練習をして下さい。

- ① 肯定側、否定側、ジャッジの3グループに分かれて下さい。
- ② 論題を1つ選び、肯定と否定のグループはそれぞれ5分程度の制限時間内に議論を出来るだけ考え出します。
- ③ 運動会の玉入れの要領で、肯定と否定のグループがそれぞれ議論を言っています。
- ④ ジャッジのグループは、出された議論が妥当な物かその都度評価します。
- ⑤ ちょっとひどい議論であれば、“unacceptable”として代わりの議論を出してもらいます。先に議論が無くなったチームが負けです。



## Lesson 7.

# 素早く議論を作り 反論する



### Contents:

Section 1. 紙上ディベート

Section 2. Summary & Refute

Section 3. 即興でスピーチ

Section 4. Point of Information

## SECTION 1. 紙上ディベート

ここまで、スピーチの仕方から始まり、議論・反論の作り方まで学びました。得た知識は、実際に使ってみないと自分の物にはなりません。それで本レッスンでは、英語で考え、話し合うための幾つかの練習方法を紹介します。まず始めに、2人で行う、紙に書いてディベートをする練習方法を導入します。

必要な物は、次ページのワークシートの様な、罫線が入った1枚の紙です。ある論題に対して、1人の人がそれを肯定する議論を書きます。書き終わったら、パートナーに渡してその議論への反論を書いて貰います。紙を返して貰い、その反論に対して言い返してください（この議論を立て直すことは、“Reconstruction”または“Defense”と呼ばれます）。パートナーはそのReconstructionを見て、“Evaluation”の欄に評価を記入します。ArgumentとReconstructionを、1「微妙」2「まあまあ」3「すごい！」の3段階で評価して下さい。また、コメントを英語か日本語で書いて下さい。各作業には、それぞれ1分程度の時間制限をつけると良いでしょう。結果として、以下の様に空欄を埋めていくことになります：

◇ Motion: (ここに論題を記します)

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
その論題に対して賛成の理由を1つ書きます。	左に書かれた理由に対して、反論を1つ書いてもらいます。	書いて貰った反論に対して、自分の意見を立て直してください。	<input type="radio"/> Argument [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Reconstruction [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Comment: 

[記入例] ◇ Motion: Doraemon should go back to the 22<sup>nd</sup> century forever.

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
This is because his tools are so dangerous. For instance, if Dokodemo door is stolen by a terrorist group, no one is safe anymore.	This argument is not important because if anything serious happens, Dorami-chan is sure to come to help us.	We are not sure if Dorami-chan can always come to help us. We must defend by ourselves. The best way is to send him back to where he is from.	<input type="radio"/> Argument [ 1 2 (3) ] <input type="radio"/> Reconstruction [ 1 (2) 3 ] <input type="radio"/> Comment: ドラミが来ないかもしない根拠は？

## Debating on Paper

◇ Motion:

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			<input type="radio"/> Argument [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Reconstruction [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Comment:

◇ Motion:

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			<input type="radio"/> Argument [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Reconstruction [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Comment:

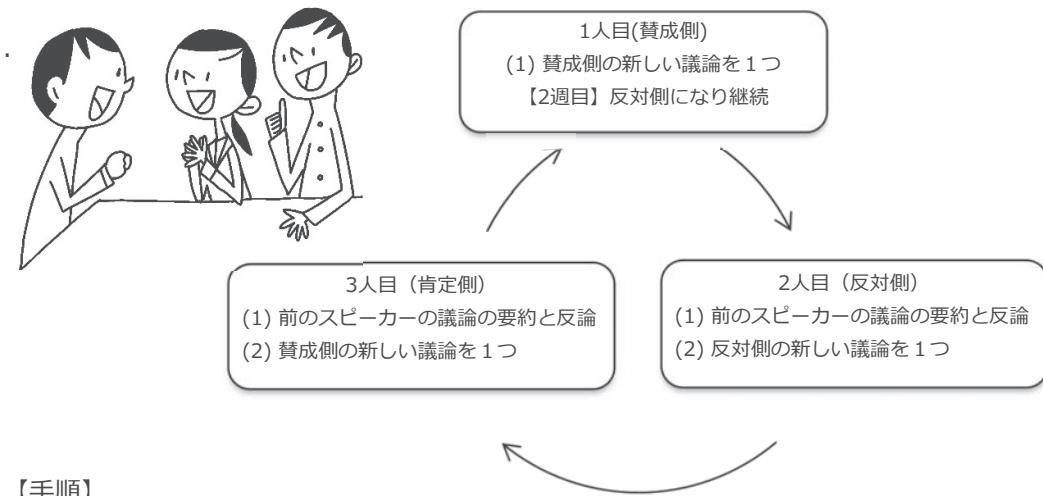
◇ Motion:

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			<input type="radio"/> Argument [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Reconstruction [ 1 2 3 ] <input type="radio"/> Comment:

Class ( ) #( ) Name:

## SECTION 2. SUMMARY & REFUTE

紙の上で練習した次は、口頭で練習を行います。Summary & Refute という国際基督教大学の英語ディベート部で考案された練習方法です。以下の手順を読み、次のページの表現集を使って練習してみましょう。最初は手順になれるために、日本語でやってみてください(このレッスンの最後に日本語での表現集があります)。



- ① 3人のグループを作り、論題を1つ選びます。
- ② 誰か1人を起点に、時計回りに賛成側、反対側を交互に割り振ります。
- ③ 準備時間は与えず、すぐスピーチを始めます。賛成側の1人目が、論題を肯定する議論を1つ出します。(相手の話をちゃんと聞いて、手際よく反論をすることが練習の目的なので、説明の不十分な議論で構いません。むしろ、あからさまにおかしい議論を出して相手が反論をしやすいようにした方がテンポも良くなり盛り上がります)
- ④ 反対側の1人目が前の人々の議論をまず要約し、次に反論します。そして否定側の議論を1つ出します。
- ⑤ 賛成側の2人目が、反対側1人目の新しい議論だけを(1人目への反論は要約する必要はありません)要約し、反論します。そして、肯定側の新しい議論を1つ出します。
- ⑥ 1順目が終わった場合、賛成側と反対側の立場が自動的に変わります。つまりは賛成側であった者が、反対側になります。2順目が終わるまで続けます。(1番最初にスピーチをした人が、直前の人の反論をして終わりです)

★Summary & Refute は、3人いればいつでもどこでも可能な練習です。すきま時間を見つけて、出来るだけたくさんやってください。

- 練習記録メモ -

## Summary &amp; Refute 表現集

## ◆ First speaker (On the Affirmative) / 1人目の人 (肯定側)

Greeting	Hello everyone.
Motion	The motion before us today is ~ . I strongly support this motion.
Signposting	My argument is ~ (議論の見出しどなる名詞句).
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

## ◆ Second speaker (On the Negative ) / 2人目の人 (否定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約).
Refutation	However, this is [ not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant ] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しどなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to oppose. Thank you.

## ◆ Third speaker (On the Affirmative) / 3人目の人 (肯定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約). 注) 直前のスピーカーの出した新しい議論だけ要約します。直前のスピーカーの行った反論に対しては何も触れません。
Refutation	However, this is [ not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant ] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しどなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

### SECTION 3. 即興でスピーチ（ノートの用意の仕方）

これまで、ノートを用意してスピーチをする場合、ほぼ全文を書いてもらいました。しかしながら、後のレッスンで学ぶディベートの試合や、実際に英語で人と話すときには、全文を書いて読み上げるのでは、準備に時間が掛かりすぎます。それで、段々と用意するノートを減らして、スピーチを出来るようにしましょう。半年ほど練習を続ければ、身近な内容であれその場でトピックを与えられて、すぐ3分間ほど話せるようになります。

#### ○スピーチ用ノートのフォーマット例

- Motion(Case):
- Signpost:
- Reasoning:
  - Under the current situation,
  - Then, after we take this plan,
- Why important?

「学校の制服を、ポケットモンスターの着ぐるみにするべきだ」という様な、何かを提案するスピーチであれば、最低限左のフォーマットを使って話すことが出来ます。

次のページに、Lesson 4 で示した「バレンタインの日に学校でチョコレートを渡すことを禁止するべきだ」というスピーチの発表用メモを例示しました。どの様な工夫がされているか、考えてみましょう。また、ノートを用意する量を減らすためのテクニックとして以下の5点に気をつけて下さい：

- ・決まり文句は暗唱できるようにする（巻末の「表現集」を参照）。
- ・全体の話の構成が一目で分かるようにノートは用意する。
- ・ノートを作る際には略称の記号を使う。
- ・具体例は、キーワードとなる名詞だけリストするにとどめ、その場で物語る。
- ・適切な英単語が思い浮かばない場合、それが名詞であれば日本語で言ってしまう。

#### ○ノートを用意する上で"の略し方

(1) 長い語句は縮めて書く。

例： Because ⇒ bec.

For example ⇒ e.g.

(2) 原因と結果の関係は、矢印 (→) で示す。

例： eat a lot → get sleepy in class

(3) その場で補える語句 (be 動詞など) は省く。

### スピーチ用ノートの例（学校でのバレンタインチョコの禁止）

○ Motion:

I believe that the giving of chocolate on St. Valentine's Day should be banned in our school.

○ Signpost: the psychological harm on unlucky boys

○ Reasoning:

[Under the current situation,]

- { ① Give Chocolate → boys happy
  - why? bec. being respected
  - the number of gifts = how popular
  
- ② No chocolate → unhappy
  - e.g. my friend got sick
  - absent school
  - missed classes

[Then, after we take this plan,]

- { ③ No valentine → no unhappy boys / no class missed

○ Why important?

- what school is for = studying
- problems for studying → should be taken away

#### Task 1.

これまでに書いたスピーチの原稿を見返し、上に例示された様なメモに作り替えて下さい。その後で、そのメモを使って、スピーチをして下さい。

#### Task 2.

この Lesson の Section 2 にある論題集から 1 つ選び、前ページのフォーマットに沿ってスピーチを用意して下さい。ただし、準備にかける時間は 5 分間だけです。

## SECTION 4. POINT OF INFORMATION

後のレッスンで導入されるイギリス議会をモデルとしたディベート形式（パーラメンタリーディベート）では、相手のスピーチ中に質問や反論を行う POI(Point of Information) という物があります。以下では普通のスピーチ練習と、その POI を組み合わせた練習方法を紹介します。

POI(「ピーオーアイ」、または「ポイ」と読みます)のルールは、以下の通りにまとめられます：

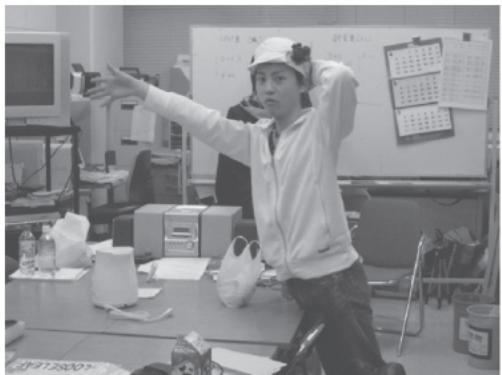
- ① POI を試みる場合、まず席から立ちます。
- ② 席から立った後で、“On that Point” や “Point, sir” 等の表現で、スピーカーから許可を求めます。
- ③ “No thank you” 等の表現で、スピーカーから POI を断られた場合は着席します。
- ④ “Yes, madam” 等の表現で POI の許しが出た場合、最大で 15 秒間相手のスピーチに対して質問や反論を行えます。話し終えたら、着席します。
- ⑤ スピーカーは、POI で出された質問や反論に対応することが期待されます。
- ⑥ スピーカーの返答に対してさらに何か言いたいことがある場合は、再度 POI の許可を求めます。

POI の宣言は、それと分かるものであれば何でも構いません。同様に断り方では、“No thank you” などと一言述べる以外にも、座るように手でジェスチャーする事でも構いません。POI で使える表現は、巻末の表現集を参照して下さい（「質問に関する表現集」に含まれています）。

POI はスピーカーに対して話しかける物であると同時に、他の聴衆に対してスピーチの疑問点・問題点を指摘するものもあります。それ故に、POI では壇上のスピーカーだけでなく、他の聴衆の視線を意識し、語りかける必要があります。

後のレッスンで説明する通り、イギリス議会を模したパーラメンタリーディベート形式においては、書くスピーチの最初と最後の一定の時間は POI が出来ません（その時間帯は Protected time と呼ばれます。通常は、スピーチの最初と最後のそれぞれ 1 分間です）。

POI のポーズとして、片手で頭を押さえる習慣があります。これは、パーラメンタリーディベートがそのモデルとするイギリス議会で、かつて議員が質問に立つ際に、かつらがずれるのを手で押させていた事を真似たものです（以前は専用のかつらを着用することが正装の一部であり、現在でもイギリス貴族院では着用している人がいます）。競技ディベートにおいては単なる慣習であり、近年では実際に頭を押えて POI をする人は段々少なくなっています（ただし、ディベーターの記念写真では欠かせないポーズです）。



【コミカルな POI のポーズ例】



【試合中の POI の様子】

参考までに付け加えると、様々に分化したパーラメンタリーディベートの諸形式、その全てで POI があるわけではありません。8人のディベーターで争う大学生世界大会の形式では、自分の7分間スピーチが終わってからも積極的に試合に参加する手段として POI はとても重要な機能を持っています。しかしながら、1試合のスピーカーの数が少なかったり、スピーチ時間が短い形式では、むしろ POI は試合の妨げになる場合もあります。

### Task 3. 先生や先輩のスピーチに POI

まずは先生や先輩にスピーチをしてもらい、その中で質問や反論のための POI をしてみましょう。聞いている人が POI を求めやすくなるように、スピーカー役の人はちょっと極端な議論や例を用いて 3 分程度話して下さい。聞いている人は、POI をすることがスピーカーへの礼儀と思って、どんどん POI に立ってみましょう。

### Task 4. スピーチ発表の中で POI

これまでに何度かしたスピーチの発表で、聴衆の人はノートを取る代わりに POI をしてみましょう。スピーカーは POI を必ず 2 回取ること、聴取はそれぞれ 3 回 POI に立つこと、という様に何らかの条件を付けて下さい。

### Task 5. 「質問のあらし」

スピーカー役の人は、予め任意のトピックについてスピーチを用意しておき、前に出て立ちます。ただし、自分からスピーチを始めることは出来ません。代わりに、聴衆の人がスピーカー役の人に POI をする事を通じて、内容について話させ、そして反論や疑問をぶつけて下さい。制限時間は 3 分間です。

人数が多くれば聴衆をチームに分けて、制限時間内に出来るだけ多く POI に立ち、実際にスピーカーに取ってもらったチームを勝ちとして下さい。



**【参考】Summary & Refute 表現集 (日本語)**

\* Summary & Refute のルールを確認するときなどにお使い下さい。

**◆ 1人目の人 (肯定側)**

挨拶	みなさん、こんにちは。
論題の確認	この試合の論題は、～です。 この論題に、自分は賛成します。
話の構成について	私の議論は、～についてです。 (議論の見出し) .
議論	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は賛成の立場をとります。以上です。

**◆ 2人目の人 (否定側)**

直前の相手の議論の要約	[ 前の人 / ○○さん ] は、(直前のスピーカーの議論の要約「～なので、… …だ」)と仰いました。
反論	しかしながら、これは [ 正しくありません。 / いつもそうだとは限りません 重要ではありません / 関係がありません。 / むしろ逆です ] 。 なぜなら ～。 以上から、○○さんの議論は成り立ちません。
話の構成について	それでは、次に私の否定側の議論に移ります。 私の議論は、～についてです(議論の見出し) .
議論	(出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は否定側の立場をとります。以上です。

**◆ 3人目の人 (肯定側)**

直前の相手の議論の要約	[ 前の人 / ○○さん ] は、(直前のスピーカーの議論の要約「～なので、… …だ」)と仰いました。 注) 直前のスピーカーの出した新しい議論だけ要約します。直前のスピーカーの行った反論に対しては何も触れません。
反論	しかしながら、これは [ 正しくありません。 / いつもそうだとは限りません 重要ではありません / 関係がありません。 / むしろ逆です ] 。 なぜなら ～。 以上から、○○さんの議論は成り立ちません。
話の構成について	それでは、次に私の肯定側の議論に移ります。 私の議論は、～についてです(議論の見出し) .
議論	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
結び	以上から、自分は肯定側の立場をとります。ありがとうございました。



# Lesson 8.

## 証拠の使い方



### Contents:

Section 1. スピーチ例の分析

Section 2. 証拠の種類

Section 3. 引用の仕方

Section 4. 証拠を疑う

Section 5. Cross-examination

## SECTION 1. スピーチ例の分析

議論の最も基本的な構造として、「Opinion (Assertion / Claim) + Reasoning + Evidence」の3つの要素を紹介しました。本レッスンでは、その内の証拠 (Evidence)の用い方についてより詳しく学びます。まず、以下のスピーチ例を読んでみて下さい。主張を根拠づけるための証拠（誰かの発言、具体例、統計資料など）が幾つかあります。該当箇所をマークして下さい。

### ■ スピーチ例: "Boxing should be banned. (ボクシングは禁止されるべきだ)"

[CD Track # 19]

Good morning everyone. Today, I would like to argue that boxing should be banned. I will give you one reason. That is the risk of physical injuries. I will explain to you that boxing should be banned because it is highly dangerous, and it causes fighters to have brain damage.

First, let me explain how boxing is dangerous. In a boxing match, you will have head injuries again and again. Fighters intentionally try to hit their opponents' heads so that they will lose consciousness. Let me quote what Dr. Bill O'Neill, who is a spokesman of the British Medical Association, said in an interview with BBC in 2001: "It is the only sport where the intention is to inflict serious injury on your opponent, and we feel that we must have a total ban on boxing".

This brain damage is accumulative. The damage adds up and eventually explodes someday. I will give you two examples. In 1995, Gerald McClellan, who was the world Middleweight champion was beaten into coma at the age of 27. Thanks to emergency surgery, he survived but he became blind, deaf, and partially paralyzed. In another case, according to Mainichi Newspaper, November 15th 2001, one university student in Fukuoka suffered brain injury and died while he was practicing boxing.

I believe that one of the most important roles of our government is to prevent people from suffering unnecessary harms. In this respect, boxing should be banned. For this reason, I beg to propose. Thank you. (258 words)



ボクシングの危険性に関して誰の意見を引用しているでしょうか。  
どんな過去の事故を例として提示しているでしょうか。

このスピーチ例では、イギリス医学協会のオニール博士が BBC 放送へのインタビューで答えた発言が直接引用されています。引用符( quotation mark、つまりは このマーク、" " の事です)で囲まれている箇所が発言の引用で、スピーチで読み上げる場合は、" Quote, (誰かの言葉), unquote " という語句を用いて引用箇所がどこから始まり、どこで終わるのか示します(この記号「 “ 」「 ” 」の読みが「quote」「unquote」ということです。日本語の文章を読み上げる時の「引用開始」「引用終了」と対応します)。また、具体例としては、ボクシングの事故として有名な 1995 年のマクレランさんの事例と、2001 年 11 月 15 日の毎日新聞で報告された、福岡の大学生の死亡事故が挙げられていました。

いかにボクシングが危険なスポーツであるか、対戦相手に一時的な脳機能障害を起こすために意図的に頭部への打撃を狙うことがあり、何試合も経て頭部に蓄積されるダメージがやがて致命傷となるという論証(Reasoning)だけでなく、この様に専門家の意見や具体的な事例があれば、議論がより説得力のある物になります。以下では、この様に議論の質を高める証拠の用い方を学びます。

## SECTION 2. 証拠の種類

一般に、証拠(Evidence)として使える物には以下の 5 種類があります。それぞれ簡単に解説を加えます。

### ○ 証拠の種類

- (1) その論題に関して専門的な知識を持った人・当事者の意見
- (2) 統計資料・調査結果
- (3) 自分が調べた事例・事実
- (4) 常識的に知られている事例や事実
- (5) 常識的に想像できること

#### (1) その論題に関して専門的な知識を持った人・当事者の意見

証拠の種類として、まずは自分の主張に沿った専門家の意見が挙げられます。自分が立証したい意見と同じ意見を、ある専門家も持っていると示し、決して自分の意見が単なる素人の思い付きではないと聴衆に印象付けます。

専門家としては、大学教授など研究機関に属する研究者が一般的には認められますが、場合に

よっては、ある分野に関しての当事者の意見を引用してもよいでしょう。例えば医療に関しては、医師や看護師、実際の患者さん、そして製薬会社などの意見を用いることが考えられます。

この専門家の意見を用いるときの注意は、その引用された者は本当にその分野において権威があるのか、という点以外にも「そもそもその人が、どうしてそんな意見を持っているのか」という点を確認する必要があるということです。ある研究者の意見に対して、反対の意見を持つ研究者もいるかもしれません。

例えば、裁判員制度の導入の是非については、賛成する研究者、裁判官・検察官・弁護士もいれば、反対する者も同様にいます。単に「偉い人もこう言っている」という証拠だけではなく、どうしてその専門家がそんな結論に至ったのか、専門家がその意見にどんな論証を出しているのかも確認してください。専門家の意見は鵜呑みにするものではなく、ディベートにおいてはむしろ疑ってみる対象と捉えてみてください。

## (2) 統計資料・調査結果

次に挙げる証拠の種類としては、政府の白書、新聞記事、そして研究論文内で示された数値や調査結果があります。例えば、消費税率を 1 パーセントあげればどれだけ税収が増えると試算されているか、死刑制度を廃止した後フィリピンでは犯罪発生数がどれだけ増加したか、という数値データがこの統計資料になります。

数値以外にも、日本の中学生は学校完全週 5 日制が導入された後に、どのように土曜日を過ごしているのかというアンケート結果や、OECD の学力調査の国別ランキングといった調査資料も証拠として使われています。

これら統計資料・調査結果を証拠として用いる際には、まずその数値・調査結果がどのような調査方法を用いて得られたものなのか確認してください。特にアンケートにおいては、誰を対象に、どれだけの数の人に対して質問した物なのか確かめてください。もう一つ注意点を加えれば、これら数値・調査結果自体は単なる事実であり、どのような意味を持つのか様々な解釈が可能である点です。例えば仮に、日本の動物園で病死する動物は年間で総頭数の 8 パーセントいるとして（適当に想像した数値です）、その数値が果たして動物園での動物の扱いが残虐なものだと示しているのか、それとも良好な物だと示しているのか、これだけでは双方の解釈が可能です。数値・調査結果を出す際には、その事実をいかに捉えるか説明を加えて下さい。

## (3) 自分が調べた事例・事実

様々な調査報告や情報を調べ、総合した上で浮かび上がる事実も証拠として用いることができます。例えば死刑制度に関して、先進国内で現在もその制度を備えている国はいくつあるか

調べてみたとします。その結果、日本とアメリカの何州かを除いて、全ての先進国では死刑制度は廃止されているという事実に至ったとします（実際のところ OECD 加盟国で死刑制度があるのはその両国だけです）。この様に、幾つかの資料を分析・総合した上で見えてくる新しい事実を証拠として用いることもできます。

この様な証拠を用いる場合は、どのような資料を調べた上で結論付けた事なのかも説明し、他の人にとっても追検証が可能になるようにしてください。他に、独自のアンケートや試算などを行った場合には、調査方法や試算で用いた計算方法などを示してください。

#### (4) 常識的に知られている事例や事実

例えば、日本人野球選手の能力は、大リーグでも十分通用する域に達しているという意見の証拠を示すとします。その場合は例えば、松坂、松井、そしてイチロー等の活躍の話をするとと思います。イチロー等が活躍していることは、新聞記事やテレビなどで連日報道されることであり、ある意味常識であるとも言えます。この様に、聴衆にとっても十分に受け入れられている事実・事例は、わざわざその引用元を示す必要なく、証拠として提示して良いと思います。

例えば、前出のボクシング禁止のスピーチでは、マクレランさんの事例が広く知れ渡った事実として、引用元を示すことなく述べられています（もし常識的に認められている事かどうか不安があれば、その事例が言及されている資料を探して、引用の形で用いてください）。

#### (5) 常識的に想像できる内容

最後に挙げる証拠は、常識的に想像できる内容です。例えば、バレンタインの日にチョコが全くもらえなかつたら、10代の男の子の繊細な心がどう傷つくか、小話(anecdote)をする事がこれにあたります。これは、正確には描写(illustration)と呼ぶのが相応しいのですが、聴衆に納得してもらえる限りは、有効な証拠として用いることも出来るでしょう。

このような証拠は、例えば体罰を日本の校教育で用いることを許すか否かという論題の様に、これまで実行されておらず、その結果現実に起きた事例が存在しない政策の是非や、テレビゲームが子供に有害か否かといった、身近な話題について論じる時に多用するかと思います。証拠といふと偉い人の言葉か、学術論文の引用をすぐ思い浮かべがちですが、その分野の専門家ではなく、一般の聴衆を相手に話をする時には、聞き手にとって容易に想像できる小話を 1つ出したほうがより説得力がある事もあります。



## SECTION 3. 引用の仕方

上で確認した証拠の種類のうち、「(1) 専門家の意見」と「(2) 調査結果・統計資料」を使う場合を、一般的に「資料を引用する」と言います。引用をする際には、それぞれスピーチ内で以下の情報を含めて下さい：

### 1. 引用元の示し方

#### (1) 専門家の意見

- a. その人の氏名
- b. 肩書き (例 victims of medical mistreatment; university professor etc.)

[例] According to Dr. Dekisugi, who is a law professor of Touto Univ., ~.  
(東都大学の法律学の教授、出来杉博士に拠れば~)

#### (2) 調査結果・統計資料

- a. 出典 (例 According to Japan's ODA White Paper, ~. )
- b. 年度 (, which was published in 2006, ~. )

[例] According to Japan's ODA White Paper, which was published in 2006, ~.  
(2006年に出版された、日本のODA白書によれば~)

#### (3) 新聞・ニュース記事の場合

- a. 新聞社・通信社の名前
- b. 日付

[例] According to the Daily Yomiuri, April 1st 2006, ~.  
(2006年4月1日のデイリーヨミウリに拠れば~)

### 2. 引用内容の示し方

どう資料をスピーチ内で示すかに応じて、以下の通り引用には直接引用と、間接引用の2通りの方法があります。どちらの引用をする場合も、元の資料の意味を曲げて伝えることにならないように注意して下さい。

### (1) 直接引用 (Direct Quotation)

- ・ 資料の内容をそのままコピーして読み上げる方法
- ・ 資料の必要な部分を、一語一句コピーして下さい。コピーした文を読み始め  
る際には、“Quote”と宣言し、読み終えた際には“Unquote”と言ってください。

### (2) 間接引用 (Indirect Quotation)

- ・ 資料の内容を、言い換え・要約して伝える方法
- ・ 資料の内容を言い換え、あるいは要約して伝えます。
- ・ “Quote” と “Unquote”は言う必要はありません。

## Task 1. 引用証拠を含んだ議論作り

これまでに学んだ内容を踏まえて、証拠の個所に引用を含んだスピーチを作つてみましょう。新聞あるいはニュース雑誌（日本語なら、エラ、日系ビジネス、またはニュース・ウイークあたりが適当だと思います）を用意して、その中から記事を 1 つ選び、以下の要領でそれを証拠に使つたスピーチを作つてみます。

### 【手順】

- ① 4 人程度のグループに分かれます（個人で行つても構いません）。新聞かニュース雑誌をグループで用意して下さい。日本語のものでも英語のものでも構いません。
- ② 用意した資料を、手分けして目を通して下さい。何らかの議論に使えそうな情報が見つかれば、候補としてグループの他の人に見せて下さい。
- ③ 選んだ資料から、実際にどんな Opinion(Claim) と Reasoning が作れるか考えて下さい。グループで考えがまとまつたら、右ページのワークシートに記入して、スピーチ原稿を作つて下さい。
- ④ ワークシートの[Evidence]の個所では、“According to ~”の後に資料名を入れた場合は、(1)の空欄に出版年・日付を記入してください。人名を入れた場合は、(2)の空欄に、その人の肩書を書いて下さい。片方だけ記入すれば十分です。
- ⑤ スピーチが完成したら、各グループ代表の人が前に出て発表会です。時間の余裕があれば、以前のレッスンで使つたスピーチの評価用紙を用意して、記入しながら聞いて下さい。その場合は、引用された資料が何であったか、General Comment の欄にノートを取つて下さい。またその証拠について、次節の「8.5 証拠を疑う」を参考に、引用のルールを守つていたか、そして議論の説得力を高める上でどれだけ有効な物だったか、評価してみて下さい。

## Argumentative Speech with Quotation

### ■ Introduction

- Good [morning / afternoon / evening] everyone.
- I believe that

### (1) Signposting

I will give you one argument. It is

### ■ Body

#### (2) Opinion (Claim)

[I will explain to you / My claim is] that

#### (3) Reasoning

My reasoning is as follows.

#### (4) Evidence

• I will give you one piece of evidence.

• According to [人名・資料名]

{ (1) which was published [日付 (in / on)] ,  
(2) who is [肩書き] ,

(quote)

(unquote).

#### (5) Significance / Relevance

This argument is [important / relevant] because

### ■ Conclusion

• For this reason, I beg to propose. Thank you.

Class ( ) #( ) Name:

## SECTION 4. 証拠を疑う

最後に、証拠を評価する観点についてです。証拠をたくさん加えたからといって、必ずしもその議論がより説得力のあるものになるとは限りません。その証拠がどれだけ議論を強めているか、以下の観点で判断してください：

### ○ 証拠を評価する観点

- (1) 証明したい事と証拠に、関連性があるのか
- (2) 引用であれば、出典を示しているか
- (3) その証拠の出典が古すぎないか
- (4) 情報源が信頼できるものか
- (5) ある人の意見が引用された場合、その人が本当にその分野の専門家なのか
- (6) ある人の発言の一部だけを直接引用して、本来の意見を歪めていないか
- (7) 根拠が不明な専門家の意見を、単に羅列していないか
- (8) 自分で調べた事例・事実である場合、それは再検証可能なものか、調査方法・算出方法に間違いがないか

幾つかの観点について補足説明します。まず「(1)証明したい事と証拠の関連性」ですが、例えば「学校週5日制は、子どもが豊かな心を育む上で有益なボランティア活動への参加の機会を与えるので、維持されるべきだ」という議論で出された証拠が、「ボランティア活動を経験したことがあると答えた小学生は、06年に行われた〇〇市教育委員会のアンケートで全体の70パーセントだった」という場合です。70パーセントであったとして、それがどうしたのか説明が必要ります。普通に考えれば、それだけでは関連性が無いとすぐ分かる証拠でも、一生懸命に調べて見つけた情報をどうしても使いたくて、無理に用いられている場合が多くあります。

次に、既に言及した「(7)専門家の意見の单なる羅列」に関してです。日本語ディベートの大会でしばしば見られるのですが、証拠として自分たちの意見を肯定する専門家の意見を単に羅列するだけで、どうして那人達がそう結論づけたのか何も補足説明がされない事があります。専門家の言うことが、何でも正しい訳ではありません。

専門家の発言の上手な引用方法として、意見の論証(reasoning)の部分を代弁してもらう、という使い方があります。この様に用いれば、「あなたの思い込みではありませんか」と退けられかねない複雑な論証を、より説得力のある物に変えることが出来ます。

最後に「(8)自分で調べた事例・事実」についてです。例えば仮に、「学校週5日制を廃止して土曜日も授業を行うと、自分たちの試算では年間10兆円の予算がかかる」と主張されたとします(これは、数年前の英語ディベートの全国大会で、とある高校が実際に試合で提示した数値です)。これは極端な例ですが、自分たちで調べて用意したという証拠・数値を提示された場合、その調査・算出方法を確認してみて下さい。

## SECTION 5. CROSS EXAMINATION

後のレッスンでも触れますぐ、英語ディベートには大まかに、政治家として議会でスピーチをする練習として始まったイギリス議会式のスタイルと、アメリカの弁護士が裁判で議論を戦わせる練習として始まったスタイルの2つがあります。

実際の裁判では、推論だけで事実の認定が行われてしまっては大変です。また、話し方の上手い下手で有罪か無罪か決まって困ります。何より提出された証拠の吟味と、そのための証人の尋問が重要になってきます。それで、裁判の練習としてディベートを行う場合では、証拠が特に大切になります。議論には、必ず証拠があることが期待されます。

裁判の練習として広まったディベートのスタイルでは、この証拠を確認するために、反対尋問(cross-examination)という特別の時間が設けられています。立論スピーチという、自分たちの立場を支持する議論を提示するスピーチが終わった後で、対戦相手のチームの代表1人から質問を数分間受け続けることになります(誰が質問できるかは大会ごとにルールで決まっています)。既に紹介した Point of Information とは異なり、質問を断ることは出来ません。全ての質問に答える義務があります。

例えば、Lesson 4 「議論の作り方」で例示した、「高校での制服の廃止」に関する肯定側の議論を見てみましょう。あのスピーチを、裁判の練習としてのディベートの試合で行った場合、以下で示した箇所に対して、証拠の有無を尋ねる質問が反対尋問で来ると予想できます。

### ○ Cross Examinationをする上で注意

- (1) 一定期間内は無制限に質問が出来る。
- (2) 相手の議論について、証拠の有無とその質を確認するのが目的。反論はしない。
- (3) 相手が答えやすいように、Yes/No Question を主に用いる(Why や How で質問をすると、相手の返答に時間がかかり、また好きに答えられてしまうので。Why や How で始まる質問が出来ないわけではありません)。

「高校で制服を廃止するべきだ」の肯定側議論に対する質問の例

【CD Track # 20】

Let me explain to you why this is the case. First, let me ask you how we use school uniforms. We wear the same jacket, pants, or skirt every day.

【質問 1】 Do you have the evidence to prove that we use only one set of school uniform? (私たちが一揃いの制服しか使わないという証拠はありますか?)

Only at the arrival of a new season do students usually change their uniforms.

【質問 2】 Do you have the evidence to prove that students change their uniforms only at the arrival of a new season? (生徒達は、季節の変わり目でしか制服を交換しないと証明する証拠はありますか?)

They are not washed or cleaned frequently. In short, they are quite dirty.

【質問 3】 Do you have the evidence to prove that school uniforms are not washed or cleaned frequently? (制服は頻繁に洗濯されたりクリーニングされないと証明する証拠はありますか?)

【質問 4】 Do you have any data to prove that school uniforms are actually dirty? (制服が実際に汚いと証明するデータはありますか?)

Please remember the smell of your friend's uniform in summer. It was soaked with sweat. You can easily understand how it is dirty.

【質問 5】 This is just your personal experience. Do you have the evidence to prove that the school uniform of not just your friend but most of the students are dirty? (これはあなたの個人的な経験です。あなたの友達だけでなく、大抵の生徒の制服は汚いと証明する証拠はありますか?)

Then, please imagine the situation when we abolish school uniforms. What will happen is that students wear different clothes every day. When we were in elementary school, where there was no uniform, we wore different clothes every day. This is a much better for children's health.

【質問 6】 This is just your imagination. Do you have any evidence to prove that without school uniforms, students put on clean clothes every day? (これはあなたの想像に過ぎません。制服がなければ生徒は毎日きれいな服を着るという証拠はありますか)

Why is this issue so important? Of course, children are weak and need to be protected from potential harms such as diseases.

【質問 7】 Do you have evidence to prove that dirty school uniforms actually cause illness among students? (汚い制服が、実際に生徒の間に病気を引き起こしたと証明する証拠はありますか)

Our School has the responsibility to make sure that children will not get sick because of bad health conditions.

【質問 8】 Do you have any evidence to prove that schools have such responsibility? (学校はその様な責任を持つと証明する証拠はありますか)

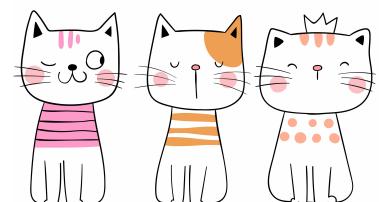
### Task 2. 質問の優先順位を考える

反対尋問での質問は、ただ数多くすれば良いというわけではありません。質問時間は限られており、1回の質問のやりとりはテンポが良くて30秒ほどかかります。それで、思いついた質問のうちで、どれを優先して聞くか考える必要があります。

上の質問例をもう一度見て下さい。この8つある質問のうち、2つだけを聞くことが出来るとしたらどれを選びますか。各自で考えて、発表してみて下さい。

### Task 3. 反対尋問をする

任意のトピックを選び、誰か1人にスピーチをしてもらって下さい。その後で「証拠は何か」について主に質問する反対尋問をして下さい(反対尋問で使える英語フレーズについては、巻末の表現集を参照して下さい)。慣れない間は、代表の人1人ではなく、複数の人が質問をして良いことにして下さい。





# Lesson 9.

## リサーチの仕方



Contents:

Section 1. リサーチの種類

Section 2. 日常的に行うリサーチ

Section 3. 調べる前にすること

Section 4. 資料集め

Section 5. 調べた後ですること

## SECTION 1. リサーチの種類

このレッスンでは、ディベートで扱われる論題について、知識を得る方法を説明します。ディベートで使える知識を集めるには、以下の3種類があります。

### ○ ディベートのためのリサーチの種類

- (1) 練習試合をしたり、大会の試合を見学することで知る。
- (2) 新聞・雑誌、テレビ、インターネット、大学の授業などで日常的に知る。
- (3) 興味を持ったトピックを、意識的に調べる。

まず、論題に関する知識を得るために、ある意味最も効率的なのは、誰か経験を積んだディベーターの試合を見ることです。大会などで、難しい論題を与えられた先輩ディベーターがどう戦うか観戦して、上手な説明や、有効な具体例をメモしておきます。

その内容をそのまま、自分が試合をする時に使うのは倫理上問題がありますが、自分なりにさらにアレンジして使ってみて下さい。真似るべきところは真似ることは、まだ初心者と中級者の境界にいるディベーターにとって、大変参考になります。試合のメモを大切に保存しておき、試合で再利用しているディベーターは、上級者でも案外います。ただし、試合で語られた内容を使いまわすだけでは、新しい話題についての論題が与えられた場合に、対応できません。その為に、日頃からリサーチをしておく必要があります。

2つ目には、日常的に時事問題について関心を持ち、情報を蓄えておく方法があります。そして3番目の方法として、特定の論題について文献などを利用して集中的にリサーチを行う事があります。本レッスンでは、まず日常的なリサーチの方法について説明した後に、特定の論題についてのリサーチ方法を説明します。



## SECTION 2. 日常的に行うリサーチ

### ○ 日常的に目にする情報源(1) 新聞

- (1) 日本語の新聞（全国紙であればどれでも良いと思います）
- (2) 英字新聞（高校生の間は Asahi Weekly などの週刊紙で良いと思います。  
帰国生の人は Daily Yomiuri を購読し、慣れたら International Herald Tribune に移って下さい）

それではまず、日常的なリサーチで使える資料について、種類ごとに紹介します。とりあえずは、新聞を毎日読んで下さい。日本語の新聞で構いません。社説と、特集記事が特に参考になります。ディベートの論題になりそうな事件や出来事は無いか、探しながら読んで下さい。

### ○ 日常的に目にする情報源(2) 雑誌

- (1) 日本語の一般向け週刊誌：  
「AERA」「日本語版 Newsweek」「クーリエ・ジャポン（隔週刊です）」
- (2) 日本語の経済週刊誌：  
「週刊日経ビジネス」「週刊東洋経済」「週刊ダイヤmond」
- (3) 英語の雑誌：  
“The Economist” “Foreign Affairs”

これら雑誌は、購読する必要はありません。図書室や図書館で手に取り、面白そうな記事だけ読めば十分です。働く女性が主なターゲットの雑誌ですが、AERA が内容的に穩当なものだと思います。また、サブプライム問題や、中東の政府系金融機関の影響力など経済の話題について知りたい場合は、上で挙げた経済週刊誌の特集記事を探してみて下さい。

帰国生向けに英語の雑誌を紹介すれば、週刊の The Economist 紙と、2カ月に1度出る “Foreign Affairs” が、ディベートのトピックに深くかかわる記事を含んでいます。それぞれ英語の表現が難しく、全ての記事を読もうとせずに、興味のある物だけ選んで読んで下さい。

### ○ 日常的に目にする情報源(3) テレビ番組

#### (1) 毎日やっている番組

「クローズアップ現代+」：平日 22:00～22:25 NHK 総合

「時論・公論」：平日 23:40～23:50 NHK 総合

#### (2) 時々やっている番組

「NHK スペシャル」、「ETV 特集」、その他主に NHK の特集番組

これらテレビ番組の内、特に「時論・公論」がディベーターにはお勧めです。毎日 10 分間、最新の話題について、NHK の解説委員が分かりやすく説明してくれます。時論公論の原稿、資料は NHK のウェブサイト上でも公開されています。

### ○ 日常的に目にする情報源(4) インターネット

#### • CNN News 10 (<https://edition.cnn.com/cnn10>)

アメリカのCNNが配信していた高校生向けのニュース動画がリニューアルされ、海外の英語学習者を主な視聴者とする番組へと数年前に変わりました。月曜～金曜まで毎日配信され、サイトにはスクリプトも掲載されています。

#### • NBC Nightly News (<https://www.nbcnews.com/nightly-news>)

アメリカで有数の視聴者数を誇る、平日に毎日放送されている 30 分のニュース番組のネット配信です。

英検で 2 級以上を持っている人であれば、CNN News 10 は半年ほど聞き続ければ内容の半分から 7 割ほど聞き取れるようになると思います（リサーチのためよりも、英語の勉強としてお薦めです）。

以上で紹介した新聞、雑誌、そしてテレビ番組に加えて、高校あるいは大学での授業からもディベートで使える知識を得ることができます。特に「現代社会」は、ディベーターにとって楽しみな授業だと思います。

参考： 各新聞と雑誌の編集方針の違い（2004年頃の話）

よく知られている通り、新聞社や出版社には独自の編集方針があり、各社の社説や特集記事を読む上ではそれを踏まえておけば、より批判的に主張を捉える事が出来ます。例えばアメリカの新聞では、New York Times (International Herald Tribune はこの新聞の国際版です) は民主党寄り、Wall Street Journal が共和党寄りということが広く知られています。

日本のメディアの編集方針の違いを理解する上では、旧来の「左 vs. 右」という対立軸に代わって、冷戦後の現在では「リベラル vs. 保守」という軸が参考になります。以下では、（小泉純一郎さんが首相であった 2004 年当時の）政党・派閥間の大まかなスタンスと合わせて、各社の編集方針を示しておきます（あくまで大まかな、一般的にも当時認められていた特徴づけです）。もし興味があれば、何か大きな事件があった際に、図書館に行って各新聞の一面記事と社説を読み比べてみて下さい。色々と、面白い発見があると思います。

図 1. 政党・派閥間にあけるスタンスの違い（2004 年当時）

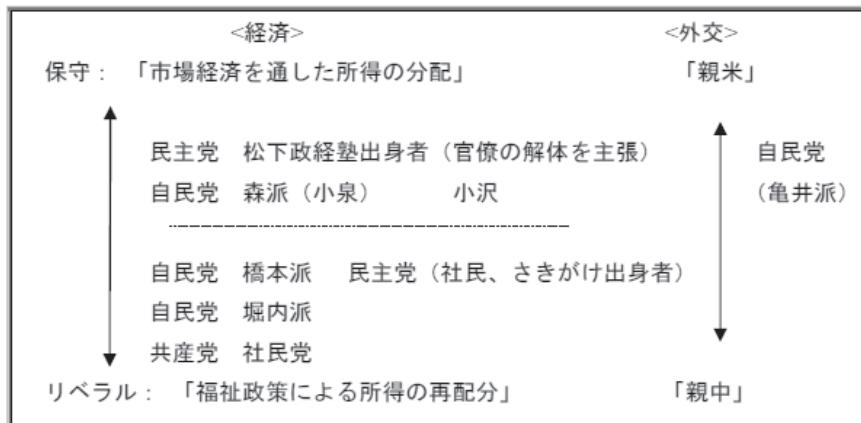
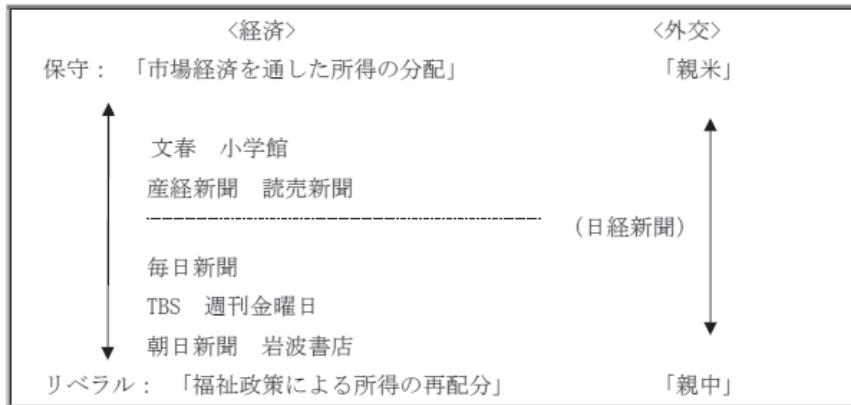


図 2. メディアにおけるスタンスの違い



### SECTION 3. 特定の論題を調べる①：調べる前に

それでは次に、特定の論題について興味を持ち、リサーチをする場合の方法について順を追つて説明します。ここでは、次の論題で具体例を示します：

This house believes that Japan should lower the age of adulthood to 18.

「\*日本政府は成人年齢を 18 歳に引き下げるべきだ」

(注 2018 年現在、すでに 18 歳に引き下げが決定しています。成人年齢引き下げが実際に決まるまでは、これはよくディベートの大会で使われた論題でした。

#### 1. 自分が既に持っている知識で考える

まずは、何も資料を使わずに、自分が今持っている知識で議論を作った場合、どの様なことが言えるか考えます。成人年齢を引き下げるとは、投票権を得ることに加えて、少年法ではなく刑法が適用される年齢、飲酒・喫煙を合法的に行える年齢、また民法上で大人として結婚や商取引などの契約を結べる年齢などを一括して含みます（この程度は、新聞を読んでいれば目にする情報です）。

たとえば、この論題では以下の議論が出せるのではと思います：

##### [肯定側]

- ・政治への若者の参加が増す。
- ・若者が望む政策がより実施される。
- ・少年犯罪の厳罰化による犯罪抑止と再犯率の低下
- ・飲酒・喫煙などの楽しみを享受出来るようになる。

##### [否定側]

- ・若者受けをするだけで政治家の資質に欠ける候補者が選挙で選ばれる。
- ・少年としてではなく成人として罰せられることによる、社会更生の機会の喪失
- ・大人として契約を結ぶことによる害（消費者金融など）
- ・子どもの飲酒・喫煙を助長する。

これらの内で、主に選挙と、少年犯罪が大きな論点として出てきそうだと予想がつき、それらについて特に調べてみる必要がありそうだ分かります。

## 2. トピックについて概要を知る

次に、リファレンスブックと呼ばれる、百科事典的な資料を用いて基礎知識を得ます。まず図書館に置いてある、またはディベーターが各人持っておくべき紙の資料では以下があります：

### ○ リファレンス資料① 紙類

#### (1) ディベーター用の資料集

「日本の論点」(毎年、11月下旬から12月初頭にかけて刊行される)

「Pros & Cons」(帰国生向け ISBN: 0415195489)

「The Debatabase Book」(帰国生向け ISBN: 0972054162)

#### (2) 一般向け資料

「現代用語の基礎知識」「朝日キーワード」「Imidas Special」など

#### (3) 高校の「政治経済」や「公民」の資料集

これらのうち、まずディベーター用の資料集から、該当する論題についての解説が無いか探しでみます。毎年、社会で論争になっている事柄について賛成と反対の双方の論者からの寄稿を掲載している「日本の論定」を確認する場合は、過去数年分遡って調べて下さい。最新の巻には載っていないなくても、近年話題になっているトピックであれば、過去数年のうちのいずれかに関連する小論が記載されていることもあります。

英語の資料である「Pros & Cons」と「The Debatabase」では、そのまま主要な論題について肯定側と否定側の双方の意見が記されています。これらの資料集を読むときには、特に各項目末の参考・引用文献一覧を見て下さい。より深く知るためにには、次に何を読めば良いかを知る手がかりになります。ただし、この2つは帰国生向けの資料と思って下さい。

次に、一般の人向けの資料です。網羅的な百科事典として、2006年までは「Imidas」「知恵蔵」「現代用語の基礎知識」の3種類が毎年11月頃に出版されていましたが、現在では「現代用語の基礎知識」だけが刊行されています。よりコンパクトな資料集として、「朝日キーワード」や、時事問題の解説に絞って毎年刊行されるようになった「Imidas Special」などがあります。ネットに散乱している知識を寄せ集めて何かを知ろうとするよりは、まずはこれら、読み手に伝わりやすく簡潔に整理された資料集に目を通す方が効率的でしょう。

最後に、高校の授業でも配られる社会科の資料集です。上に挙げた本を新しく買わなくても、それら資料集で十分役に立ちます。大学生のディベーターの中には、わざわざ新しく購入して使っている人もいます。

## ○ リファレンス資料② インターネットのサイト

### (1) ディベーター用の資料集

「On-line 版 Debatabase」 <http://www.idebate.org/>

### (2) 一般向け資料

「Wikipedia (日本語版、英語版)」

次に、インターネットから利用できる資料です。先ほどの Debatabase のインターネット版を覗くと共に、Wikipedia の日本語版と英語版を探してみて下さい。死刑制度や裁判員制度など、ディベートのトピックでは、日本語版と英語版共に内容が充実しています。

### 【Wikipedia “Voting Age”】

This screenshot shows the English Wikipedia page for 'Voting age'. The page title is 'Voting age'. Below the title, it says 'From Wikipedia, the free encyclopedia'. The main content discusses the definition of a voting age as a minimum age established by law and notes that most countries have a voting age. It then provides a detailed history of voting ages around the world, mentioning the shift from 21 to 18. A sidebar on the left contains navigation links like 'Main page', 'Contents', and 'Recent changes', along with a search bar.

### 【Debatabase “Voting age, Lowering”】

This screenshot shows the Debatabase page for 'Voting age, Lowering'. The page title is 'Voting Age, Lowering'. It includes a summary stating that the age at which people gain the right to vote was lowered to 16. Below this, there's an 'Introduction' section with author information about Alastair Endersby. The page also features a sidebar with links to 'Database', 'Discussion Boards', and 'IDEA Store'.

これらを読めば、日本での成人年齢引き下げ論議は、安倍内閣時で成立した「日本国憲法の改正手続きに関する法案」で、18歳以上に投票権を与えると規定されたことで大きく取り上げられるようになったと分かります。公職選挙法なども改正し、18歳以上が国政選挙でも投票できるようになるまでは、憲法改正のための国民投票でも、20歳以上に投票権を与えると附則3条にあります。各国の動向を見れば、ベトナム戦争や学生運動が盛んであった1970年代に、欧米諸国で20歳から18歳に引き下げられ、現在では世界の160カ国以上での成人年齢が18歳になっていると分かります。さらにイギリスでは、投票権の与えられる年齢を、18歳から16歳に下げるか否かという議論が起こっているとも分かります。

以上のリサーチは、図書館にいれば30分～1時間で終わります。これまでの作業で、その論題の背景知識は十分に得られました。普通のリサーチであればこの程度でも十分かもしれません、証拠を集めて試合をする必要があったり、またリサーチの発表会で報告する場合は、もう少し調べる必要があります。

## SECTION 4. 特定の論題を調べる②：資料集め

### 1. 新書本を探す

まずは、日本語の新書を探してみましょう。新書本は、5~6 ドル程度のお金払えば手に入る、世界でも他にほとんど類のない安価で便利な資料です。新書本を検索するには、以下のサイトが役に立ちます：

「新書マップ」 <http://shinshomap.info/>

これは、国立情報学研究所のプロジェクトで 2004 年から運用の始まった、各社の新書本を一括して検索できるサイトです（現在は NPO 法人「連想出版」が事業を引き継いでいます）。こちらで検索した本の中から、興味のある物を公共図書館、学校の図書館で探してみましょう。

#### 【新書マップ検索結果「少年犯罪】

The screenshot shows a Windows Internet Explorer window displaying the 'Shinsho Map' website. The URL in the address bar is [http://shinshomap.info/theme/juvenile\\_crime.html](http://shinshomap.info/theme/juvenile_crime.html). The main content area shows a search result for '少年犯罪' (Juvenile Crime) under the theme '少子高齢化社会'. On the left, there's a sidebar with book covers for various titles like '少年犯罪の深層' and '少年犯罪の実名報道'. The right side displays a list of books with their titles, authors, and brief descriptions. A sidebar on the right lists other categories such as '少年犯罪', '不良少年', '犯罪と犯行', and '日本の司法'.

書名	著者	出版社	発行年
少年犯罪の深層	藤原正義著	岩波書店	2005
少年犯罪の実名報道	石井小夜子著	吉川一也	2005
悲しみの子どもたち	岡田尊司	吉川一也	2005
少年法と向きあう	鈴木信吾著	岩波新書	2005
少年法	鈴木信吾著	岩波新書	2005
少年犯罪と向きあう	吉川一也	岩波新書	2005
17歳どくつ病	吉川一也	岩波新書	2005
少年法問題直す	吉川一也	岩波新書	2005
少年犯罪実名報道	高山文彦著	吉川一也	2005
悲しみの子どもたち	岡田尊司	吉川一也	2005

公共図書館、大学図書館であれば Web OPAC (オンライン蔵書目録)で必要な本を所蔵しているかどうか調べられますので、あらかじめ確認してから本棚に行きましょう。また、新書本を購

入する場合、最近出版されたのでなければ普通の書店では見つけるのに苦労します。その場合は「amazon.co.jp」や「bk1」といったオンライン書店か、紀伊国屋書店か丸善といった、各店舗の在庫状況をインターネット上で検索できる書店を利用すると良いでしょう。

成人年齢引き下げのリサーチの続きとして、「少年犯罪」で検索したところ、12 冊出了しました。簡単な内容紹介と出版年などの書誌情報を踏まえ、図書館に行って手に取る数冊を決めます。

## 2. 新聞記事を探す

次に、新聞記事を探す場合です。日本語の新聞記事は、各社とも過去数ヶ月分は無料でインターネット上から検索出来ますが、それ以降であれば有料のデータベースを利用する必要があります。通う高校や大学の図書館、または公共図書館からその有料データベースを使えれば一番なのですが、何らかの事情でその契約がされていなかったり、自宅のパソコンから過去に遡って調べたい場合には、以下の英字新聞のアーカイブが役立ちます：

- |   |  |
|---|--|
| {   | • Japan Times (1999 年から) :<br><a href="http://search.japantimes.co.jp/search5.html">http://search.japantimes.co.jp/search5.html</a> (1999 年から) |
| • The New York Times (1851 年から) :<br><a href="http://www.nytimes.com/ref/membercenter/nytarchive.html">http://www.nytimes.com/ref/membercenter/nytarchive.html</a> (1851 年から) | }  |

それぞれ無料で全文検索出来ます。資料を翻訳する手間を考えれば、こちらをメインで使っても良いでしょう。

## 3. 雑誌記事・学術論文を探す（日本語）

次に、雑誌記事を検索する方法を紹介します。日本国内で出版された一般向けの雑誌記事、そして特に大学紀要などの学術雑誌に掲載された論文を探す場合は、以下のデータベースを使います：

国立情報学研究所 CiNii(論文情報ナビゲーター): <http://ci.nii.ac.jp/>

「少年犯罪」で検索した結果、807 件の記事・論文が見つかりました。こちらで見たタイトル、著者、そして掲載された雑誌名を参考に、関連のありそうな論文を図書館で探すことになります。また、いくらかの論文は、CiNii からそのまま PDF ファイルで入手することができます。

インターネット上で一般に公開されていない学術論文に関しては、大学図書館を利用しなければほぼ入手は難しいと思います。大学図書館が利用できない場合は、公共図書館、または高校の司書の方に相談してみて下さい。紹介状を書いてもらえば、利用できます。

## [CiNii(サイニー)検索画面]

また、論文のより詳しい検索方法に関しては、各大学図書館のホームページを一読してみて下さい。例えば、国際基督教大学図書館のホームページには、各データベースへのリンク集があります。それらの中には、契約をしていなければ利用できないものもありますが、一般に公開されているものもあります。

## 【国際基督教大学図書館ウェブサイト】

また、図書館を利用した資料の探し方について、亞細亞大学付属図書館のウェブサイト内の、「図書館の達人への道」というページがとても参考になります。統計や雑誌記事など、必要な情報の種類ごとに、その入手方法と利用すると便利なデータベースが紹介されています。

- ICU Library: <http://www-lib.icu.ac.jp/>
- 亞細亞大学付属図書館 : <http://www.asia-u.ac.jp/lib/index.htm>

ただし、こちらのデータベースで論文を探すよりも、どれか1つ関連する論文を見つけ、その論文で引用されている論文、そしてその著者の別の論文をまた読んでいく方法が、検索画面を見つめ続ける探し方よりも効率が良いでしょう。そのためにも「日本の論点」をまず開いてみて下さい。「日本の論点」には、各トピックについて、参考文献が載っています。

## 【亞細亞大学図書館ウェブサイト】

#### 4. 雑誌記事・学術論文を探す（英語）

---

高校生の段階ではまだ必要はないかもしれません、英文の雑誌記事を探す方法を紹介します。英語の文献を探す場合は、大学図書館で各分野のデータベースを検索し、電子ジャーナルとして利用可能であれば PDF ファイルをダウンロードするか、紙媒体で所蔵されていればコピーすることになります。ただし、まだ調べ方に慣れていない場合は、インターネット上で、「Google Scholar」を利用してネットで公開されている論文を 1 つ見つけ、そこで引用された物をまた読み進める方法が現実的かもしれません。

Google Scholar を使って、“Voting Age” そして “Juvenile Crime” で検索した場合、無数に検索結果がありました。それらの内から自分の知りたい情報を含んだ論文を探すのは、経験がいるかもしれません。もし頼める相手がいれば（例えばその分野を勉強している大学生の知り合いか友人、または大学の先生）、いくつかの論文を紹介してもらうのも良いでしょう。

#### 5. 学術書・一般書を探す

---

ディベートのリサーチの為に、日本語にしろ英語にしろ、学術書を読むことはかかる労力・時間を考えればあまり現実的ではないと思います。本 1 冊を書くには相当の労力が必要で（例えばこのディベートの教科書を作成するのにさえ、数年かかっています）、含まれている情報も古いものになっています。また、研究者は著書よりも、論文を書くことに重きを置きます（大抵の学術書は、発表した論文を再編集して 1 冊の本にしています）。これらの理由から、リサーチの為に学術書を読むことはあまりお勧めできませんが、以下では簡単に探し方を説明します。

基本は、これまでに読んだ論文の中で引用されていた物の中から選んでください。引用もされないような文献では、あまり価値のある情報が含まれていないと思います。また、英語の図書では、Amazon.com を使ってみて下さい。例えば、“Voting Age” で検索すれば、学術書と一緒に、何冊か一般向けの本が見つかります。書評を参考に、読んでみたい本を見つければ、大学図書館で所蔵されていないか探してみて下さい（購入する場合は、同じ本を日本の Amazon.co.jp で探して購入するのが確実です）。大学図書館が利用可能であれば、その大学図書館の OPAC（オンラインで検索できる所蔵図書の目録）で探して下さい。もし所蔵していないければ、国立情報学研究所の、NACSIS Webcat か、Webcat Plus という日本中の大学図書館の蔵書を検索出来るデータベースを利用します(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)。

大学生以外の方が大学図書館を利用する場合には、所蔵を確認した上で、前述の通り公共図書館から紹介状を書いてもらう方法が確実です。他にも、筑波大学や東京学芸大学などの国立大学、亜細亜大学などの私立大学では、学生以外の一般の方にも閲覧を許しており（図書館によっては「18 歳以上」などの制限がありますが）、ネットで利用条件を確認した上で行ってみるのもよいでしょう（知り合いの卒業生に頼んでしまうのが、一番手っ取り早いのですが）。

## SECTION 5. 調べた後ですること

ここまで、資料を調べる方法を紹介しましたが、単に調べるだけでは情報の海に溺れてしまいます。雑誌や論文の山を前にして、途方にくれないためにも、リサーチには明確なゴールを設定しておく必要があります。以下では、そのリサーチを通じて達成すべき目標を説明します。

### 1 議論の証拠をメモする

ディベートのためのリサーチの基本は、予め大まかに考えた議論の証拠となる情報だけを探して、それぞれある程度数が揃つたらよしとします。もちろん、調べているうちに、新しい議論を思いつくかもしれません。その場合は、始め作った議論の候補をリバイスして、より良いものにして下さい。

### 2 リサーチした成果を発表する

次に、調べた物を整理して誰かに発表して下さい。発表では、次の 3 点を説明して下さい：

- 1) 論題の背景（基礎的な知識に加え、なぜこの論題が今大切なのか）
- 2) 論題に関する肯定側と否定側の大まかな議論
- 3) リサーチした結果見つかった証拠

関連してお勧めなのは、ディベートを始めたばかりの人に古典的な論題についてリサーチさせることです。各人に 1 つずつ論題を割り振って、週に 1 回程度の頻度で発表会を開きます。先輩は、後輩の集めた知識がどうディベートの試合で活かせるのか、また過去の試合経験から他にどんな観点、議論があり得るのかアドバイスします。誰かに伝えることで、改めて知識を整理し、また単に調べただけでは得られない新しい発見を、発表後のディスカッションから得ることが出来ると思います。

### ◇まとめの課題

本テキスト巻末の論題一覧表から、古典的な論題を 1 つ選び、リサーチ発表の準備をして下さい。かける時間は、事前のブレインストーミングに 20 分、インターネットだけの調査で 30 分、図書室に行って雑誌・論文記事も利用してもう 30 分、そして 1 時間使って発表の用意をして下さい（簡単な A4 用紙 1、2 枚のハンドアウトを作つて下さい）。リサーチは続けようと思えば、際限がありません。この様に時間を区切つて、発表準備をしてみて下さい。

## 【参考】 ロールプレイ「日本人はどうして？」

今回は、以前紹介した日本人と外国の人のロールプレイ課題の追加です。1人の人が日本人、もう1人は留学で日本に来た外国の方を演じます。その外国の方は、日本で暮らし始めてみて、不思議なことを幾つか目にしました。それで、これから日本人の友達に質問をしてみます。日本人役の人は、質問に答えて下さい。外国人役の人は、中途半端な説明では納得せず、さらに食いついて下さい。質問は以下から1つ選んで下さい。

### Topics

- (1) "Why do Japanese people always ask for my blood type?"  
(どうして日本人は、私の血液型を聞くのですか)
- (2) "How can Japanese people stand commuting in a train which is so crowded?" (どうして日本人は、あんなに混んだ電車で通勤・通学するのに耐えられるのですか)
- (3) "Why do Japanese people change the color of their hair into brown?"  
(どうして日本人は、髪の毛の色を茶色に変えるのですか)
- (4) "Why do Sumo wrestlers have to be naked to fight?"  
(どうしてお相撲さんは、試合をするのに裸でないといけないのですか)
- (5) "Why are there so many vending machines in Japan?"  
(どうして日本には、こんなに多くの自動販売機があるのですか)

これら英語を話す練習は、英語の授業外でも、相手をしてくれる人が1人いればいつでもどこでも可能です。授業外でも練習をしてみて下さい（ちょっと恥ずかしいかもしれません）。





# Lesson 10.

## 初めての パーラメンタリー ディベート



### Contents:

- Section 1. 高校生 & 大学生世界大会
- Section 2. 高校生世界大会の論題
- Section 3. パーラメンタリーディベートの原理
- Section 4. 即興ディベートの諸形式

## SECTION 1. 高校生 & 大学生世界大会について

英語ディベートにも世界大会があることを、皆さんはご存知でしょうか。ここでは、大学生向けの世界大会と、高校生向けの世界大会をそれぞれ紹介します。英語ディベートの練習を積み重ねていけば、一体どんな大会で、どんな相手と試合をすることになるのでしょうか。

### 1 大学生世界大会 (World Universities Debating Championships, WUDC)

1981 年より、英語ディベートの大学生世界チャンピオンを決める大会が、学生自身の手で開催されています。現在では、約 50 力国から概算でディベーター 600 人、ジャッジ 300 人の参加者があり、大会運営者 100 名程度と合わせると総計で 1 千人が集う大会になっています。大会の日程は、例年 12 月最終週から、翌年 1 月第 1 週まで、10 日間前後です。大会期間中は、ディベートの試合の他にも、開催国との文化交流的な催し物もあります。

出場する大学は、主にイギリス圏（本国に加えて旧植民地を含む）の大学で、それに加えて英語圏（英語が第 1 言語、公用語、あるいは高等教育での教授言語として用いられている地域）の大学が多く参加しています。日本の様に、外国語として英語を話す地域の出場者も近年増加しています。参加者は各大学の代表者であり、近年では日本からも数十の大学から参加者があります（出場資格は、大まかに言えば「所属大学の代表チームであること」です。国内予選があって、国の代表として出場するわけではありません）。

どの大学が大会をホストする事になるかは、大会期間中に開かれる総会にて選ばれます。大会の公式サイトは、「大会名+年（例えば WUDC 2018）」で検索するとすぐ見つかります。ディベートの形式は、British Parliamentary Style という、イギリス議会を模して 4 チームが同時に對戦するフォーマットです。予選の 9 ラウンドを経て、通過した 32 チームが準々決勝からトーナメント形式で優勝を目指します。本選と平行して、ESL(英語を第 2 言語とする者)部門と EFL(英語を外国語とする者)部門の決勝トーナメントが設けられています。

### 2. 高校生世界大会 (World Schools Debating Championships, WSDC)

第 1 回目の高校生世界大会は、1988 年にオーストラリアで開催されました。大学生世界大会がシドニーで開催されるのに合わせて、現地のディベート団体が運営主体となり、呼びかけに応じた 6 力国の代表チームが参加しました。大会では原則として各国で国内選抜を経た 1 チームのみが出場を認められます。

累計で、これまでに約 70 力国からの出場がありました。大会のディベートフォーマットは、

BP Style とオーストラリアのディベートフォーマットを折衷して作ったとされる、World Schools Style と呼ばれるものです。聞いた話では、Asian Style は、この高校生世界大会を基にした形式だそうです。予選 8 試合のうち、半分の 4 試合が大会の数週間前に論題が発表され、残り 4 試合は論題を発表されてから 30 分から 1 時間の後に試合を行います。

2018 年現在では、日本の代表チームは全国英語ディベート連盟(HEnDA)という、1 つの論題を半年以上調査して証拠を引用して議論を競い合う、「Policy Debate」あるいは「調査型英語ディベート」の全国大会を運営する団体によって、ナショナルチームが選抜されています。

## SECTION 2. 高校生世界大会の論題

### 1 事前に発表される論題

高校生世界大会では、予選試合(preliminary round)の幾つかと、決勝戦の論題が事前に公表されます。大会の最低 8 週間前までに、専門の委員会が論題を選び、大会運営者経由で発表されます。例えば、2006 年度のウェールズ大会では以下の論題が事前に示されました：

#### [予選(Preliminary rounds)]

- This house supports the international trading of pollution quotas.  
「本院は、汚染物質の排出量割り当ての国際的な取引を支持する」
- This house believes that captured terrorists should be treated as prisoners of war. 「本院は、捕えられたテロリストは戦争捕虜として扱われるべきと信じる」
- This house believes that Internet search engines should boycott China until it allows its citizens unrestricted access to the Web. 「本院は、インターネット検索エンジン（会社）は、ウェブサイトへの制限のないアクセスを市民に許すまで、中国（政府への技術援助）をボイコットするべきだと信じる」
- This house would place a worldwide ban on the use of civil nuclear energy.  
「本院は、民間の原子力利用に対して世界的な禁止措置を敷く」

#### [決勝(Grand Final)]

- This house believes that democracy is the best system of government for every nation. 「本院は、民主主義はあらゆる国家にとって最良の政治体制であると信じる」

語句の説明をすると、論題の “house”とは衆議院、参議院といった議会を指します。論題の冒頭に “THBT～” あるいは “THW ～” という略称表現が来ている場合がよくありますが、それぞれ “This house believes that ～” と “This house would ～” を表します。また、数週間の準備時間が与えられており、当然リサーチを行っておくことが期待されています（この様に、パーラメンタリーディベートの大会であっても、「即興ディベート(impromptu debate)」でない、そしてある程度の調査を用意する場合があります）。

## 2 試合直前に発表される論題

上記の事前に発表される論題に対して、大会の運営者は予選ラウンドの試合の最大半分まで、即興ディベートとする事が大会の規約で許されています。与えられる準備時間は規約では定められておらず、大会運営者の裁量に任されていますが、通例は 1 時間です（練習試合では 30 分程度です）。2006 年度大会では、以下の論題が即興ディベートの試合で使われました。

### [予選試合(Preliminary Round)]

- Round 2: This house believes that full-time students should take part in compulsory charity work.  
「本院は、普通科の生徒は義務的な奉仕活動に参加するべきだと信じる」
- Round 3: This house would place a worldwide ban on tobacco advertising.  
「本院は、たばこ広告に対して世界規模の禁止措置を敷く」
- Round 6: This house would ban abortion except in cases where the mother's health is at risk.  
「本院は、母体に健康上の危険がある場合を除いて、妊娠中絶を禁じる」
- Round 8: This house believes that the War on Terror has been counter-productive. 「本院は、対テロ戦争は逆効果であると信じる」

### [本戦トーナメントの試合(Break Round)]

- Octo Finals: This house believes that governments should subsidize the traditional arts of minority cultures.  
「本院は、政府はマイノリティー文化の伝統芸術に補助金を与えるべきだと信じる」
- Quarter Finals: This house would punish sports teams whose fans misbehave.  
「本院は、そのファンが過ちを起こしたスポーツチームを罰する」
- Semi-Finals: This house believes that first-time offenders who commit non-violent crimes should not be sent to jail.  
「本院は、暴力行為以外の犯罪の初犯者は刑務所に送られるべきではないと信じる」

上の例を見て分かる通り、論題の多くは国際政治・経済の分野から出題され、その他にはどの国においても共通して社会的関心事となっている、中絶やマイノリティー文化の保護といった分野や、法律や社会の原理・原則に関わる分野から出されています。

論題の特徴として、準決勝や決勝戦の論題から分かるように、（もちろん人を説得させる上でそれらはとても有効ですが）単にある政策のメリット・デメリットを話すだけではなく、民主主義とは何であるのか、刑事罰とはどうあるべきなのか、といったより本質的な事柄についての分析を示す事がディベーターには期待されています。

これらの論題は、大学生が日本語で試合をしたとしても、大変難しいものだと思います。はじめはより身近な、分かりやすい論題を用いて練習していきます。本レッスンでは、これら高校生そして大学生世界大会で用いられる形式をより簡略化したスタイルで、ディベートの試合をします。

### SECTION 3. パーラメンタリーディベートの原理

ここでは、イギリス議会での答弁の練習として始まったパーラメンタリーディベート（とそこから派生した諸形式）で試合をするために、頭に入れておいた方が良い原理をいくつか説明します。それらは、日本ではパーラメンタリーディベートに並ぶもう一つの大きなディベート形式である、裁判の訓練に近い Policy Debateとの違いを理解する上で特に参考になります。

#### 1 専門家ではなく「普通の市民」を説得させるスキルを磨くことが目的

パーラメンタリーディベートは、いわばイギリス議会での答弁のロールプレイです。ディベーターは政治家を演じる事になるのですが、それではジャッジは誰を演じるのでしょうか。パーラメンタリーディベートにおいて想定されるジャッジは、ディベートの専門家でも、扱われるトピックについての識者でもありません。“Average reasonable person”と呼称される、新聞に書かれている程度の知識を備えた、投票権を持った市民です。

それ故に、ディベーターは専門的な知識を振り回さず、一般の人に伝わるスピーチをすることが望まれます。裁判における、法律の知識を持った判事を相手にして、綿密な調査の末に入手した証拠を吟味し合うスピーチではなく、普通の人の理性と常識に響くスピーチを行うことが、ディベーターには求められます。

またジャッジは、裁判に形式が似た Policy Debate の試合で幾らかのジャッジがそう立場を表明する、“Tabula Rasa”（相手チームから反論が行われなければ、どの様に非常識な議論であっても受け入れる立場）ではありません。一般常識と理性に基づいて、ジャッジはディベータ

一の議論の中身を評価することが許されています。たとえ相手チームから批判を受けていない議論でも、あまりに常識から逸脱した内容であれば、ジャッジは自ら判断してその議論を退けることが許され、あるいはむしろそうする事が期待されています。

念のために加えると、一般的な市民を聴衆として前提しているからといって、誰でも大会のジャッジが出来るわけではありません。ジャッジとして訓練を積み、勝敗をつけられるようになるだけでなく、その勝敗の理由をどう選手に分かりやすく伝えるかについて訓練が必要です。

## 2 どのようなスピーチが良いスピーチなのか

各大会において定められるルールには、各スピーカーの話す順番と与えられた時間が明記されています。また、それぞれの形式において、各スピーカーの大まかな役割がルールに記されています。しかし、そのそれぞれの役割をいかに果たすかという点については、各人の解釈に委ねられています。

パーラメンタリーディベートにおいて良いスピーチとは、すなわち聴取を説得できるスピーチです。その目的に適う限りにおいて、各スピーカーは与えられた役割を果たす方法に、裁量が与えられています。もちろん、どう話せばより聴衆に伝わりやすくなるのかについて、経験上アドバイスできることはあります（そしてそれが、ここまで学んできてもらった「議論の構成」や「サインポスト」の使い方などです）。

## 3 「証拠」の扱い方

何度か触れましたが、ディベートの形式には、本書が扱う議会でのスピーチ訓練のための「イギリス議会式」ディベートの流れと、裁判に形式が似た Policy Debate(「～すべきだ」という政策論題を主に扱うために、その名前が付いています)の 2 種類があります。

「全国教室ディベート連盟」が運営する日本語ディベートの中高生大会、「ディベート甲子園」は後者の流れを汲んでおり、その結果として、議論を作る際にはまず証拠ありきという立場が取られています。裁判で、なんら証拠の提出無しに、容疑者が有罪と判断されては困ります。そんな裁判の訓練である以上、まず証拠を集め、それに基づいて議論を作り、試合中は双方のチームが提出された証拠を吟味することが期待されています。また、「発生過程」や「固有性」など、特殊な用語を用いて議論が戦わされています。

その一方で、判事ではなく一般市民からスピーチの評価を受ける議員は、特有の専門用語を振り回さず、分かりやすいスピーチを心がける必要があります。そして、聴衆の心に訴えかけるには、必ずしも証拠があれば良いという訳ではありません。

例えば、専門家の意見など証拠資料を多数散りばめた難しいスピーチよりも、資料の引用は無いが、自分の言葉で簡潔に、分かりやすく理由を説明したスピーチの方がより聴衆に伝わる場合もあります。

イギリス議会では、スピーチにおいてメモ程度の資料しか用いることが出来ず、原稿を棒読みして答弁することが許されていないそうです(イギリス議会のホームページにも、“using notes only”でスピーチをするとあります)。パーラメンタリーディベートにおける証拠資料の扱われ方は、この実際のイギリス議会のルールを反映していると言えるでしょう。

## SECTION 4. 即興ディベートの諸形式

ここでは 2018 年現在、日本の高校と大学生大会で使われている英語ディベート形式について説明します。高校生向けに、ある程度の規模の大会を実施している団体は以下の通り 3 つあります。このレッスンの残りでは、簡単にそれぞれの形式を説明します。

### ■ HPDU

[団体名] 一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟 (High School Parliamentary Debate Union of Japan)

[大会名] ・「新緑杯」 例年 6 月に関東の高校で開催  
ノースアメリカンスタイルを 3 人で行う形式  
・「連盟杯全国大会」 例年 3 月に関東の会場で開催（都道府県大会予選あり）  
高校生世界大会の試合形式にアレンジを加えた形式

### ■ PDA

[団体名] 一般社団法人 パーラメンタリーディベート人材育成協会 (Parliamentary Debate Personnel Development Association)

[大会名] ・「PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会」 例年 12 月に開催（県大会予選なし）  
大幅に時間短縮したノースアメリカンスタイルを 3 人で行う形式  
・「PDA 高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会」  
\*2018 年は 1 月に実施。「PDA 全国大会」の上位 3 チームと特別に選ばれた国内 3 チーム、4  
カ国からの高校生海外チーム、主に日本国内の大学に留学していた大学生 8 チームが参加

### ■ HEnDA

[正式名] 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 (All Japan High School English Debate Association)

[大会名] 特に「全国大会」を冠するような大会は実施していませんが、東海地方と中部地方を中心に即興英語ディベートの練習会が熱心に開催されています。

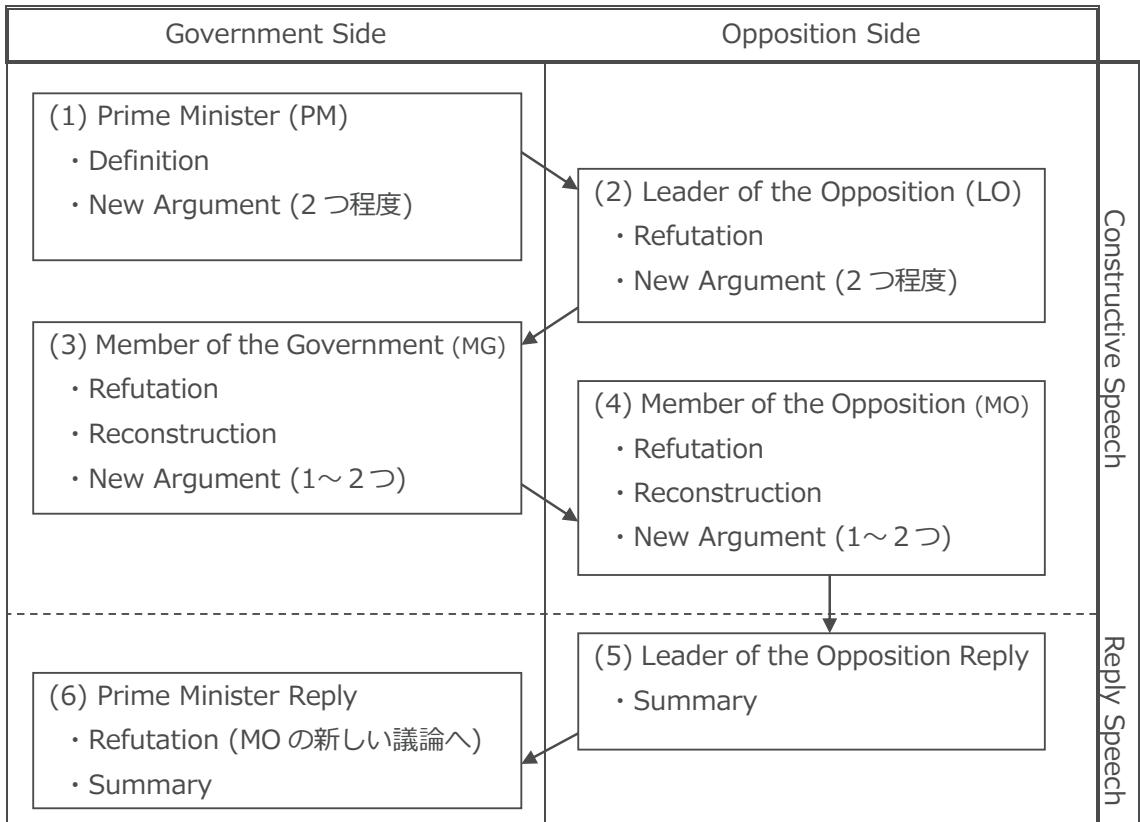
## 1. North American Style (ノースアメリカンスタイル)

まず最初に紹介するのは、日本の高校生向けの即興英語ディベートの諸形式の原形とも言える、ノースアメリカンスタイルです。90 年代の初めに来日したプリンストン大学の学生を通して導入され、日本英語交流連盟(ESUJ)によって大会が開かれ日本的学生の間で普及しました。

### The Format of North American Style

・参加選手： 2 人対 2 人

準備時間:20 分間



この形式は、4 チームで争う British Parliamentary Style をより単純にした形式だと捉えて間違いはないでしょう。BP スタイルでは Opening Side と Closing Side という様に、肯定側そして否定側がそれぞれさらに前半後半の 2 チームに分かれますが、この形式では Opening Side だけで戦います (BP スタイルについては最後に説明します)。

最後のまとめスピーチである Reply Speech は、Leader of the Opposition と Prime Minister がそれぞれ分担します。POI を Constructive Speech の最初と最後の 1 分間を除いて行うことが出来るのは、他のスタイルと同様です。準備時間は論題発表から、20 分間になっています。

## ◆ 各スピーチの役割

### 1. Prime Minister Constructive (7 minutes)

- (1) 論題を確認し曖昧な語を定義して、何をこのラウンドで政府側が立証するか説明します。
- (2) 論題を肯定する大まかな理由を示します(英文エッセイでの thesis statement の提示)。
- (3) ラウンドで自分とメンバーとそれぞれ何を説明するか、アウトラインを示します。
- (4) 政府側の根拠を、複数の議論(argument)に分けて説明していきます。

### 2. Leader of the Opposition Constructive (7 minutes)

- (1) PM の出した定義を確認、必要があれば再定義して野党側が何を否定するのか説明します。
- (2) いかなる理由から論題を否定するか、大まかな理由 (team line) を説明します。
- (3) ラウンドで、自分とメンバーが何を説明するか、アウトラインを示します。
- (4) 政府側の出した議論(argument)に対して反論(refute)します。
- (5) 野党側の根拠を、複数の議論に分けて説明していきます。

### 3. Member of the Government Constructive (7 minutes)

- (1) 野党側との立場の違いを、大まかに説明します。
- (2) 野党側の議論に対して、反論(refute)を行います。
- (3) 政府側の新しい議論を導入します。
- (4) 野党側による反論に対して、自分たちの論点を立て直します(reconstruct)。

### 4. Member of the Opposition Constructive (7 minutes)

- (1) 政府側との立場の違いを説明します。
- (2) 政府側の議論に対して、反論を行います。
- (3) 否定側の新しい議論を、導入します。
- (4) 肯定側による反論に対して、自分たちの論点を立て直します。

### 5. Leader of the Opposition Reply (4 minutes)

- (1) ラウンドを、幾つかの争点に絞って総括し、いかに否定側の議論が肯定側に対して優れていたか説明します。

### 6. Prime Minister Reply (4 minutes)

- (1) Member of the Opposition が導入した新しい議論に対して、反論を行います。
- (2) ラウンドを、幾つかの争点に絞って総括し、いかに政府側の議論が否定側に対して優れていたか説明します。

Reply Speech では新しい議論も、反論も行ってはいけません。すでに話した材料を踏まえて、どうして自分たちのチームが勝ったのかいくつかの争点に絞って説明します。ただし肯定側の Prime Minister Reply では、Member of the Government が出した新しい議論に対しては、反論を加えることが許されています。

\* 元々のノースアメリカンスタイルでは、Prime Minister Reply では、Leader of the Opposition Reply と異なり、相手チームの新しい議論への反論をする必要があるため、1 分間余計にスピーチ時間が与えられています (つまり、Prime Minister Reply は 5 分間スピーチです)。しかしながら、日本のノースアメリカンスタイルではこの追加の 1 分間ではなく、4 分スピーチになっています。

## 2. 「HPDU 新緑杯」と「PDA 全国大会・世界交流大会」の形式

### HPDU 新緑杯の形式

新高 1 と上級生がチームを組み、他校の生徒と試合を通して交流する機会を提供する、という趣旨で開催されている新緑杯では、ノースアメリカンスタイルに変更を加えた形式が使われています。主に以下の点で異なっています：

- ・3人1チームで、Reply Speech を専門にする人がいる。
- ・スピーカーの個人点を出すにあたって、細かいチェック項目がある（ディベーターにスピーチの基本的な型を学んでもらうため、またジャッジにより客観的にディベーター個人を採点してもらうため）。
- ・Constructive Speech のスピーチ時間は、5分～7分の間に終わればよい。

### PDA 全国大会・世界交流大会

高校の授業 1 コマで完結するように、スピーチ時間やスピーチ形式においてノースアメリカンスタイルの大幅な単純化が行われています。細部のきまりについて、ノースアメリカンスタイルの理解を前提していますが、大きな違いは以下の 3 点です：

- ・Constructive Speech は 3 分、Reply Speech は 2 分、準備時間は 15 分か 20 分
- ・大会では、試合を行うにあたり 1 つの部屋で複数の試合が同時に進行することがあり得る（ディベート形式とは少し異なる話ですが、他のあらゆるディベート大会と比べて、おそらくこの点が一番びっくりする点かもしれません。2017 年の大会では、1 つの会議室で、2 メートルほど間隔を開けて 10 試合ほどが同時進行しました）。
- ・Reply Speech でも POI が可能。
- ・（少し専門的になりますが）Reply Speech で新しい反論や効果的な具体例が出された場合、ジャッジが new material としてそれらを勝敗の考慮から除外すべきかどうか大会運営者から説明がなく、またルールに明文化されていない。

\*大会の募集要項や公式サイトに、スピーチ時間と大まかなスピーカー役割はあるものの、PDA の大会では明文化された大会ルールが一般に公開されていません）。大会の細部のルールについては、大会に参加してみないと分からない、というのが 2017 年での実情です。

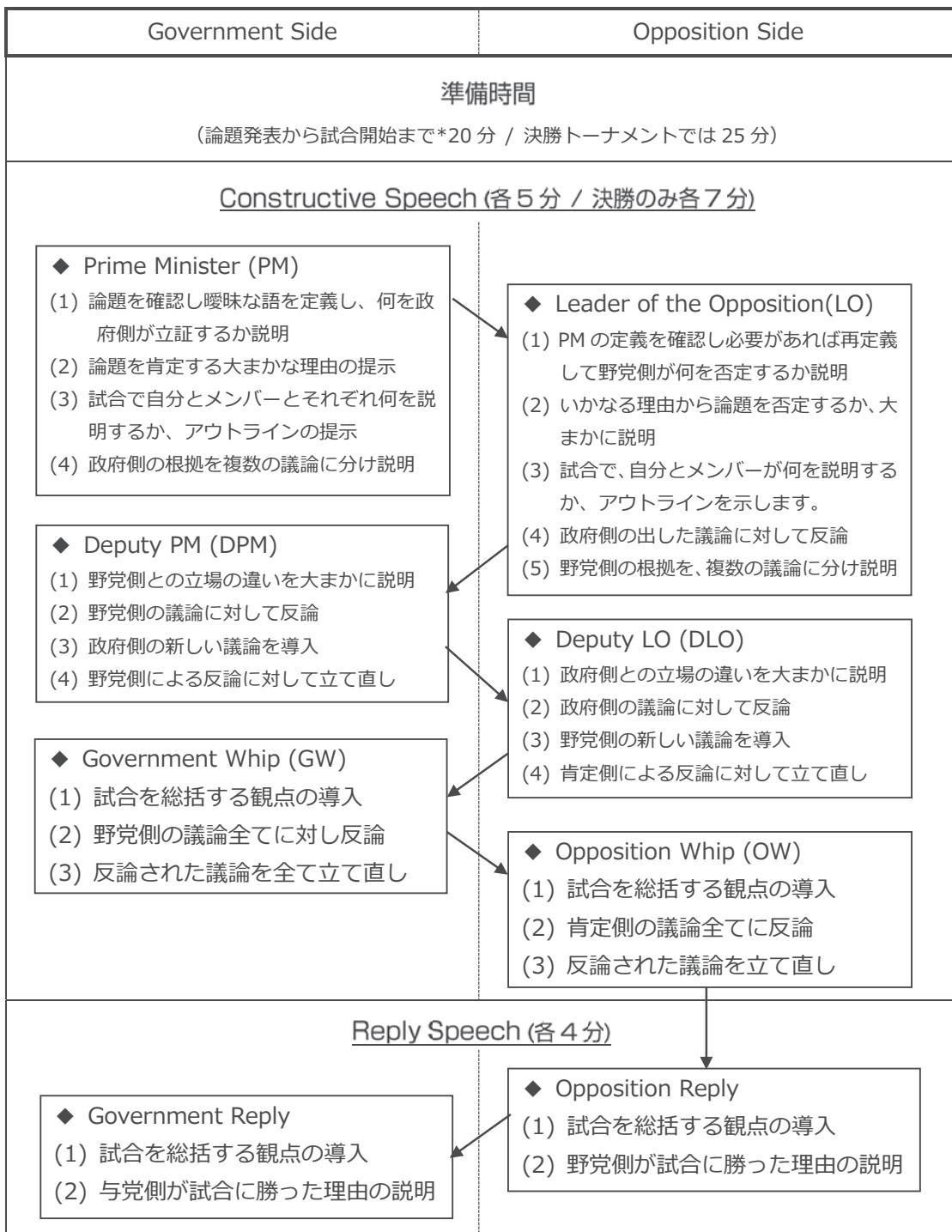
## 3. 「HPDU 連盟杯・全国大会」の形式

日本の即興英語ディベート界で、最も優れた高校生ディベーターを決める大会と見なされている「HPDU 連盟杯・全国大会」の試合形式は、次のページに示されています。ノースアメリカンスタイルと異なる点は、Whip Speech と呼ばれる、相手チームからの反論に応えることを専門とするスピーカーが加わっている点です。大会の要項などは「本大会の試合形式は、高校生世界大会（WSDC）の試合形式にアレンジを加えたもの」と説明されています。高校生世界大会との違いとしては、論題の発表の仕方（事前に発表される論題もある点）、試合において許容される定義に関する約束事（特定の地域に論題を定義をしないなど）、という 2 点が挙げられます。細部のきまりについては、大学生向けの大会で言う、「Asian Style」のそれを踏襲しています。

## ◆ HPDU 連盟杯・全国大会 試合形式

【話す順番と役割】

[参加人数] 6人 (1チーム3人 × 2チーム)



### 3. British Parliamentary Debate の形式

---

ここまで「パーラメンタリーディベート」と「即興英語ディベート」をほぼ同意で使ってきましたが、厳密にはパーラメンタリーディベートとは、大学生世界大会の形式のみを指す、という意見の人もいます。大学生世界大会で使われているディベート形式は、BP スタイル (British Parliamentary Style)と呼ばれます。

他のディベート形式と比べてユニークであるのは、BP スタイルでは、2 人から成る 4 チームによって一試合が争われます。肯定側と否定側を、さらに 2 チームに分けた形になります。各チームの名称、スピーカーの名称、スピーチの順番、それぞれの役割は次ページの図にまとめた通りです。以下に他の特徴を 6 点に絞って説明します。

#### ① スピーチの順番

スピーチの順番では、肯定側と否定側（正確には、政府側と野党側）が交互に話します。他のフォーマットと違い、最後のスピーチでも「否定側から肯定側」という順番にせず、「肯定側から否定側」のスピーチ順序で試合を終えます。

#### ② 準備時間・スピーチ時間

論題の発表から、試合開始まで 15 分間です。これには、論題が発表される場から試合の行われる建物までの移動時間を含みます（道に迷うと大変です）。それ故に、Opening Government は 15 分をどう使うか、特に練習が必要になります。

各スピーチ時間は 7 分です。各スピーチの最初と最後の 1 分以外で POI が出来ることは、他のフォーマットと変わりません。最後の、Whip Speech においても POI が可能です。もちろん、Opening Side のスピーカーであっても、Closing Side のスピーカーに POI できます。ただし、Government または Opposition のサイドが同じチームに対しては、POI できません。

#### ③ 勝敗の付け方

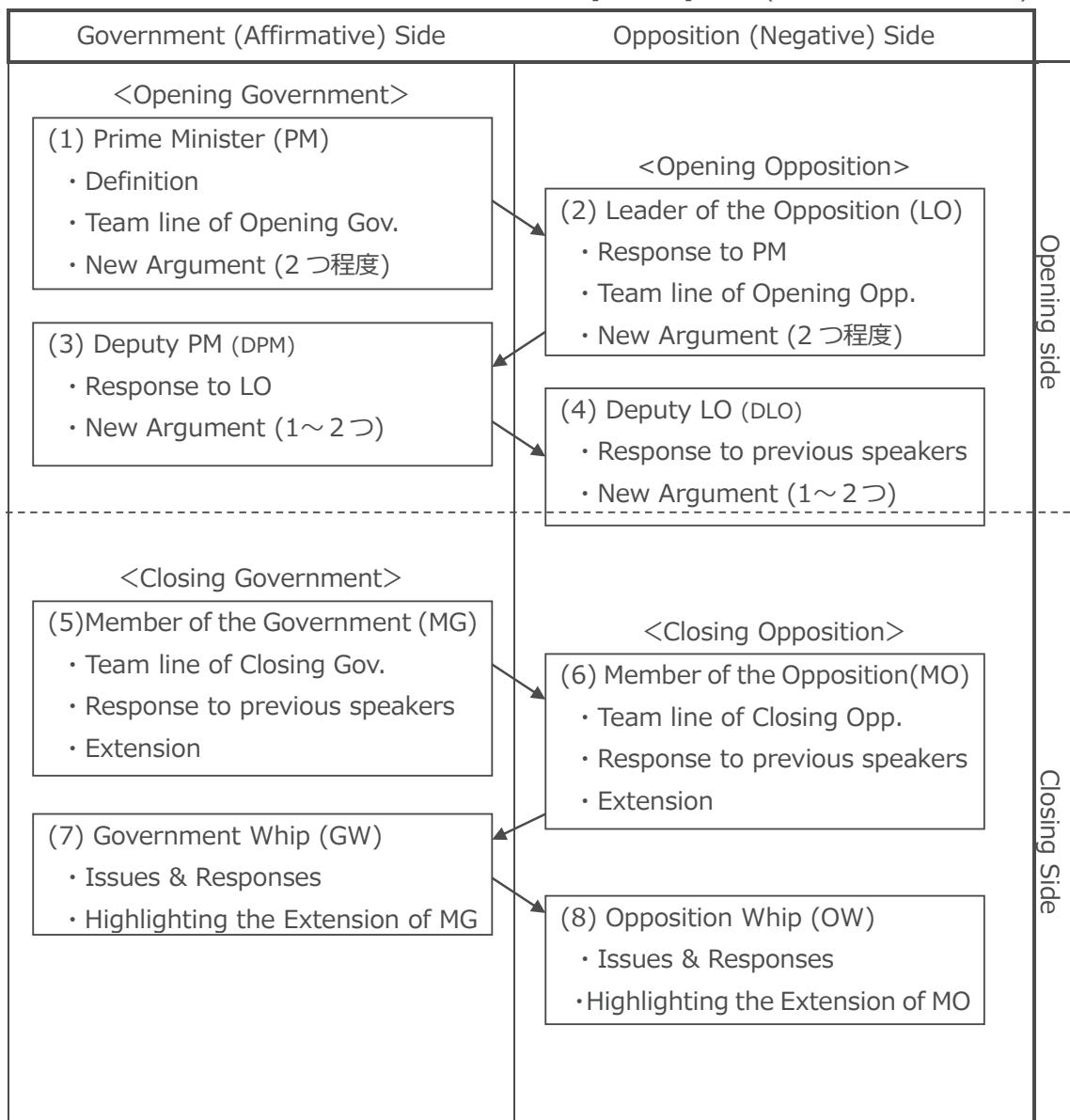
ジャッジは、試合を評価するにあたり、肯定側・否定側の勝敗ではなく、試合への貢献度に応じて各チームに 1 位から 4 位の順位を付けます。世界大会の予選では、1 位に 3 ポイント、2 位に 2 ポイント、3 位に 1 ポイントが与えられます（4 位のチームはポイントを貰えません）。大学生世界大会では予選 9 試合を通じて、総得点の高いチームから、決勝トーナメントに進出します。

#### ④ Opening 側と Closing 側の違い

このフォーマットを理解するには、実際の議会を想像すると分かり易くなります。連立内閣を組んでいる政府に対して、野党が共闘していると思って下さい。Opening チームの方が、Closing チームよりも勢力が大きい党であり、それゆえに先に話す機会が与えられていると考えてください。Closing チームは Opening チームと比べて勢力の小さい、それでも少数の意見を代弁する大切な政党であると考えてください。

## ◆ British Parliamentary Style

[参加人数] 8人 (1チーム2人 × 4チーム)



\*準備時間：論題発表から 15 分 各スピーチ時間： 7 分

具体例を出せば、ドイツにおける社会民主党と緑の党の関係を考えてみて下さい。1998年から2005年まで、両党は連立政権を組んでいました。60年代の学生運動にその起源を持つ緑の党の方が議会では少数勢力でしたが、代替エネルギーへの補助や原子力発電所の全廃など、産業界に支持基盤を持つ社会民主党には出来ない政策実現に尽力してきました。この様に、大多数には見逃されがちな、それでも重要な意見を出すことが、Closing チームには期待されています。

## ⑤ 「Extension を出す」という Closing チームの役割

Closing 側は前述の通り、少数の意見の代弁者として、Opening 側が触れなかった新しい内容を加える必要があります。この役割は Closing チームの 1 人目のスピーカーが担い、それまでのスピーカーが述べなかつた、新しい内容を付け加えることを、「Extension を加える・出す」と言います。

“Our extension is ~” という様に、何が Extension なのかはっきりと述べることが望まれています。Extension は、新しい議論でも、論題の背後にある大切な原理・原則の分析でも構いません。賛成側、否定側どちらの方が優れていたか判断する上で重要な内容である限り、何を Extension として聴衆に示しても構いません。Closing のチームを評価するにあたっては、そのチームが出した Extension がいかにその試合の中で重要であったかが最も大切な観点になります。Whip Speaker は、試合を整理する中で、いかに自分のパートナーの出した Extension が試合内容の発展に貢献したか説明します。

## ⑥ POI の重要性

極端なことを言えば、POI はこの BP style のためにこそ存在します。例えば仮に、PM として試合に参加するとして、POI がなければ残りの 49 分間、7 人のスピーチをただ聞くだけの存在になってしまいます。POI があるからこそ、4 つのチームが試合全体に関わることが出来ます。

逆に言えば、この BP style でこそ機能する POI を、各スピーチ時間を 2~3 分程度に短縮したノースアメリカンスタイルの試合に盛り込もうとすると、本来の POI の役割が薄れ、ただ単に相手のスピーチの邪魔をするだけの存在になってしまいます。

以上で、パーラメンタリーディベートについて知るべき最低限の知識の説明は終わりです。次のレッスンでは、まず基礎を学ぶためにノースアメリカンスタイルを簡単にした形式で試合をしてみましょう。



# Lesson 11.

## 授業・部活で行う Short Parliamentary Debate



### Contents:

- Section 1. フォーマットの説明
- Section 2. 試合中の流れ
- Section 3. ジャッジの注意事項
- Section 4. Short Debate を利用した練習方法
- Section 5. Short Debate の先の練習

## SECTION 1. フォーマットの説明

このレッスンでは、実際に即興英語ディベートの試合を行います。以下で用いるフォーマットは、ノースアメリカンスタイルを元に、スピーチ時間を短縮した形式です。渋谷教育学園渋谷中学高等学校の北原先生が高校の授業用に考案されたものを、ここでは許可を頂き部活動でも使いやすいようにアレンジを加えて紹介します。

### ① 【試合開始前の準備】

- ・試合は、3人×2チームで対戦します。ジャッジ兼進行役として、1名以上が加わります。
- ・授業で行う場合も部活で行う場合も、共に理想は1試合で1教室ですが、ある程度間隔を空けて1つの部屋・教室で複数の試合を同時進行させても構いません。
- ・ジャンケンをして、勝ったチームが Government side(肯定側)、負けたチームが Opposition side(否定側)となります。
- ・各チームは、準備用のシート（Preparation Form）を受け取ります。Government side(肯定側)用と Opposition side(否定側)用で異なります。

チーム内で話し合って、役割を決めます。それぞれ、以下のように3つの役割があります。

[Government side] 1人目のスピーカー: Prime Minister

2人目のスピーカー: Member of the Government

3人目のスピーカー: Reply Speaker

[Opposition side] 1人目のスピーカー: Leader of the Opposition,

2人目のスピーカー: Member of the Opposition

3人目のスピーカー: Reply Speaker

\*初心者同士で試合をする場合、Reply Speech は省略しても良いでしょう。実際の試合でお手本を複数回見ないと、Reply Speech をすることは初心者には難しいです。

### ② 【準備時間】

論題(motion)を発表します。準備時間は10分間でArgument(理由)を2つ考えます。この間、ジャッジは授業であれば先生と、そして部活であれば先輩か顧問の先生と勝敗の決め方などについて、打ち合わせをします。

### ③ 【試合開始】

時間が来たら、ジャッジがお誕生日席になるように肯定側と否定側が向き合った形で机を並べ、試合開始です。ジャッジ役の人がタイムキーパーも兼ねます。

\* [授業で行う場合]、先生の指示に従って Debate をスタートします。各人の役割とスピーチの流れは以下の通りで、全て先生の合図で進めていきます。

**授業・部活で行う Short Debate 試合形式**

**【話す順番と役割】**

[参加人数] 6人 (1チーム3人 × 2チーム)

Government Side

Opposition Side

**準備時間**

(論題発表から試合開始まで 10分)

**Constructive Speech (各3分)**

◆ Prime Minister (PM)

- (1) 論題を確認し曖昧な語を定義し、何を政府側が立証するか説明
- (2) 試合で自分とメンバーが説明する2つの議論のサインポストの提示
- (3) 政府側の1つ目の議論を説明

◆ Leader of the Opposition(LO)

- (1) PMの定義を確認し必要があれば再定義して野党側が何を否定するか説明
- (2) 試合で、自分とメンバーが何を説明する2つの議論のサインポストの提示。
- (3) 政府側の出した議論に対して反論
- (4) 野党側の1つ目の議論を説明

◆ Deputy PM (DPM)

- (1) 野党側の議論に対して反論
- (2) 野党側による反論に対して立て直し
- (3) 政府側の2つ目の議論を導入

◆ Deputy LO (DLO)

- (1) 政府側の1つ目の議論に対して再反論
- (2) 政府側の2つ目の議論に対して反論
- (3) 政府側による反論に対して立て直し
- (4) 野党側の2つ目の議論に対して反論

**Reply Speech (各3分)**

◆ Government Reply

- (1) 野党側の2つ目の議論に反論
- (2) 試合を総括する観点の導入
- (3) 政府側が試合に勝った理由の説明

◆ Opposition Reply

- (1) 試合を総括する観点の導入
- (2) 野党側が試合に勝った理由の説明

**【Point of information(POI)について】**

POIとは、相手側の第1、第2 speaker のスピーチ中の開始後1分から2分30秒の間、自分たちのsideに有利になるような質問を積極的にすることです。質問をする際はその場に立ち、手を上げて“Point!”、あるいは“Point of information!”、または単純にspeakerが男性なら“Sir!”、女性なら“Madam!”と言います。

Speakerに“Yes, please.”と言われたら15秒以内で質問をします。Speakerは全てのPOIをとる必要はありませんが、少なくとも1つは受けなければなりませんとします。断る時は“No thank you.”と言います。

話の区切りで受けようというのであれば、“Later please.”と言って待たせておき、“Go ahead.”とか“Please.”と言って質問を受けます。

## SECTION 2. 試合中の流れ

準備時間が終われば、以下の通りで試合を進めていきます。スピーチとスピーチの間には、基本的には準備時間はありませんが、必要であれば 1 分ほどいれても構いません（ただし、どのパラメータリーディベートの大会でも、スピーチ間に準備時間はありません）。

### 1. Prime Minister [3分間]

- (1) 挨拶と論題の確認
- (2) Definition 論題であいまいな語があれば定義して、Government 側がその試合で証明する plan あるいは case statement を示す。（\*注 試合を混乱させないように、あらかじめ定義をしている場合もあります）
- (3) First argument 最初に肯定側の第 1 の主張を名詞でわかりやすく表現し、その後文章で説明する。論理だけでなく、説得力のある例を挙げること。

### 2. Leader of Opposition [3分間]

- (1) 挨拶
- (2) Refutation 肯定側が出した First argument に対し反論する。
- (3) First argument 最初に否定側の第 1 の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

### 3. Member of Government [3分間]

- (1) 挨拶
- (2) Refutation 否定側が出した First argument に対し反論する。
- (3) Reconstruction 自分たちの First argument に対する否定側からの反論に対しさらに反論する。
- (4) Second argument 第 2 の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

### 4. Member of Opposition [3分間]

- (1) 挨拶
- (2) Refutation ① 肯定側の First argument に対する Reconstruction を崩すよう再反論する。
- (3) Refutation ② 肯定側の Second argument に対して反論する。
- (4) Reconstruction 自分たちの First argument に対する肯定側からの反論に対し、さらに反論。
- (5) Second argument 第 2 の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

<注意： Reply Speech では、Opposition Side が先に話します>

## 5. Opposition Side Reply speaker [3分間]

- (1) 挨拶
- (2) Summary いくつかの争点 (clash point) に絞って総括し、いかに否定側が肯定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出了した自分たちの 2つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。 \*注) 大会によっては、Reply Speech では新しい例も出してはいけないことになっている場合もあります。

## 6. Government Side Reply speaker [3分間]

- (1) 挨拶
- (2) Summary いくつかの争点 (clash point) に絞って総括し、いかに肯定側が否定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出了した自分たちの 2つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。

## 7. 試合後のまとめ・ジャッジの講評

- (1) ジャッジが勝利したチームを言います。
- (2) ジャッジが、ディベーターに対して勝敗の判断理由を丁寧に説明します。
- (3) 授業の場合、ジャッジはジャッジシートを先生に提出する。

## ◆ 注意

- ① 各 speaker は別紙のフォーマットに従って発表して下さい。見ながらやってもかまいません。
- ② 学習していない単語や忘れてしまった単語については簡単な単語を使い、似たような意味を持つ英文を作つていけば自分の言いたいことを伝えることができます。  
例) He is respected by many people. (尊敬されている)  
→ Many people think he is great, and like him.
- ③ 学習していない単語や度忘れてしまった単語で、どうしても簡単な表現に直せない場合は、その日本語を英語のように発音すれば使ってかまいません。ただし、その際も英語の文型にそれを当てはめる形で行うこと。 例) There is a beautiful *kabin* on the desk.
- ④ 「形容詞のみ」「好き嫌い」「助動詞が入った文」は論理的な理由になりません。  
例) We should have a dog as a pet because it is very cute. ←×  
Cats are better than dogs because I like them. ←×
- ⑤ 一度の発言に理由は一つのみ。2つも3つも言わないこと。
- ⑥ スピーチ中は、見て良いのは Preparation Form のみとします。

## ■ PM (Prime Minister) preparation form (肯定側・1人目)

[3分スピーチ / POIあり]

**挨拶** Good [morning/afternoon] everyone in this house. (\*左のhouseとは「議会」のことを差します)

**論題** Today, we are given the motion that : (↓論題を書き写しておき、スピーチで読み上げる)

We, the government side strongly support this motion.

【以下は定義が必要な場合だけ】

Let me define the motion.

[

]

**導入** We have two arguments. (↓これから説明する議論を、見出しとして名詞句にまとめる)

Our first argument is [ ] .

Our second argument is [ ] . ←2つ目はMGが説明します。

**議論** So, let me explain our first argument.

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

**挨拶** So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

## ■ LO (Leader of the Opposition) preparation form (否定側・1人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

論題

We, the opposition side strongly believes that : (↓論題を否定文にした文を読み上げる)

反論

Let me refute what the previous speaker has said.

First, [ he / she ] said : [肯定側の1つめ目の議論を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

導入

Now, we have two arguments. (↓これから説明する議論を、見出しとして名詞句にまとめる)

Our first argument is [ ].

Our second argument is [ ]. ←2つ目はMOが説明します。

議論

So, let me explain our first argument.

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶

So for all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

## ■ MG (Member of the Government) preparation form (肯定側・2人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

反論

First, let me refute what the previous speaker has said.

First, [ he / she ] said : [否定側の1つ目の議論を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

立て直し

Now, let me reconstruct my partner's argument.

The previous speaker said : [否定側に反論された内容を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論への反論]

Therefore, our first argument still stands.

議論

Next, let me explain our second argument.

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つの議論全体を1文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶

So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

## ■ MO (Member of the Opposition) preparation form (否定側・2人目)

[3分スピーチ / POIあり]

### 挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

### 反論

①

First, let me refute their first argument.



[ he / she ] said : [肯定側の1つ目の議論を、MGが立て直したことも踏まえ要約する。]



However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

### 反論

②

Next, let me refute their second argument.



[ He / She ] said : [肯定側の2つ目の議論を要約する。]



However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

### 立て直し

Now, let me reconstruct my partner's argument.



The previous speaker said : [肯定側に反論された内容を要約する]



However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論への反論]

Therefore, our first argument still stands.

### 議論

Next, let me explain our second argument.



Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]



Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]



I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

### 挨拶

For all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

## ■ Reply Speaker(Opposition) preparation form (否定側・3人目)

[3分スピーチ / POIなし]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

導入

In order to summarize this round, we need to ask two questions.

First question is : [試合をまとめる上で大切なと思う問い合わせを疑問文の形で示す]

Second question is: [試合をまとめる上で大切なと思う問い合わせを疑問文の形で示す]

So, let me explain one by one.

争点

①

Now, let's think about the first question: [1つ目の問い合わせを繰り返して確認]

What the government side said about this is : [問い合わせに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問い合わせに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue.

争点

②

Now, let's think about the second question: [2つ目の問い合わせを繰り返して確認]

What the government side said about this is : [問い合わせに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問い合わせに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue, too.

挨拶

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

## ■ Reply Speaker(Government) preparation form (肯定側・3人目)

[3分スピーチ / POIなし]

### 挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

### 反論

②

First, let me refute their second argument.

[ He / She ] said : [MO が出した否定側の2つ目の議論を要約する。]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

Therefore, their argument does not stand.

### 導入

Next, let me summarize today's round. This round comes down to two issues.

First issue is : [試合をまとめる上で大切だと思う争点を疑問文の形で示す]

Second question is: [試合をまとめる上で大切だと思う問い合わせを疑問文の形で示す]

So, let me explain one by one.

### 争点

①

Now, let's think about the first issue: [1つの問い合わせを繰り返して確認]

[ What the opposition side said about this is : [問い合わせに関して肯定側が言ったことの要約] ]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

[ On the other hand, we have proved to you that : [問い合わせに関して否定側が言ったことの要約] ]

Therefore, our side is superior on this issue.

### 争点

②

Now, let's think about the second issue: [1つの問い合わせを繰り返して確認]

[ What the opposition side said about this is : [問い合わせに関して肯定側が言ったことの要約] ]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

[ On the other hand, we have proved to you that : [問い合わせに関して否定側が言ったことの要約] ]

Therefore, our side is superior on this issue, too.

### 挨拶

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

### SECTION 3. ジャッジの注意事項

ジャッジの役割は、1) 勝敗を決めること、2) ベストディベーターを1名選ぶこと、3) そして勝敗の説明をすることです(大会でのジャッジは、ベストディベーターを決める代わりに各ディベーターに個人得点を与えます)。チアパーソンがいなければ、試合の進行役も兼ねます(授業で行う場合、進行役は先生が担当します)

#### 【勝敗の決め方・フィードバックの仕方】

- 最終的に勝敗を決めるポイントは、「どちらの意見の方がより論理的で説得力があったか」ということです。英語スピーチ力が高いと話に説得力が増すことは確かですが、あくまでも論理を大切にし、決して英語の発音や流暢さを勝敗の理由にしてはいけません。
- スピーカーが出した意見のうち反駁していないものがあっても、いろいろ出された意見の中でこれが圧倒的に強いと思うものがあれば、それ出したチームを勝ちにします。
- 両者とも論理的に本当に強弱がつけがたいという場合は、より多くの適切な具体例を出した方を勝ちにすると良いでしょう。
- ベストスピーカーは一番説得力のあったスピーチを行なったと思う人を選びます。①定義づけや反駁、建て直し等それぞれの役割を果たしていたか、②POI を積極的に行なっていたか、③論理性は高かったか、④Quote や具体例を効果的に使っていたかで決めて下さい。それでも甲乙がつけられない時はスピーチ力 (=アイコンタクト、話し方などスピーチコンテストで評価されるような力) を考慮に入れて決定してください。
- 勝敗を決めた理由を、できるだけわかりやすく伝えて下さい。可能であれば英語で、難しければ日本語で説明して下さい。その後、各スピーカーに対してアドバイスをして下さい。その際、良かった点と改善したほうが良い点、その両方を必ず言って下さい(1つの改善点を言う前に、2つの良かった点を言うようにして下さい)。

#### 【スピーカーへのアドバイスのポイント】

- presentation の仕方 : 英語の聞き取り易さ、速さ、強弱、ジャッジへのアイコンタクト
- procedure に沿っていたか : 順番通りに議論を進め、役割をしっかりと果たしていたか
- contents の質 : 論理的に主張を展開できたか、example の量とその効果
- time management : 3分間に有効に使うことができたか、反論に時間がとられ主張の時間がなくなったりはしなかったか
- POI、POI に対する受け答え : 各人、1つ以上行なったか、効果的だったか

**Judge Sheet**

Judge: \_\_\_\_\_

date: \_\_\_ / \_\_\_ / \_\_\_

Motion:

Gov:      PM  
             MG  
             RPOpp      LO  
             MO  
             RP

PM [POI ○ ]	LO [POI ○ ]
MG [POI ○ ]	MO [POI ○ ]
GR [POI ○ ]	OR [POI ○ ]

Winner: Gov or Opp

Best Speaker: \_\_\_\_\_

## SECTION 4. SHORT DEBATE を利用した他の練習方法

ノースアメリカンスタイルを簡単にした Short Debate と言っても、初心者だけが集まって試合をするのは少し難しいかもしれません。そのような時には、例えば以下の方法を用いて、少しずつ段階的に練習してみて下さい。

### ■ 練習方法① 「PM スピーチ + POI 練習」

2人で1つのチームを組み、2チームで試合をします。試合では、PM スピーチの発表と、POI のみを扱います。PM スピーチは1分半とします（3分話すのもまだ少し難しい初心者向けの活動です）。

- ① 試合に参加する4人に、PM スピーチ用のシートを渡します。
- ② 司会またはジャッジ役の人が、トピックを渡します。トピックは以下のようなものです：
  - You should eat <任意の食べ物> everyday.
  - You should drink <任意の飲み物> everyday.
  - You should keep <任意の動物> as a pet.
  - You should learn <任意の外国語>.
  - You should visit <任意の観光地>.
  - You should practice <任意のスポーツ>.
- ③ 相手チームのPM スピーチ用シートに、互いに渡されたトピックを書き込みます。さらには、<任意の～>の部分を具体的に書き入れます(つまり相手チームのトピックを決めます)。
- ④ 準備時間3分で、それぞれPM スピーチを用意します。
- ⑤ 準備時間が終わったら、チームの代表がジャンケンをします。勝った方が先攻です。
- ⑥ 以下の通りでスピーチをします。
  - 1) 先攻チーム1人目
  - 2) 後攻チーム1人目
  - 3) 先攻チーム2人目
  - 4) 後攻チーム2人目
- ⑦ 相手チームのスピーチ中は、いつでもPOIをして構いません。
- ⑧ 4人のスピーチが終わったら、以下の基準に従ってジャッジが勝利チームを決めます。
  - 最も効果的なPOIをしたのはどちらのチームの人か。
  - POIの質に大差なかった場合、どちらのチームの方がPOIに立った数が多かったか。

### ■ 練習方法② 「PM スピーチ + POI 練習 + 反論」

上の練習方法に加え、スピーチ時間を30秒増やし、前のスピーカーの立論に反論をさせます。最後に5番目のスピーチとして、30秒で先攻チーム1人目が後攻チーム2人目のスピーチに反論します。ジャッジは、反論が一番うまかった人のいるチームを勝ちにします。

## SECTION 5. SHORT DEBATE の先の練習

数ヶ月、数年にわたるパーラメンタリーディベートの練習は、以下のような流れを取ります。

- 1) 形式に慣れる： 先輩の試合を見る。先輩と組んで試合をする（Reply をやってもらう）
- 2) 古典的な論題で練習する： 練習の初めは「制服の廃止」のような身近な事柄を扱った論題を使い、徐々に「投票の義務化」「fat tax の導入」といった古典的な論題で練習します。
- 3) スピーチ時間を伸ばしていく： 3 分のスピーチから、5 分間スピーチへと時間を伸ばしていきます。具体例の丁寧な説明の仕方を学ぶと、5 分スピーチが出来るようになります。
- 4) 大会に出場する： ディベートが楽しくなってきたら、大会に出場してみましょう。負けて悔しい思いをすることも、上達への大切な過程です。
- 5) 海外のディベーターの試合を youtube などで見る、特定の論題について掘り下げて調べてみる： 最低限の試合が出来るようになれば、次の上達は論題について知識を持つことで達成出来ます。先輩に論題の解説をしてもらっても良いですし、海外のディベーターがどうある論題で試合をしているのかを見て、真似てみるのも良いでしょう。

上達するためには、出られる大会には全部参加してみることを特におすすめします。調査型の英語ディベートの大会は、出場するため必要なコスト（調査のための時間、スピーチの推敲、読み込みなど）が大きく、誰でも気軽に参加できるわけではありません。数ヶ月準備をして、他校の選手と試合をするのは1～2回だけ、ということもあります。

その一方で即興型は、中級者以上になるには、70～100 個程度の古典的な論題について知識を持つ必要もあり相応の練習が必要ですが、初心者の人にとって大会への参加の敷居が低いとも言えます（特に初心者向けの論題を出してくれる大会では）。他校の人と練習試合の機会を設けることも、調査型に比べて容易です。

パーラメンタリーディベートの魅力の1つは、国際大会が多く開催されていることです。大学生向けには、北東アジア大会、アジア大会、オーストラリア・アジア大会、世界大会など多くの国際大会が開催されており、他の学生と試合を通して交流する機会が多くあります。

高校生世界大会に出場するにはいろいろハードルが高いのが実情ですが、ぜひ大学生になってもパーラメンタリーディベートを続けて、世界中の人と英語ディベートでつながりを持ってみて下さい。

パーラメンタリーディベートについてより知りたい方は、この「初めての英語ディベート」シリーズの、Book 2(初級以上・中級未満の内容です)と Book 4(パーラメンタリーディベートの授業・部活用の小冊子です)を手に取ってみて下さい(HPDU の公式サイトに PDF があります)。

一人でもできるディベートの練習方法として、国際大会の試合の動画を見るをおすすめします。国際大会の試合の動画は、インターネット上で多く見つけることができます。

### 【検索方法】

ディベートの大会では、予選、OF (Oct Final)、QF (Quarter Final)、SF (Semi Final)、GF(Grand Final : 決勝)のように試合が行われます。大抵の音源は、大会名・年（例：WUDC 2009）あるいは大会名・年・試合（例：WUDC 2009 GF）のように検索すれば、YouTube 等の動画サイトで見つけることができます。

### 【使用方法】

音源の使い方は人それぞれですが、ただ聞き流すだけでは意味がありません。表現を真似してみたり、なぜその議論をしているのかを考えてみたりするとよいでしょう。そのため複数の音源に手を出すのではなく、自分が気に入ったものを繰り返し聴くことをお勧めします。

### 【特におすすめの試合】

- WUDC2009 GF (THBT ban abortion at all stages of pregnancy)  
<https://www.youtube.com/watch?v=VMQTtUU4LbI>
- WUDC2010 GF (THBT the media should show the full horror of war)  
[https://www.youtube.com/watch?time\\_continue=2&v=O1nG3CUo6vk](https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=O1nG3CUo6vk)
- WUDC2012 GF (TH supports nationalism)  
<https://www.youtube.com/watch?v=adPe9h5w6Kk>
- WUDC2016 GF (THBT the world's poor would be justified in pursuing complete Marxist revolution.) <https://www.youtube.com/watch?v=tngaDNSICpU>
- EUDC2009 GF (THW ban Nazi and Soviet symbols)  
<https://www.youtube.com/watch?v=ExaP0ZBYA3s>
- EUDC2011 GF (THBT the state should pay reparations to women)  
<https://www.youtube.com/watch?v=DNiwqi0qnDU>
- WSDC2010 GF (THBT Governments should never bail out big companies)  
<https://www.youtube.com/watch?v=3ZvhB9BozTs>

\*このページの内容は、豊島岡女子学園中学高等学校の卒業生で、東京大学英語ディベート部の部員の堀口志穂さんにまとめて頂きました。



# Lesson 12.

## Policy Debate (1)

### Affirmative

### Constructive Speech



Contents:

- Section 1. 練習用の試合のルール
- Section 2. Advantage の構成
- Section 3. 肯定側立論例（日本語）
- Section 4. 肯定側立論例（英語）
- Section 5. Advantage を作る

## SECTION 1. 練習用の試合のルール (POLICY DEBATE)

このレッスンからは、Policy Debate と呼ばれる形式でディベートの試合をします。前のレッスンで練習した、イギリス議会での答弁の訓練に始まった形式とは以下の点で異なります：

- ・リサーチを通じて証拠を用意することが期待される（裁判の訓練と思って下さい）。
- ・準備時間が長く、大会によっては試合を行う半年以上前に論題が発表される。
- ・Point of Information の代わりに、Cross-examination（反対尋問）の時間がある。
- ・扱う論題は、主に「～は…するべきだ」という政策(Policy)導入の是非を問う。

これを踏まえて、本 Lesson11 から Lesson14 まで、以下のフォーマットで練習をします(他の Policy Debate の形式と異なり、Summary Speech は省略してあります)：

**【練習試合形式・4人制】**

Affirmative Side(肯定側)	Negative Side(否定側)	Time
(1) Constructive Speech (Advantage を 2つ提示、1人が1つ)		3分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
	(2) Cross-examination (肯定側に質疑応答)	1分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
(3) Constructive Speech (Disadvantage を 2つ提示、1人1つ)		3分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
(4) Cross-examination (否定側に質疑応答)		1分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
	(5) Attack Speech (肯定側の Advantage に反論)	2分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
(6) Attack Speech (否定側の Disadvantage に反論)		2分
1 minute preparation (1分間の準備時間)		
(7) Defense Speech (否定側の反論に対して立て直し)		2分
(8) Defense Speech (肯定側の反論に対して立て直し)		
合計 20分		

## 1. スピーカーの役割

各チームは4人で1組になり、以下のスピーチをそれぞれ担当します：

- Constructive Speech 前半（議論を1つ提示）
- Constructive Speech 後半（議論を1つ提示）
  - ⇒ 2名ともCross-examinationにて、相手チームから質問を受ける。
- Attack Speech と Cross-examination で相手チームに質問をする
- Defense Speech

各スピーチでは、スピーカーは以下の役割を果たすことが期待されます：

### 【Constructive Speech（立論スピーチ）】

- 肯定側は、政策を採用することでどの様な良いことが起こるのか、その Advantage を1人1つ、合計2つ提示します。
- 否定側であれば、政策を導入すれば逆にどの様な悪いことが起こるのか、その Disadvantage を1人1つ、合計2つ出して下さい。
- 議論の説明では、可能な限り証拠を用いて下さい。

### 【Cross-examination（反対尋問）】

- 相手チームのスピーチで分からなかった点を質問します。
- 相手チームが出した Advantage または Disadvantage について、主張の根拠となる証拠は何であるか確認します。
- 相手チームの出した証拠の質を見極めるために、質問を行います。

### 【Attack Speech(反論スピーチ)】

- 相手チームが Constructive Speech で出した Advantage あるいは Disadvantage に対して反論します。
- 反論においても、可能な限り証拠を用いて下さい。

### 【Defense Speech(立て直しスピーチ)】

- 相手チームが自分たちの Advantage あるいは Disadvantage に対して行った反論に対して、立て直し(reconstruction)を行って下さい。
- 可能な限り証拠を用いて下さい。

## 2. その他のルール

他に、以下のルールを踏まえて下さい：

- 1) 論題は、定義の必要がなく具体的で、「～をすべきだ」というある政策の是非に関わる物を選んで下さい。また、論題が何を意味するのかについて、お互いのチームに食い違いがないように、論題を発表した後で細部を確認して下さい（論題を選んだ人が、その意図を解説するのが良いでしょう）。

【例】

- × Corporal punishment is justifiable. (体罰は正当化され得る)  
⇒ 「～するべきだ」という政策に関する論題ではないので不適。
- All teachers who have physically punished students should be arrested by police. (体罰を加えた全ての教員は警察に逮捕されるべきだ)  
⇒ 何をどうするべきか具体的に述べているので適当。ただし、全ての教員とあるが、(日本の) どの種類の学校での話とするのか、確認が必要です。

- 2) スピーカーは、与えられた時間より早くスピーチを終えても構いませんが、その場合でも指定されたスピーチ時間が経過するまで次のスピーカーに移らず待っていて下さい。
- 3) Cross-examination では、質問をする人と受ける人がそれぞれ一名ずつ決まっていますが、チームの残りの人はその代表者にメモなり、小声なりで助言をして構いません。
- 4) 試合が始まってから何度かある準備時間中では、相手が用意した証拠資料を見せてもらうことが出来ます。

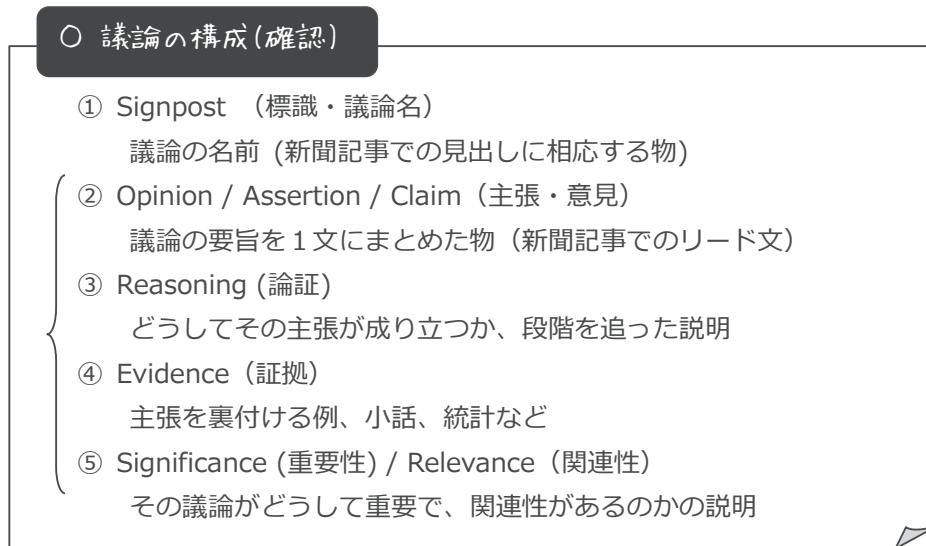
## 3. 練習課題：スピーチの順序に慣れる（即興の英語スピーチに十分慣れている場合のみ）

下に挙げたような、リサーチをしなくとも話せる論題を選び、準備時間 15 分程度でこのフォーマットを使い複数回練習して下さい。皆が常識的に知っている情報を証拠として使って下さい（そして、その証拠について Cross-examination で問い合わせて下さい）。

- 1) We should have a convenience store in our school.  
(私たちの学校にはコンビニを入れるべきだ)
- 2) Our school should introduce air conditioners in all classrooms and abolish the summer vacation. (全ての教室にエアコンを入れて、夏休みを廃止しよう)

## SECTION 2. A D V A N T A G E の構成

Lesson 4 では、議論の構造として以下のものを説明しました：



この構成要素は、最も基本的で様々な論題に応用出来るのですが、準備をする時間があり、より緻密な議論を作ろうとする際には逆に単純すぎて、使い難いかもしれません。それで、以下ではこの構造をより細分化して、議論を作る練習をします。

### 1. Advantage(AD)の構成

これまでに何度も、「ある政策を取るべきだ」ということを説得するためには、以下の構成で話せばより伝わりやすくなると説明しました：

- (1) 現状でどの様な問題があるかの説明  
“Under the current situation, ~ .”
- (2) その政策を取ったら何が起こるのかの説明  
“Then, after the plan adoption, ~ .”
- (3) どうしてこの問題を解決するのが大切な説明  
“ This point is important because ~ .”

これら 3 点は、議論に関する学問の流れの中で、概念的に洗練され、それぞれ特別の用語が与えられています。以下で、少し詳しく説明します。

## ○ Advantage(AD)の詳細な構成

① Inherency(Present situation): (現状の問題の分析)

- 1) 現状では問題が存在する
- 2) 政策が導入されないとこの問題は解決されない (補足的内容)

② Significance(Impact, Seriousness): 問題の重要性・深刻性

- 1) それは量的にどれだけ重要な問題か
- 2) それは質的にどれだけ重要な問題か

③ Solvency(Effect): 問題がどう政策によって解決されるのか (発生過程)

- 1) 政策は実行できるのか(feasibility)
- 2) 政策が実行できたとして、問題を解決できるのか(workability)

\* それぞれの要素の名前には、変種があります。専門用語に振り回されず、それぞれが表している概念自体を理解するよう心がけて下さい。

上で分かる通り、このフォーマットでは現状分析の後に問題の深刻性を説明します。「問題があり、その解決は緊急を要するが、この政策をとればこの様に解決する」という順番で述べた方が、より伝わりやすいからです（否定側立論では、後で確認するように問題の深刻性は最後に述べます）。ただしこの順番は、こうしなければならない、という類のきまりではありません。

ここでは、古典的な Fat tax の論題 (The Japanese government should introduce fat tax) を用いて例示します。Fat tax とは、イギリスなどで導入が以前から議論されている、ハンバーガーなどの脂肪分の多い食べ物(fattening food)に対して課す、一種の消費税です。肥満対策として、その原因となる食物の消費を抑えることが目的です。Fat Tax という概念は、1994 年に Yale 大学の心理学の教授がニューヨーク・タイムズに寄稿した記事によって広まりました 7%から 10%の税率で導入が議論されています。

この Fat Tax を日本に導入した場合の Advantage として 「より日本人が健康になる」と主張してみましょう。まずは、現状の問題の分析に関する Inherency という項目です。この語は「本来備わっている、生まれつき存在する」という意味の形容詞 Inherent の名詞形で、この部分では現状の仕組みでは、どうしても問題が生じるということを説明します。

解決を試みる問題としては、日本人の間では肥満の人が増えているということが挙げられます。価格の安いファーストフード店で食事をする人が多いことが、肥満の増加の一因となっているとは、頻繁に言われていることです。

次に、その問題を解決することがどうして重要なのか説明します。この項目は、Significance とも Impact とも呼ばれます。重要性の量的な説明としては、大抵影響を受ける人の数が言及され、Fat Tax の場合は肥満の人が増えているという数値を用意すれば良いでしょう。質的な説

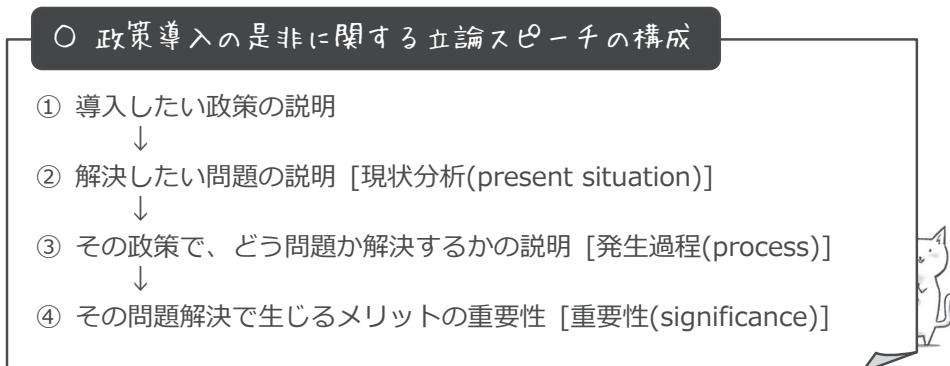
明としては、肥満であることが高血圧や心臓病という病気につながると言えます（病気になることは避けるべきだ、という価値観を前提しています）。以上によって、現状では問題があり、その解決はとても重要であると説明できます。

次に、専門用語では Solvency または Effect と呼ばれる、実際にどうその問題が政策によって解決されるのかの説明です。まずは、本当にこの政策が実行可能なのかの説明です（「実行できる」という形容詞、feasible を名詞形にした feasibility という用語が与えられています）。ファーストフード店の商品に課税をする、というのはさほど難しくないでしょうが、例えば他に「小学校で英語を必修化する」という数年前によく扱われた論題では、どうやって英語教員の数と質を揃えるのか、という点で試合において 1 つの争点になりました。

この Solvency の 2 つ目の要素としては、どう政策が問題を解決するのかの説明があります。この説明は、「（計画などが）上手く働く」と言う意味の workable という形容詞を名詞にした、Workability と呼ばれます。Fat Tax の議論では、「新しい税金により価格が上昇する結果、人があまりファーストフード店で食事をしなくなり、間食が減るかより健康的な食べ物をとる用になる帰結として、より健康的になる」と論証することになります。

## 2. 最低限これだけ分かれば十分な知識

上で詳細に説明した Advantage ですが、あまり細部にこだわらず、とりあえずは「何かをするべきだ」という内容のスピーチをするときには、以下の構成で話せば伝わりやすくなる、という程度の理解で構いません。



Lesson 4 で導入した「制服を廃止するべきだ」という論題のスピーチを思い出して下さい（以下に、より構成が分かり易くなるよう書き改めたものを載せました）。上の 4 要素が、それぞれどこで説明されているか、読み取って下さい。

Hello everyone. I think our school should not have school uniforms.

I will give you one reason. It is about the uncleanness of school uniforms. I will argue that school uniform should be abolished because they are so dirty.

First, let me ask you how often we wash school uniforms. We wear the same uniform every day. Only at the arrival of a new season do we usually change our uniforms. They are not washed or cleaned often. They are very dirty.

Then, please imagine the situation when we abolish school uniforms. What will happen is that we wear different clothes every day. When we were in elementary school, where there is no uniform, we wore different clothes every day. This is much better for our health.

Why is this issue so important? Of course, we, children are weak and need to be protected against diseases. Our School has the responsibility to make sure that we will not get sick because of bad health conditions. For this reason, I think we should abolish school uniform. Thank you. (175 words)

この文章構成を確認するために、もう少し練習問題を解いてみましょう。



### 3. 並べ替え問題

以下の文を、意味が通じるように並べ替えて下さい。

[最初の文] Railway companies should introduce "student-only train cars (学生専用車)" so that we, high school students can study harder on train.

- ① So, I believe we should have a special train car for students, where we can study as if we were in a study hall(自習室) .
- ② For example, because there were some adults who talked too loudly, I could not study much on train this morning.
- ③ Nowadays, it is very difficult for us to study on train.
- ④ The future of our society depends on today's young adults.
- ⑤ This is why I failed to pass the English vocabulary quiz today.
- ⑥ If we have such a place, our academic achievement will improve.

[最後の文] The more we study, the better our society will be, so introducing this special train car is very important.

【答え】 ( ) → ( ) → ( ) → ( ) → ( ) → ( )

#### 4. 欠けている要素探し

議論の構成についての知識があれば、議論の弱点をより的確に把握できるようになります。以下の1文でまとめられた議論の問題点を、上で説明された Advantage の要素に注目して考えて下さい（答えの可能性は無数にあります）。

- ① いつか来るかもしれない地球外生命体の侵攻を食い止めるために、国連は人型ロボット兵器を開発するべきだ。
- ② 核の脅威に備えるために、日本も核兵器を保有するべきだ。
- ③ 自国の文化をより学んでもらうために、高校生の制服は着物にしよう。
- ④ 自国の文化をより学んでもらうために、高校の体育の授業では女子も剣道か柔道をしてもらおう。
- ⑤ 通学・通勤中に電車が混んで携帯ゲーム機で遊べない人のために、鉄道会社はゲーム専用車両を導入するべきだ。
- ⑥ 男性が痴漢に間違われないように、男性専用車両を導入するべきだ。
- ⑦ 高校野球をする生徒は練習で疲れているので、授業中に寝てもしょうがない。
- ⑧ 高校野球をする生徒はおしゃれをする時間があれば素振りをするべきなので、彼らがまゆ毛を整えることを禁止しよう。
- ⑨ 日本人が皆、豊かな生活を送れるよう、毎月10万円の給付金を国民に与えよう。
- ⑩ 絶滅の危機に瀕しているホッキョクグマの生態系を守るため、冷房の設定温度は28度にしよう。

#### SECTION 3. 肯定側立論例（日本語）

上で確認した Advantage(AD)の構成を簡単に確認出来るように、日本語ディベートの原稿を用意しました（読み飛ばして構いません。英語での例も続きます）。以下は、2010年度の関東甲信越地区中学・高校秋期大会（証拠引用の必要がない部門）で優勝した、豊島岡女子学園高校のチームが用意したスピーチ原稿です。論題は次の通りです：

「日本は青少年の深夜外出を禁止すべき。是か非か」

##### 肯定側立論

みなさん、こんにちは。私たち肯定側は、青少年の深夜外出を禁止することで、子どもの非行を防ぎ、また安全なよって、「日本は青少年の深夜外出を禁止するべきか」という論題に対し、肯定の立場をとります。

プランを説明します。プランは、次の4点です。

1. 青少年とは、18歳未満の者とする。
2. 深夜とは、23時から翌日4時までとする。
3. 保護者は外出させない努力義務を負う。
4. 保護者以外の成人が連れ出した場合には、30万円以下の罰金に処する

3の保護者の努力義務とは、病院に行く場合など、特別の事情がない限り、保護者は外出させないよう努力が望まれる、という内容です。

この肯定側の政策を導入することで、2つのデメリットが生じます。

### ■ メリット1：「子どもの非行防止」

一つ目のメリットは、「子どもの非行防止」です。政策が導入されると、子どもの非行を防ぐことができると私たちは考えます。このメリットを、以下の3点に分けて説明します。

#### A) 現状の分析

現状の問題を、3点から説明します。

##### ① 深夜の徘徊は非行を助長する

深夜では大人の目が行き届かず、それにより日中であれば難しい軽犯罪が、容易に可能になってしまいます。

代表的な軽犯罪には、まず乗り物の窃盗があります。自転車や、オートバイの盗難は、日中であれば人の目があり抑制されます。高校生が数人集まり、誰かの自転車の鍵をいじっていれば、必ず誰かが通報したり、声をかけるでしょう。

しかし、夜中であれば、駐輪場といった場所に止められている自転車に数分間とどまり、何らかの特殊な方法を使い、鍵をこじ開けることが容易になります。まず、通りがかってそれを目にする人は少なく、そして通りがかったとしても、暗闇のせいで具体的に何をしているのか分かり難いのです。そして、分かったとしても、他の通行人が少なく、若者と口論になった場合加勢してくれる人が少ない夜間では、声をかける人はほとんどいないでしょう。

軽犯罪の別の例として、飲酒と喫煙があります。乗り物の窃盗と同様に、大人の目が行き届かない深夜では、高校生などが仲間内で集まり、飲酒や喫煙を行うことが可能になってしまいます。

## ② 成人による深夜の連れだし

未成年がそもそも深夜に出歩く原因として、大人に誘われ、連れ出されることがあります。

まず、高校の先輩などに呼び出される場合があります。元部活の先輩などに呼ばれ、仲間内で公園などに集まることで、日中では出来なかった非行行為が、集団心理で出来るようになってしまいます。

通常であれば、たいていの子どもは喫煙や飲酒を行わないでしょう。しかし、子どもが、学校や先輩や成人した先輩にすすめられれば、断ることは容易ではありません。深夜という非日常性もあり、子どもは普段は行わないであろうことも、仲間内であれば、容易に為しえます。

加えて、16歳以上であれば普通2輪の免許の取得が可能であり、大人によるバイクを用いた暴走行為に未成年が誘われ、加わることが可能になっています。

また、いわゆる出会い系サイトなどで知り合った相手などと、未成年が深夜まで遊び歩く場合があります。未成年の性被害は、より人目がない深夜であればあるほど、危険になります。

## ③ 現状の取り締まりは不十分

現状でもこの問題が認識されており、警察や補導員によって補導が行われていますが、罰則が弱いため夜間の出歩きを防ぐに至っていません。

保護者以外の成人が未成年を連れ回し、補導を受けた場合、何がおこるでしょうか。家に子どもは帰され、警察を通じて学校にも通知されてしまいますが、それ以上のことはありません。連れ回した大人に対して、罰則がありません。

監督責任のあるはずの親が、子どもの出歩きを黙認している場合、その大人による連れ回しを防ぐことが出来ません。子どもはまた、深夜の徘徊を続けるでしょう。

以上の通り、大人による深夜の未成年の連れ回しという、軽犯罪、非行、そして性被害の温床に対して、有効な対策が現状ではありません。

## B) 政策導入で何が変わるか

それでは次に、政策を導入した場合、何が起こるでしょうか。

成人が未成年と深夜出歩いていた場合、その成人は30万円の罰金となります。これにより、成人の連れ回しが抑止され、未成年の深夜の徘徊が減少すると考えられます。

### C) 深刻性

それでは最後に、どうして「大人による深夜の未成年連れ回し」を防ぐことが大切か、述べさせて頂きます。

大人による未成年の連れ回しは、先ほど述べたとおり、集団心理からの飲酒・喫煙といった非行、そして乗り物の窃盗を助長します。バイクを用いた暴走行為に加われば、交通事故に遭う危険性があります。また、深夜の徘徊は性被害を招きます。これらを防ぐための政策を導入することは、判断力と責任能力が不足した未成年に対しての、社会の責任であると言えます。

以上で、1つめのメリットの説明を終えます。

### ■ メリット 2：「静かな住環境」

2つ目のメリットは、「静かな住環境」です。

政策が導入されると、深夜の未成年の徘徊が減少し、その結果としてより静かな住環境が守られます。

### A) 現状分析

まず現状では、未成年が夜間に歩き、コンビニエンスストア、公園などで騒いでいることで騒音被害が起きています。未成年が、大声で話したり、バイクを乗り回したりする結果、付近の住民の静かな夜が妨げられています。

### B) 政策導入で何が変わるか

深夜の歩きを禁止すれば、先ほどメリット1で述べた仕組みで、青少年の深夜徘徊が減少します。その結果、彼らの出す騒音被害も減少します。

### C) どれだけこの問題が深刻か

夜間に静かな時間を過ごし、また睡眠を取ることは、重要な生活上の権利であると考えられます。この現状では、十分に守られていない権利が、プランにより守られます。よって、このメリットは重要であると考えられます。

以上で、肯定側の立論を終えます。ありがとうございました。

(2394 語)

## SECTION 4. 肯定側立論例（英語）

次に見るのは、渋谷高校英語ディベート部が 2008 年度の高校生全国大会用に作成した立論スピーチ例です。論題は、Lesson 9 で触れた「成人年齢を 18 歳に引き下げるべきだ（ただし飲酒喫煙は現状のまま）」というものです（当時は成人年齢引き下げは、実施段階以前でした）。

スピーチの分量は、全国大会のルールで規定されている 4 分丁度で終わるように調整されています。また、Advantage は 1 つだけ説明されています。原稿のフォーマットは普通のライティングで期待されているものとは異なり、スピーチする上で読み易い様に行を変えたりインデントを工夫しています（試合で使った原稿には、さらに蛍光ペンなどの書き加えがあります）。

教員の手に拵らず、生徒自身が証拠を探して書いたスピーチなので（当時、高校 1 年生の小野くんが担当しました）、必ずしも良いお手本とは言えないかもしれません、上で説明された Advantage の要素がどう説明されているか（あるいは抜け落ちているのか）確認して下さい。付記すれば、この例では Solvency(effect) と Significance の説明の順番が前後していますが、聞き手に内容がきちんと伝わる限りで、問題は無いでしょう。

【CD. Track #21】

### Affirmative Constructive Speech

We claim that we should lower the age of adulthood to 18.

Plan: Our plan includes three components.

Number (1) people who are over 18 will be given the right to vote.

Number (2) those who are over 18 will be punished as adults.

Number (3) those who are over 18 will be given all rights granted by the civil laws of Japan.

Benefit: Political participation of young adults.

The government will be able to hear the political views and opinions of the younger generation and better address the social problems of future generations of Japan.

#### 1. Present Situation

Under the status quo, the government does not take care of the younger generation as much as the older generation because the majority of voters are of the older generation.

According to NPO Network, Rights (2000),

"Because the majority is elderly people, the politicians tend to focus on them more. Politics and politicians tend to focus on people who are most likely to vote. So, the elderly are getting more attention. This is a threat to a liberal democratic society."

Let me give you another piece of evidence.

According to Nicolas Kohler and Colin Campbell (2008),

"Realizing that few young people vote, few politicians are willing to address their concerns."

These pieces of evidence clearly show how the younger generation is ignored by the government.

## 2. Effect

If we introduce this plan, this problem will be solved in 2 steps.

Step1: Young adults will participate in politics.

Let me quote what Mr. Munei, who is a professor at the University of Osaka, said in an article of Japan Economy Newspaper published on December 4<sup>th</sup>, 2008.

"If the government gives the right to vote to young adults, they will become more interested in politics and start to study politics."

Let me give you another piece of evidence taken from the report of Nara prefectural government (2003)

"In Higashiyoshino area, the people who were between 18 and 20 years old were given the right to vote when they had local referendum on combining with other cities. Then, 90% of them voted."

These evidences clearly show that young adults will participate in politics and study social issues if we introduce this plan.

Step 2: The government will hear the political views and opinions of the younger generation.

Let me quote an article of Asahi Newspaper published on July 22<sup>nd</sup>, 2007.

"Giving the right to vote to young adult is one of the effective ways to reflect their voices on the unfairness of politics such as the pension system of the budget deficit of Japan."

Also, the voices of the younger generation have strong potential to change policies themselves.

According to Martin P. Wattenberg, a professor of University of California (2008), after studying the case of the United States, he concluded as follows.

"Thanks to the votes of the young voters, the Democrats managed to win the election in 2006. Congress soon backed legislation directed at helping young Americans such as the rise of the minimum wage."

Therefore, we can achieve our goal.

### 3. Significance

The government has the responsibility to carry out politics on the basis of EVERYONE's voices. The government has to take care of all citizens including the younger generation.

Let me quote an article of Mainich Newspaper published on March 23<sup>rd</sup>, 2008.

Quote, "We are living in an aging society. So, we should expect more contribution from the younger generation to society. Moreover, in 166 countries, the age of adulthood is 18. When we look at other countries, we can easily see that there is no appropriate reason why only Japan should keep it at 20."

Finally, let me quote an article of the Daily Yomiuri published on December 17th, 2008.

"With the declining of birthrate and the growing portion of elderly people, it is extremely important to give the younger generation a sense of participation in society as leaders in a depopulating nation."

This is the end of my speech. Thank you.

(662 words)

## SECTION 5. ADVANTAGE を作る

それでは、実際に Advantage を作る練習をしてみましょう。まずは、以下に用意したシートを用いて、あなたの学校の何かの問題解決案を説明するスピーチを作ってみましょう。

### 1. 学校の問題解決スピーチ

Hello everyone. Today, I would like to talk about one idea which would make our school better.

【Problem】 Our high school has a problem now.

-----

-----

【Process】 Then, how will this problem be solved?

We can solve this problem by

-----

-----

【Importance】 Why it is important to solve this problem?

This problem is very serious because

-----

-----

For this reason, we need to introduce this plan. Thank you.

Class \_\_\_\_\_ SID# \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 2. リサーチの必要な論題で Advantage を作る

以下の論題から 1 つ選び、少し時間かけてスピーチ原稿を用意してみましょう。

### 【練習用の論題例】

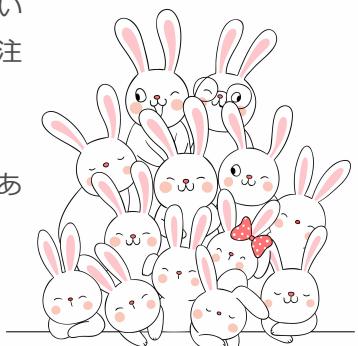
- The Japanese government should ban the 24 hour operation of retail stores such as the convenience stores (日本政府はコンビニエンスストアといった小売店の 24 時間営業を禁止するべきだ).
- The Japanese government should ban the construction of new nuclear power plants, remove old nuclear reactors, and eventually take away all the nuclear power plants in Japan in 30 years (日本政府は、原子力発電所の新規建設を止め、また老朽化する原子炉は廃炉し、今後 30 年間で原子力発電所を全廃するべきだ).
- The Japanese government should ban the use of cellphones by junior high school students and younger (日本政府は、中学生とそれ以下の子どもの携帯電話の使用を禁止するべきだ).

いきなり書き始める前に、まずはブレインストーミングをしてみましょう。次のページのワークシートを埋めて、1 つの Advantage の各要素を考えます。

大まかな内容が整理できたら、次はどんな証拠があればより説得力を増すスピーチとなるか、考えます。上の 3 つの論題はそれぞれ、何かしらリサーチを行い、証拠を用意する必要があります。図書館に行って調べ物を行う前に、大まかな議論の内容と必要となる証拠の検討をつけておけば、より効率的にリサーチをすることが出来ます。そのリサーチの前段階の作業と思って下さい。資料も用意したら、続くページのフォーマットを使って書き始めてみましょう。

ここで用意したフォーマットは、2 人で Advantage または Disadvantage を 1 つずつ担当してスピーチをするためのものです。1 人目のスピーカーしか言わないこと、肯定側しか言わないことなどがあります。フォーマットの注記を読んで確認して下さい。

書き終えたら、これまで通り発表してみましょう。時間の余裕があれば、質問と内容の要約もしてみて下さい。



## Brainstorming Sheet (Advantage)

### ■ AD [ 1 / 2 ] Signpost(見出し):

A. Inherency (Present situation): 現状の問題の分析		
1)	The problem we have to solve is:	【探す必要のある証拠】
2)	One of the reasons why this problem is happening is the lack of our proposal because:	
B. Significance (Impact / Seriousness): 問題の重要性		
1)	This problem is quantitatively serious because:	【探す必要のある証拠】
2)	This problem is also qualitatively serious because:	
C. Solvency(Effect): 問題がどう政策によって解決されるのか		
1)	Our proposal is feasible because:	【探す必要のある証拠】
2)	Our proposal can solve the problem as follows:	

Class( ) #( ) Name \_\_\_\_\_

## Format for Constructive Speech (肯定・否定、1人目・2人目共用)

My name is ..... . [←大会では、各人の担当スピーチを確認するため名前を言います]

Let's me start [ affirmative / negative ] constructive speech.

We [ affirmative / negative ] team believes that

【↑肯定側は、「～という政策を採るべき」、否定側は「～という政策を採るべきではない」と自らの立場を明確化します】

【Plan】 Let me explain our plan.

①

②

③

【肯定側は、論題を具体化する必要がある場合、その内容を箇条書き形式で説明します】

■ [Advantage / Disadvantage ] [ 1 / 2 ] [ ]

【↑議論の見出しだり、signpostを入れて下さい】

We claim that if we take this plan,

【↑これから詳しく説明する Advantage の内容を、1文でまとめて提示します】

Present Situation : At present,

【↑肯定側なら現状の問題を、否定側なら現状がいかに上手く行っているかを説明します】

Effect : Then, what will happen if we take this plan?

---

---

---

---

---

---

---

【↑肯定側なら、いかにその問題が解決されるかを、否定側なら、いかに現状の良さが失われるかその仕組みを説明します】

Importance / Seriousness : This is [ important / serious ] because

---

---

---

---

---

---

---

【↑肯定側はその問題解決がどう重要であるかを、否定側はその現状の良さを失うのがどう深刻な事態か説明します】

Therefore, we [ should / should not ] take this plan.

【肯定・否定1人目の場合】

Next, my partner is going to explain our second [ advantage / disadvantage].

【肯定・否定2人目の場合】

This is the end of our constructive speech. Thank you.

【2人のスピーカーは、1人目のスピーチが終わったら、前置きを入れずにすぐ2つ目のAdvantageまたはDisadvantageの説明に入って下さい】

Class(      ) #(      ) Name:



# Lesson 13.

## Policy Debate (2)

### Negative Constructive Speech



#### Contents:

Section 1. Disadvantage の構造

Section 2. 否定側立論例（日本語）

Section 3. 否定側立論例（英語）

Section 4. Disadvantage を作る

## SECTION 1. DISADVANTAGE の構成

ディベートの試合において否定側は、現状のままが良く、肯定側の提唱する政策を取れば、何らかの新しい問題が生じるか、既に存在する問題が悪化するというスタンスで戦います。この「現状のままがよい」という基本線を踏まえて、否定側が議論として提示する Disadvantage(DA)には、以下の構成があるものと期待されています。

### ○ Disadvantage(DA)の構成

- ① Uniqueness (Present situation): 現状で問題が起きていない確認
  - ・現状では問題が存在していない
  - または
  - ・問題があるが、それは最低限許容できる程度である
- ② Link (Effect): 政策が導入されるとどう問題が生じるかの説明
  - ・政策によって、どう新しい問題が生じるのか
  - または
  - ・政策により、すでに存在していた問題がどう深刻化するか
- ③ Significance(Impact, Seriousness): 問題の重要性・深刻性
  - 1) 量的にどれだけ重要な問題か
  - 2) 質的にどれだけ重要な問題か

ここでは、オーストラリアやギリシャでは導入されている、投票の義務化を例に取り解説します。オーストラリアでは、強制投票(compulsory voting)が導入されており、大まかに言えば投票をしなければ 1 万円程度の罰金を支払わなければなりません。その結果もあり、国政選挙の投票率は 95% 程度になっています。この強制投票を日本で導入するべきだ、というプランに対して Disadvantage を考えてみましょう。

考えられる Disadvantage として、知名度が高いだけで能力に疑問のある候補者(celebrity candidate)が選ばれやすくなる、という懸念があります。今まで投票してこなかった人が、罰金を払いたくないが為に適当に候補者を選ぶようになり、その結果本当は好ましくない人が当選してしまうかもしれません。この懸念を、上の構成に落とし込んでみましょう。

まずは、現状分析に関する Uniqueness です。この項目では、「これから示す問題は、他の要因ではなく、肯定側の提示するプランによってユニークに生じる」という点の立証を行います。あるいは、その問題は現在でも存在すると認めた上で、「肯定側の政策を導入すればこそ特別に、その問題は悪化してしまう」という説明します。

投票の強制化で言えば、現在は政治に興味を持っていなかったり、特定の支持する候補者がいない人は、投票をしていません。よく考え、政治について関心の高い人だけが票を投じ、その結果最適な人が選挙で当選していると言えます。「適当に選ばれた候補者が当選する」という事態は起きていません(あるいは、そのように当選している人はごく少数だ、とも主張出来ます)。

次に、プランが導入されることでどう問題が発生するのかの説明です。このプラン導入による変化の過程の説明を指す言葉として、Solvency という用語が使われていました。Advantage は、つまりは問題を解決する仕組みの説明であり、solve という動詞から派生した Solvency というこの用語を用います(もちろん、聞き手に分かってもらえるのであれば、他の用語を使っても構いません)。

その一方で Disadvantage では、政策の導入がどう問題の発生に結びつくかを説明するため、Link という別の用語が用意されています(「プランによる効果の説明」ということで、Effect という語を共通して使うことも出来ます)。

投票義務化の論題に戻れば、義務化されたといって、突然これまで政治に無関心だった人が候補者について入念に調べたり、社会問題について余暇の時間を費やして学び始めるとは思えません。罰金を払いたくないので、乱暴な表現を使えば「ゴミを出しに行く感覚で」投票をしてしまうかもしれません。その結果、単に知名度の高いだけの候補者が選ばれてしまうかもしれません。

Significanceにおいては、先ほどの Advantage でのそれと同様に、この「知名度が高いだけで資質に欠けた候補者が選ばれる」という問題が、量的にそして質的にどれだけ深刻な問題であるのか説明することになります。

## 2. 欠けている要素探し

Advantage の説明で行ったのと同様に、以下の 1 文でまとめられた Disadvantage の問題点を指摘して下さい(答えの可能性は無数にあります)。

- ① ギャンブル中毒になる人が出るので、東京にカジノを作るべきではない。
- ② 家族との会話の時間が減るので、子どもに携帯電話を持たせるべきではない。
- ③ 生徒が授業を聞かなくなるので、英語の授業で和訳を配布することには反対です。
- ④ メタボになる人が増えてしまうので、私たちの街の商店街にファーストフード店が出来ることには反対です。
- ⑤ 世界で起きている紛争を助長しかねないので、日本政府は武器の輸出を禁じた「武器輸出 3 原則」の緩和をするべきではない。

## SECTION 2. 否定側立論例（日本語）

英語での否定側立論例を読む前に、まず日本語の原稿を読んでみましょう。今度は証拠引用を含んだスピーチ例です。論題は以下の通りです：

「日本政府は、小中学生が携帯電話を所有することを禁止するべきである」

### 否定側立論

みなさん、こんにちは。私たち否定側は、携帯電話は子どもが安全で、便利な生活を送る上で欠かせない道具だと考えます。よって、「小中学生の携帯所有を禁じるか否か」という論題に対し、否定の立場をとります。

肯定側の政策を導入することで、2つのデメリットが生じます。

#### ■ デメリット 1：「子どもの安全性の低下」

1つ目のデメリットは、「子どもの安全性の低下」です。政策が導入されると、子どもが犯罪により遭いやすくなると私たちは考えます。このデメリットを以下の3点に分けて説明します。

##### A) 現状の分析

- ・まず現状で、携帯電話を持つことで、小中学生は犯罪被害から守られています。携帯電話で帰宅時間を連絡したり、頻繁に家族とやりとりをしていれば、何かあった場合家族が異常に気づいてくれます。また、携帯電話を持っていれば、犯罪被害に遭った場合、助けを求めることが可能になります。

【証拠 1】2008 年に、沖縄で女子中学生が米兵に連れ回された事件がありました。少女は携帯電話で友人に助けを求め、警察に保護されました。

琉球新報、2008 年 2 月 12 日の記事を引用します。

「『助けて』—。つなぎっ放しの携帯電話から、時折少女の叫び声が響いた。迫って来る米兵の姿に、『来た』と言っては会話は途切れる。携帯電話を隠すガサガサとした雑音。少女とのたった一つの接点を切らすまいと、少女の友人たちはわずかな物音にも神経をとがらせた。事の重大さに気付いた友人らは、少女の親族らにも助けを求め、総勢約十人で沖縄署に駆け込んだ」

引用を終えます。

- ・この様な小中学生の犯罪被害は、沖縄だけの問題ではありません。

【証拠 2】日本経済新聞のサイト、BP Net セイフティジャパンの、2005 年 7 月の記事から引用を行います：

昨今、子どもを持つ親の不安を特にかき立てているのは、事件の件数ではなく「凶悪な事件や防ぎようのない事件が目立つようになってきたこと」と、子どもの危険回避研究所の所長である横矢真理氏は語る。とりわけ、身代金ではなく性的ないざらを目的にした略取や誘拐が目に付く。

引用を終えます。

(横矢さんは、NPO 「子どもの危機回避研究所」の所長で、子どもの安全に関する啓蒙・研究活動に従事されています)

- ・この様な、子どもを狙った連れ回しや誘拐は、携帯電話によって防げると言われています。

【証拠 3】読売新聞、2008 年 12 月 5 日の記事から引用を行います：

防犯ツールとして携帯電話を持たせる親もいる。携帯電話各社のキッズケータイは、防犯ブザーを装備するなど、子供のセキュリティ対策も重視している。たとえ

ば最新機種では防犯ブザーを押すだけで、親へ自動的に通話する、位置情報を自動的にメールするといった機能がある。電車で通学する子供を持つ親にとっては、携帯電話は防犯ツールとしても重要だと言えるだろう。

引用を終えます。

- ・また、被害に遭った場合の犯人逮捕につながる迅速な通報も、携帯電話を用いれば可能です。

【証拠 4】警視庁によると、平成 21 年に受けた 110 番通報は、約 175 万件で、そのうち 94 万件、つまり 51 パーセントが携帯電話からです。

以上の通り、現状で、携帯電話は子どもを守る上で重要なツールとなっています。

- ・実際、子どもを対象とした犯罪被害は、携帯電話が一般化して以降、減少傾向にあります。

#### 【証拠 5】

平成 21 年度の犯罪白書によれば、13 歳未満の子どもが被害者となった件数は、平成 20 年度は 2718 件と、近年のピークの平成 15 年の 4555 件と比べ、その 60 パーセントまで下がっています。

また、女の子の略取誘拐は平成 11 年の年間 84 件から、43 件へと半減しています。

### B) 携帯禁止で何が変わるか

それでは次に、携帯電話の所持を禁止した場合、何が起こるでしょうか。

- ・まず、先ほど述べました、子どもを犯罪から未然に防ぐ仕組みが働かなくなります。
- ・また子どもは、犯罪被害に遭ったとしても、助けを求めることが出来ません。

#### 【証拠 6】

総務省の、平成 22 年度版の情報通信白書によれば、2010 年 3 月末時点で公衆電話総数は約 28 万台となっています。

これは、2000 年 3 月末時点の約 73 万台と比べれば実に 38.5% でしかありません。大体三分の一強にまで減少しています。

この様に、警察に通報する上でも、携帯電話は重要なツールですが、それが無くなってしまえば、通報自体が困難になります。犯人が逮捕されなければ、さらなる被害者も生まれます。

### C) 深刻性

それでは最後に、どうして「子どもの安全を守ること」が大切か述べさせて頂きます。

肯定側の政策により、子どもが誘拐に遭い、命が奪われるかもしれません。また、捕まらずに再犯を繰り返した性犯罪者により、子どもが一生かかっても癒されない心と体の傷を負うかもしれません。

子どもの命を奪い、心と体への傷を生むことにつながる肯定側の政策は、採られるべきではありません。以上で、1つめのデメリットの説明を終えます。

### ■ デメリット 2:「連絡がつかない」

2つ目のデメリットは、「連絡が簡単につかなくなること」です。

政策が導入されると、子どもが、親や友達と連絡がつき難くなってしまいます。

### A) 現状分析

まず、友達との待ち合わせの場合です。携帯電話があるおかげで、急な待ち合わせの時間や場所の変更が可能です。

つぎに、親との連絡の場合です。たとえ迷子になっても、携帯電話があれば、すぐ連絡がつきます。携帯電話のおかげで、親と子が離ればなれになり、悲しく不安な思いをすることが無くなりました。

最後に、地震といった自然災害の場合です。地震が起きて、生き埋めになったとしても、携帯電話が手元にあれば助けを求めることができます。

また、NTT ドコモなどの携帯会社は、大地震発生時には、家族の連絡用の掲示板を運用します。これにより、家族の安否をより迅速に確かめることができます。

【証拠 7】2002年4月発行 岡田・松田美佐著『ケータイ学入門』の203ページによれば、携帯電話の研究が本格的に開始される、大きなきっかけとなったのは、

阪神大震災の被災体験だったといいます。停電しても数時間は内蔵バッテリーで稼働して、文字と音声両用をやりとりできる道具があれば、地震発生直後の避難・救助活動を迅速に行い、命を救うことが出来ただろうに、との思いが携帯電話開発者にあったそうです。

もし仮に、関東で直下型大地震が起こり、電話や交通網がずたずたになってしまっても、携帯電話さえ持っていれば、小学生や中学生は親と連絡が取れるでしょう。

#### B) 携帯禁止で何が起こるか

携帯電話を禁止すれば、簡単に連絡を取ることが難しくなります。

- ・友達は、待ち合わせに遅れそうでも連絡できず、けんかになってしまふかもしれません。
- ・迷子の数も、また増えるでしょう。
- ・大地震などの災害が起きてても、親は愛する子を探して、胸が張り裂けそうな不安を感じたまま、探し回ることになるでしょう。

#### C) どれだけこの問題が深刻か

友達との関係が悪くなることは、小中学生には深刻な問題です。また、子どもが迷子になれば、親は重大な不安を感じます。地震の際に親が不安のあまり子どもを探して、二次災害に遭遇し命を落とすかもしれません。以上から、このデメリットは大変深刻であると考えます。

以上で、否定側の立論を終えます。ありがとうございました。

(2928 語)

---

### SECTION 3. 否定側立論例（英語）

---

それでは今度は英語のスピーチを読んで、Disadvantage の各要素が具体的にどう説明されているか確認しましょう。

Advantage のそれと同じく、論題は「成人年齢を 18 歳に引き下げるべきだ（ただし飲酒喫煙は現状のまま）」です。ルール上は Disadvantage を 2 点まで出して良いことになっていますが、1 点だけを詳しく説明しています。

## Negative Constructive Speech

We strongly believe that we SHOULD NOT lower the age of adulthood to 18.

Disadvantage: Young adults will become victims of evil-minded companies.

We would like to prove that after plan adoption, many young adults will fall into serious financial problems.

### 1. Present situation

First of all, let me analyze the present situation from 2 points. The following 2 points are included in the current civil laws (民法) of Japan:

#### (1) Cancellation of any contracts

Young adults under the age of 20 can cancel any kinds of contracts and agreements they happen to have made.

#### (2) Forbidden to loan money

Young adults under the age of 20 cannot use credit cards and borrow money from loan companies.

Thanks to these two protective laws, young adults under 20 are hardly involved in financial problems.

Let me quote what Mr. Shimano, the director of the National Consumer Affairs Center of Japan has said in 2008.

"The civic laws are being a huge deterrence for the loan sharks and therefore these loan companies have to wait until they turn to 20."

So, there is no problem in the present situation.

### 2. Effect

After taking the plan, the legal protection which young adults are given will be completely lost. Therefore, they will be free to agree on any kind of contract and borrow money.

This increases the probability of these young people becoming a target of consumer-credit companies and evil-minded companies which force them to buy expensive products.

Now, I will explain why these young adults will be an easy target of consumer credit companies and evil-minded companies.

Young adults have two characteristics:

(1) Little knowledge of finance

They cannot fully understand the balance between their salaries and debt.

According to the report of the Ministry of Justice (2008), at present, consumer education has not been introduced in school.

Also, according to a survey done on teachers from 66 different high schools in Okinawa, 100% of them answered that consumer education is not conducted in their schools.

These evidences clearly show how young adults are ignorant of how to manage their finances.

(2) No experience to negotiate with adults

These young adults have only graduated from or are still in high schools and are new to society. They have no experience of negotiating contracts with adults, and when necessary, asking for the help of police and lawyers.

I will give you evidence of how young adults are easy targets of consumer credit companies.

According to the associations of credit cards and loan companies, 43% of their customers are in their 20s. This evidence clearly shows young adults are ignorant of how to manage their finances.

Also, they are likely to be in a serious situation: MULTIPLE DEBT.

According to a survey done by the Association of Legal Clark of Okinawa, in 2004, 20% of those in their twenties declared bankruptcy because of multiple debts. This indicates that the number of people who will suffer from multiple debts would increase among young adults.

All these problems I have mentioned above will be caused by the affirmative plan.

### 3. Seriousness

Because of the financial burden of consumer credit and buying expensive products from evil-minded companies, many people's lives are endangered even now.

According to Police Report (2005), seventy-seven hundred people committed suicide because of financial problems.

The government should try to minimize the harm. And they have the responsibility to protect weak people from being targeted by bad people. Today's affirmative plan is doing the opposite.

For these reasons, we beg to oppose. Thank you. (594 words)

## SECTION 4. DISADVANTAGE を作る

Lesson 11 で Advantage を考えた論題について、今度は Disadvantage の要素を埋めてみましょう。次ページに用意したシートを用いて内容を大まかに考え、Lesson11 で用いた Constructive Speech 用フォーマットを使って書いてみて下さい。

以上で本レッスンは終わりです。次のレッスンでは、用意した Constructive Speech を用いて練習試合に向けた準備をしていきます。

## Brainstorming Sheet (Disadvantage)

### ■ DA [ 1 / 2 ] Signpost(見出し):

A. Uniqueness (Present situation): 現状の分析		
1)	Currently, the disadvantage does not exist because: or Currently, the disadvantage is minimized because:	【探す必要のある証拠】
B. Link (Effect): 問題の発生過程		
1)	The affirmative plan will cause the problem as follows: or The affirmative plan will worsen the problem as follows:	【探す必要のある証拠】
C. Significance(Seriousness): 問題の重大性		
1)	This problem is quantitatively serious because:	【探す必要のある証拠】
2)	This problem is also qualitatively serious because:	

Class(      ) #(      ) Name



# Lesson 14.

## Policy Debate

### (3) Attack

#### Speech



#### Contents:

- Section 1. Attack Speech の役割
- Section 2. Attack Speech の内容を考える
- Section 3. Attack Speech の発表練習
- Section 4. Disadvantage への Attack
- Section 5. 練習試合・大会への準備

## SECTION 1. ATTACK SPEECH の役割

Attack Speech 練習を、3段階で行います。試合への準備についてはここでは最低限に止め、とりあえずの型に沿った Attack Speech が出来るようになるまでを練習します。

① 基礎知識の習得	・Attack Speech の役割を学びます。 ・実例を通じて、スピーチをする上で注意点を学びます。
② スピーチ練習	フォーマットを使い、スピーチ練習をします。
③ 試合への準備	特定の論題での試合に向けた練習をします。

### 1. Attack Speech の役割

前レッスンでは、立論スピーチで提示する Advantage そして Disadvantage には、それぞれ以下の構造があることが望まれると言いました。反論では、それぞれの要素で欠けている点、または説明が不十分な点を指摘します。また反論においては、立論スピーチと同様に証拠の引用を行なうことが期待されます。

#### ○ Advantage の構成(復習)

- ① Inherency(Present situation): 現状の問題の分析  
「現状ではこんな問題があります」
- ② Significance(Impact, Seriousness): 問題の重要性・深刻性  
「この問題を解決することは、こんな理由で重要です」
- ③ Solvency(Effect): 問題がどう政策によって解決されるのか  
「自分たちの政策を採用すると、この様にして問題が解決します」

#### ○ Disadvantage の構成(復習)

- ① Uniqueness (Present situation): 現状で問題が起きていない確認  
「現状に問題はありません / あっても、許容出来る程度の問題です」
- ② Link (Effect): 政策が導入されるとどう問題が生じるかの説明  
「政策によって、問題が発生します / 問題が悪化します」
- ③ Significance(Impact, Seriousness): 問題の重要性・深刻性  
「この発生する問題は、こんな理由で深刻です」

以下では、まず肯定側立論への反論を練習し、その後で否定側立論への反論も扱います。

## SECTION 2. ATTACK SPEECH の内容を考える

### 1. 反論内容の確認

まずは、反論としてどのようなものがあり得るか考える練習をしてみましょう。Lesson 11で見た、渋谷教育学園渋谷高校の立論スピーチを例に取ります。ページをさかのぼって、立論スピーチ自体を読み返してみて下さい。その上で、以下の反論が立論スピーチの「Inherency(現状の問題の分析)」、「Significance(問題解決の重要性)」、そして「Solvency(解決の仕組み)」の3点のうち、どれに対してのものか分類して下さい。

#### Attack 内容のリスト (Affirmative Constructive Speech に対して)

【Disk Track #23】

- (1) The affirmative side said that the age of adulthood is 18 in many countries. However, we do not have to follow what other countries do. We should think about what is necessary for Japan.
- (2) The affirmative side said that Japanese politics would be changed if we take their plan. However, what would be changed is very vague. We still do not know what will happen.
- (3) The affirmative side claims that we need to hear the voices from young people. However, we can do so without taking their plan. Politicians can listen to the voice of people in their 20's. People in their 20's and people from 18 to 20 must have similar opinions. So, there is no necessity to take their plan.
- (4) The affirmative side said that we need the voices from young adults. However, what is the necessity? They did not explain clearly what the necessity is, and why the status quo is not enough.
- (5) The affirmative side pointed out that people from 18 to 20 have already participated in local elections. Still, we are talking about national elections. Their examples are not relevant.

(6) The affirmative side pointed out that people from 18 to 20 have already attended the local elections. However, they did not explain what kind of opinions those young people have shown in the elections. They may have shown unreasonable opinions.

(7) The affirmative side believes that people from 18 to 20 will go to elections if they are given the right to vote. However, they do not have interest in politics. According to Dr. X, young adults are not interested in politics (「若者は政治に興味がなくて投票に行かない」という趣旨の証拠が引用されたと思って下さい). We assume that people from 18 to 20 also have no interest in politics. So, they do not go to elections.

(8) The affirmative side said that young adults would go to elections and bring about good changes to politics. However, we think that is the opposite. According to Prof. X, young adults are not mature enough to make political judgments (「若者はきちんと考へて投票できない」という趣旨の証拠が引用されたと思って下さい). So, they will vote irrationally and create problems in politics.

(9) The affirmative side said that young people can vote rationally. However, we do not think so. Young people will choose people who are just popular among them. According to XXX, young people will simply choose celebrity candidates (「若者は有名人の候補者を単に選ぶ」という趣旨の証拠引用がされたと思って下さい).

(10) The affirmative side said that we need to hear the opinions of young people more. However, we should hear the voices of elderly people. If we hear more from young people, we are going to hear less from elderly people. If we spend more of the budget on young people, we are going to spend less on elderly people. The government should think about weak people. Elderly people should be prioritized before young people.

【分類例】

- Inherency: (1) (3) (4)
- Significance : (10)
- Solvency : (2) (6) (7) (8) (9)

注) Inherency と Significance は関連し合っており、この例ではそれほど厳密に区別する必要はありません。

## 2. 内容を考える練習

より具体的に理解するため、任意の肯定側立論スピーチを例に取り、それへの反論を考えてみましょう。ここで用いる立論スピーチは、先生か先輩にその場でスピーチしてもらうのが理想ですが、過去の大会のDVDを利用したり、スピーチの原稿を読んで代用しても良いでしょう。

録画された立論スピーチを使う場合、2018年現在では、YouTube上に様々な大会の試合がアップされています。いろいろ探してみて下さい。

立論スピーチの用意が出来ましたら、次のページにある「Attack Speech Brainstorming Sheet」を利用して、Attack Speechで言うべき内容のブレインストーミングを行います（立論スピーチでのAdvantageが1つであれば1枚、2つであれば2枚使います）。

まず、シートの左側に聞き取った（または読み取った）各Advantageの要素を書き取ります。そして、3~5分ほど時間を取り、どんな反論を行うか考えてシートの右側にメモを取ります。

メモを取り終わったら、コーチ役の人による実例、または大会のDVDでのAttack Speechを観てみましょう。反論すべき点は、たくさん見つかるかも知れません。しかし、Attack Speechの時間は3分間しかありません。その限られた時間内で、どの点に特に時間を割いて反論していたか注目して下さい。一般に、発生過程は立証が難しく、議論を成り立たせる上で不可欠な要素もあるため、まずこの要素についての反論を優先して考えてみて下さい。

### ○ Attackで言えることの例（肯定側立論に対して）

#### 【Inherency(現状分析)に関する反論】

- ・現状では、～という政策がすでに導入されており、問題は解決しつつある。
- ・現状では確かに問題があるが、それは相手の指摘した原因でなく、～という原因で起きている。

#### 【Significance(重要性)に関する反論】

- ・この問題は、とてもまれな問題である。
- ・この問題は、ほんの少しの人にしか影響を与えない。
- ・この問題は、許容出来ないほどのものではない。

#### 【Solvency(発生過程)に関する反論】

- ・政策導入によって、どうして～が生じるのか説明が足りない。
- ・政策導入によって、～が生じると言われたが、実際は…が起きてしまい、その結果問題は解決されない。

## Attack Speech 準備シート (Disadvantage 対策用)

### ■ AD (Advantage) [ 1 / 2 ]

Constructive Speech の内容		あなたの考える反論内容のメモ
<input type="radio"/> Inherency(Present situation): 現状分析		
1) The problem to be solved is (解決したい問題は以下の通り):		There is no problem under the status quo (現状に問題はない) because:
2) 【補足的内容】The problem is caused by the lack of our plan (この問題は、私たちの政策が導入されていないことで生じている) because:		【補足的内容】The problem is not caused by the lack of the affirmative plan (現状で問題はあるとしても、肯定側のプランが無いことによって生じているわけではない) because:
<input type="radio"/> Significance(Impact / Seriousness): 問題の重要性		
1) This problem is quantitatively serious (この問題は量的に深刻) because:		This problem is not quantitatively serious (この問題は量的に深刻ではない) because:
2) This problem is also qualitatively serious (この問題は質的に深刻) because:		This problem is not qualitatively serious (この問題は質的に深刻ではない) because:
<input type="radio"/> Solvency(Effect): 問題がどう政策によって解決されるのか		
1) Our proposal is feasible (私たちの政策は実行可能) because:		Their plan is not feasible (彼らの政策案は実行可能ではない) because:
2) Our proposal can solve the problem as follows(私たちの政策は、以下の通りに問題を解決します)。		Their plan cannot solve the problem (彼らの政策は、問題を解決しません) because:

Class(      ) #(      ) Name \_\_\_\_\_

### SECTION 3. ATTACK SPEECH の発表練習

#### 1. 発表用フォーマット

反論の内容を考えたら、次には発表の練習をします。確認した実例と内容が似通ってしまっても構いませんので、先ほど自分で用意したメモを利用して発表してみましょう。

次ページの「Attack Speech 発表用フォーマット」を参考にして、Advantageへの反論を整理し、発表に備えましょう。以下で簡単にそのフォーマットについて解説します。

- { ① As [ present situation analysis / significance / effect ], they said that ..... :
- ② However, this is [ not true / etc. ] because ..... :
- ③ I will give you one piece of evidence: (別紙の証拠カードの引用)
- ④ Therefore, AD1 (DA1) [ is weakly supported / does not stand ].

このフォーマットは、Lesson 7 で導入した Summary & Refute のそれと似ています。まず、①で相手の議論のどの点に反論をするか、明確にします。このディベート形式では、現状分析、プラン導入後の変化、そして問題の深刻性という構成で議論が提示されます。それで、それらの要素のどれに反論をするのか確認することで、ジャッジにより伝わりやすくなります。

次に②で、その確認した点の何が悪いのか説明します。Lesson 5 で練習した反論のフォーマットと少し異なり、「However, this is ~」の後では、[ very vague (曖昧である) / very doubtful (疑わしい) / not true (正しくない) / not always true (必ずしもそうとは限らない) / not relevant (関係ない) ] のどれか適切な語句を使います（これらの語句は、使いやすいので便宜上ここで選ばれています。使わなければならぬ、ということではありません）。

反論のスピーチであっても、証拠の引用が期待されます。③の部分でぜひ使って下さい（初めて練習する際は、リサーチの時間ないので、もちろん省略して構いません）。そして最後に結論として、④で「この AD はとても弱い / 成り立たない」と述べます。この最後の一言があると、反論と反論の切れ目もはっきりします。

#### 2. 発表練習

初めは、時間制限を設けず、各人 1 つの反論内容で発表します。練習への参加者が多ければ、グループに割り振り、それぞれで発表させても良いでしょう。全員の発表が終わった後で、特に誰の反論が最も強力であったか、考えてみて下さい。また、余裕があれば時間を 2 分にして、各自複数の反論をさせて下さい。

## Attack Speech 発表用フォーマット（肯定・否定 共用）

- My name is ..... Let me start [ negative / affirmative ] attack speech.
- I have [ ] attacks. [ ← 反論する項目の数を言う。3から4つ程度 ]
- First, let me attack AD1 (DA1).

As [ present situation analysis / significance / effect ], they said that .....

However, this is { very vague (曖昧である) / very doubtful (疑わしい) / not true (正しくない)  
not always true(必ずしもそうとは限らない) / not relevant (関係ない) }

(上の表現のどれかに当てはめると考えやすくなります)

because .....

【必要であれば】 I will give you one piece of evidence: (別紙の証拠カードの引用)

Therefore, AD1 (DA1) [ is weakly supported / does not stand (←どちらでも構いません) ].

(AD1 または DA1 に対して他に反論があれば、同様に上のフォーマットに従い反論する)

- Then, let me attack AD2 (DA2).

As [ present situation analysis / significance / effect ], they said that .....

However, this is [ very vague / very doubtful / not true / not always true / not relevant ]

because .....

【必要であれば】 I will give you one piece of evidence: (別紙の証拠カードの引用)

Therefore, AD2 (DA2) [ is weakly supported /does not stand ].

(AD2 または DA2 に対して他に反論があれば、同様に上のフォーマットに従い反論する)

(時間が余ってしまった場合は、反論の内容を繰り返す)

This is the end of my attack speech. Thank you.

Class( ) #( ) Name

## SECTION 4. DISADVANTAGEへのATTACK SPEECH

否定側立論への反論は、これまでに学んだ肯定側立論への反論とほぼ変わりません。ただし、反論で言うことの可能な内容が、少し変化します（現状分析に関する反論に関して）。以下を見て確認して下さい。

### ○ Attack で言えることの例（否定側立論に対して）

#### 【現状分析に関する反論】

- ・問題への現状での取り組みは不十分で、悪化し続けている。
- ・問題はすでに存在し、プラン導入以外の原因で発生している。

#### 【発生過程に関する反論】

- ・政策導入によって、どうして～が生じるのか説明が足りない。
- ・政策導入によって、～が生じると言われたが、実際は…が起き、その結果問題は発生しない。

#### 【重要性に関する反論】

- ・この問題は、とてもまれな問題である。
- ・この問題は、ほんの少しの人にしか影響を与えない。
- ・この問題は、許容出来ないほどのものではない。

それでは、任意の否定側立論を例に取り、これまで行ったとおりに反論の練習をして下さい。先ほど利用した試合の動画を用いて、今度は否定側立論への反論を考えてみましょう。反論内容をブレインストーミングする時には、次ページのシートを利用してみて下さい。

反論内容が決まったら、先ほどと同じ発表用シートを用いて、スピーチ練習をしましょう。その上で、実際の試合の Attack Speech と比べてみましょう。

## Attack Speech 準備シート (Disadvantage 対策用)

### ■ DA (Disadvantage) [ 1 / 2 ]

Constructive speech の内容		あなたの考える反論内容のメモ
<input type="radio"/> Uniqueness (Present situation): 現状の分析		
1)	There is no problem or it is minimized now (現状では問題が無いか、最低限に抑えられている):	<ul style="list-style-type: none"> <li>• This problem already exists (問題はすでに存在している) because:</li>      <li>• The problem is getting worse even under the current situation (問題は現状でも悪化している) because:</li> </ul>
<input type="radio"/> Link (Effect): 問題の発生過程		
1)	The affirmative plan will cause the problem or worsen the problem as follows (肯定側の政策は、以下の通りに問題を生じさせるか、悪化させる):	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Our plan will not create the problem (私たちの政策は問題を発生させない) because:</li>      <li>• Our plan will not worsen the situation (私たちの政策は問題を悪化させない) because:</li> </ul>
<input type="radio"/> Significance(Seriousness): 問題の重大性		
1)	This problem is quantitatively serious (この問題は量的に深刻である) because:	<ul style="list-style-type: none"> <li>• This problem is not quantitatively serious (この問題は量的に深刻ではない) because:</li> </ul>
2)	This problem is also qualitatively serious (この問題は質的に深刻である) because:	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Also, this problem is not qualitatively serious (この問題は質的に深刻ではない) because:</li> </ul>

Class(        ) #(        ) Name

## SECTION 5. 練習試合・大会への準備

### 1. Attack Speech への Cross-examination

形式に慣れたら、今度は Attack Speech に対しての Cross-examination をしてみましょう。練習の中で Cross-examination を受けることで、どのような証拠があればより効果的な反論が出来るようになるのか、より明確になります。

### 2. Attack Speech の原稿の用意

大会に向けて Attack Speech を練習する場合、まず立論スピーチを用意することから始まります。自分たちの立論スピーチを書き直すうちに、どの点が弱いのか分かってくると思います。その自分たちの立論の弱い点をきちんと指摘できるようになれば、相手チームが同じ内容の議論を用意してきた場合、的確に反論を出来るようになります。

また、自分たちが立論スピーチに取り入れなかった Disadvantage と Advantage についてもそれぞれ 2~3 程度選び、Attack Speech を予め考え、必要な証拠を探しておきます。

練習試合や都道府県大会ではあることですが、相手の立論に対し、内容がズれているにもかかわらず、自分たちの用意した原稿をただ読み上げ、的外れな反論となることがあります。Attack Speech の予想の幅が狭い場合、試合で初めて聞く相手の立論に上手く適応した反論を用意できないことがあります。そのような事態を避けるためにも、即興で対応出来る能力を日頃から訓練しておく必要があります。

ただ、特定の論題についての練習を重ねて行けば、次第に即興で反論を考えることはほとんど無くなると思われます。1 つの大会に出場するまでには、練習試合を 20 回ほど経験しているのが望ましいとされます。その頃までになると、相手の立論に対して何を反論するべきか、その場で考えずに自動的に分かる様になります。

即興性の高いパーラメントリーディベートとは異なり、このスタイルのディベートでは、よほど高い能力がない限り、その場で反論内容をゼロから考えていれば、勝つことは難しいでしょう。強いチームは、まるでテニスか卓球の試合をしているかのように、相手の立論に対して何を言ったらよいか、自動的に分かり、関連する証拠資料をすぐ出せるまでになっています。





# Lesson 15.

## Policy Debate (4)

## Defense Speech



Contents:

Section 1. Defense Speech の理解

Section 2. Defense Speech の内容を考える

Section 3. Defense Speech の発表練習

## SECTION 1. DEFENSE SPEECH の理解

### 1. Defense Speech の準備方法

相手チームがどのような立論スピーチを用意しているか分からぬいため、Attack Speech では臨機応変の対応が求められます（この理由で、特に英語能力の高い生徒が Attack Speech を担当することが多いようです）。その一方で、反論に対する立て直しの役割を持つ Defense Speech では、試合で何を言うことになるか、ほぼ予想が出来ます。

どんなに時間をかけ用意した Constructive Speech でも、何らかの穴が残っているはずです。「こんな証拠があればいい」と分かっていても、結局見つけることが出来なかつたかもしれません。プランがどの様に問題を解決するのか、生じさせるのか、その過程が多少怪しいことが自覚出来ているかもしれません。数ヶ月間も練習を続ければ、自分たちの立論スピーチの欠点を、誰よりも把握できているはずです。

これは逆に考えれば、相手が Attack Speech で何を言うことになるか、手に取るように分かっているということになります。実際の試合では、相手が指摘してきた立論の問題点に対して、用意した証拠付きのメモを読み上げて対応することが出来ます。これを可能にするための準備が、Defense Speech の準備になります。

### 2. Defense Speech の内容の例

Lesson14 では、渋谷教育学園渋谷高校英語ディベート部が作成した肯定側の立論スピーチを読み返し、考えられる反論例をリストで示しました。今度は、それら反論例に対して、どう言い返すべきか、どんな証拠を示せば良いか、例を読んで考えましょう。

以下の Defense Speech の内容例を読んで下さい。それぞれ、議論を立て直すことにどれだけ成功しているでしょうか。

#### Defense Speech 用 リスト (Affirmative用)

【Disk Track #24】

(1) They said that we do not have to imitate other countries and should think what is necessary for Japan. However, we are not simply saying that we should imitate other countries. We are saying that 166 countries having 18 years as the age of adulthood is evidence that our plan is feasible and does not cause much harm. We have also shown you the clear merits of our plan in our constructive speech.

(2) They said that after plan adoption, what would be changed is very vague. Then, let me tell you again. If we adopt our plan, people from 18 to 20 would have the right to vote. We will have 2.7 million new young voters. So, politicians would introduce policies for young adults in order to get their votes.

Let me give you some evidence of how much influence this 2.7 million new votes can have by referring to the result of the House of Councilors elections.

[Evidence Card] According to the website of Nikkei Newspaper, at the House of Councilors election in 2004, Social Democratic Party, or 社民党, which is one of the major political parties of Japan, got 2.9 million votes for proportional representation. So, they could get 3 seats in the Upper House.

[Evidence Card] According to the web site of Asahi Newspaper, at the House of Councilors election in 2007, the same party got 2.6 million votes for proportional representation and obtained 2 seats in the Upper House.

Those 5 seats are the only seats the Social Democratic Party has in the Upper House now. If it had not been for the 2.9 or 2.6 million votes, the Social Democratic Party could not have got any seats in the House of the Councilors. The party would have disappeared.

Therefore, this evidence clearly shows that the 2.7 million votes coming from those who are 18 or 19 have strong impact which is enough to determine the existence of one political party, which can directly influence the politics of Japan. So, we can expect a clear difference in politics after plan adoption.

(3) They said that because people from 18 to 20 and people in 20's have similar opinions, there is no necessity to take our plan. However, because most of the people from 18 to 20 are students, they will focus more on education, such as the educational expenses. On the other hand, people in 20's focus more on employment. Their priorities are different.

[Evidence Card] According to Japanese Communist Party (2008), "The educational expenses put heavy financial burden on students. Every year, about ten thousand university students leave school for financial reasons. Also, many high school students decide not to go to university because of the expensive tuition fee."

Because of this, we can say that people who are 18 or 19 have uniquely strong opinions on education.

(4) They said that we did not explain the necessity of taking this plan and why the status quo is not enough. So, let me explain. Under the status quo, the number of young adults is much less than that of the elderly people. Because elderly people are the majority, politicians make policies for elderly to get votes from them. As a result, the problems of budget deficit and pension systems, which would put a huge burden on future generation, are left untouched.

[Evidence Card] According to Takahasi, the vice president of NPO Network Rights (2008), the younger generation in Japan is unfairly treated by the government in terms of a future tax burden, national pension, and the amount of social welfare they can receive. It is also pointed out that Japan spends the least amount of money for education in comparison to other OECD countries.

Even though there are these problems, young peoples' political influence is disproportionately small. This is why there is the necessity to change the status quo.

(5) They said that our examples of local elections are not relevant, but this is not true. The national election deals with the issues which are important for the society in which they live. Also, media coverage is intense at national elections, so they have the chance to gain interest. We do not know why the young adults who vote at local elections would not vote at national elections.

(6) If the government gives the right to vote to young people, they will become interested in politics

[Evidence Card] Professor Muneyi of University of Osaka said in an article of Nikkei Newspaper published on December 4<sup>th</sup>, 2008 that, "If the government gives the right to vote to young adults, they will become interested in politics and start to study politics." (立論スピーチでも使用したカード)

(7) They said that young adults do not have interest in politics. However, when people from 18 to 20 were given the rights to vote at local elections or referendum, the turnout was about 90%.

[Evidence] (約 100 の市町村での、実際に投票権を与えられた 18 から 19 の若者の投票率を示す一覧表)

(8) We have shown you the counter evidence to the attack already in our constructive speech.

[Evidence Card] (6 番目の Defense で用いたのと同じ証拠)

(9) They said that young adults cannot vote rationally and only choose candidates who are famous. However, this is unlikely. Firstly, we have explained in our constructive speech that young people will have interest in politics and think carefully when they vote.

[Evidence Card] (6 番目の Defense で用いたのと同じ証拠)

Also, even if people choose famous candidates, they are not necessarily bad politicians. For example, please think about Mr. Higashikokubaru (東国原) of Miyazaki Prefecture, Mr. Schwarzenegger of the state of California, and Mr. Hashimoto of Osaka Prefecture. We cannot deny that their popularity helped them win an election. However, they are doing a good job for the citizens.

(10) They said that we should think about elderly people because they are the weak people in our society. We do not deny that we should help elderly people, but we are saying that we should not ignore young adults who are as disadvantaged as elderly people. Young adults are either students or new workers, so they cannot earn much money. Therefore, it is fair to say that we should hear not only the voices of elderly people but also those of young adults.

(1094 words)

## SECTION 2. DEFENSE SPEECH の内容を考える

以下では、Lesson 13 で見た渋谷高校英語ディベート部の否定側立論への Attack のリストを示します。それについて、どの様な内容の Defense Speech が可能でしょうか。自分たちで考えた後で、続く Defense Speech の内容例と比べてみて下さい。

### Attack の内容リスト (Negative Constructive Speech に対して)

(それぞれへの Defense Speech を考える際には、スペースに書き込んで下さい) 【Disk Track #25】

(1) They said that young people are easy target of “evil-minded companies”.  
However, we do not know what exactly the “evil-minded companies” are.

(2) They said that the people from 18 to 20 will be forced to buy expensive products and have financial problems. However, we have the “cooling-off system”. So, the problem would not be serious.

(3) The negative side said that young people would borrow too much money from loan companies. However, this is not likely to happen. Loan-companies check how much income a person has. For instance, university students can have credit card now. However, the amount of money one can borrow using the card is about 20,000 because they do not have much income. The consumer credit problem is not likely to happen.

(4) The negative side said that the number of young people who have financial problems would increase. However, they didn't tell us how many. They could not explain how serious that problem is.

(5) They said that people from 18 to 20 would have financial problems. Then, I want to remind you that the age of adulthood is 18 all over the world. However, there are few problems reported in other countries because of this. Therefore, the problem is not likely to happen or be so serious.

(6) The negative side said that the number of young adults who have financial problems would increase. However, we believe that if it were to happen, high school teachers would try to educate students about financial management and how to avoid such consumer troubles. So, the problem will be not so serious.

(7) They have shown us only the examples of Okinawa. We are not sure what would happen in other places in Japan.

- 以下より、上の Attack に対する Defense Speech の内容例が始まります。Defense Speech で何を言うべきか、一度自分で考えた後で、読み進めて下さい。

### Defense Speech 用ノート (Negative用)

【Disk Track #26】

(1) They questioned what “evil-minded companies” are. So, let me explain again. Evil-minded companies, or 悪徳業者 in Japanese are the companies that force people to buy expensive products.

I will give you one example of how young adults are easy targets of such companies.

[Evidence Card] According to Citizen Life Center, which is an independent administration corporation, (2004), 91% of the victims of “selling through dating”, or デート商法 in Japanese are in their twenties. Furthermore, people who are 20 years old account for 28% of all victims. So, we can say that people who have just become adults are highly likely to be victimized.

(2) They said that because of the “cooling-off system”, the problem will not be serious. However, it is not true. The cancellation of a contract using the “cooling-off system” is possible only for two weeks or 8 days after the purchase. So, the problem is still serious.

(3) They said that the consumer-credit problem is not likely to happen because loan-companies check how much income a person makes in order to make sure that they can repay. However, this is not always true because loan sharks will loan so much money even when their customers do not have much income. When it turns out that one of their customers cannot repay, what the company usually does is to force their parents to repay.

(4) They said we did not show how much increase we can expect in the number of people who have financial problems. Of course, we cannot give you any specific numbers because it is about the future. Still, as we have argued, it is highly likely that they will be victimized.

[Evidence Card] According to the National Organization of Consumer Credit Victims, the number of people who borrow money from loan-sharks is 14 million. Also, 2.3 million of them are in multiple debts and say that they do not know whom to ask for help.

Even those who are over 20 are suffering from the problem now. As the people from 18 to 20 have less knowledge and experience, the possibility of getting into a problem is high.

(5) They said that the kinds of problem we have argued are not reported in the countries which have already lowered the age of adulthood. However, even under the status quo in Japan, there are so many people who have financial problems.

[Evidence] (Defense 4 のものと同じ)

(6) They said that high school teachers will educate students on finance and their legal rights. However, there is no assurance of their effectiveness.

(7) As for the lack of consumer education, they said that we have shown only the example taken from Okinawa. So, let me give you another piece of evidence.

[Evidence Card] According to the report of Ministry of Justice (2008), at present, consumer education has not been introduced in school.

(488 words)

---

### SECTION 3. DEFENSE SPEECH の発表練習

---

#### 1. 発表用フォーマット

Defense Speech のフォーマットを次のページに例示しました。このスピーチで特に重要なのは、相手のどの Attack に関して議論の立て直しをするのかはっきりと述べることです。また、相手の反論内容を的確に要約することが求められます。

フォーマットでは、まず自分たちのどの議論の、どの要素に関して、相手が何を言ったのか確認します。その後で、相手の指摘が正しくない理由を述べます。加えて、補足的な説明か、望ましくはさらなる証拠を提示します。この繰り返しが Defense Speech の中身となります。

任意の試合のビデオを用意し（これまで用いてきたのと同一のものが良いでしょう）、否定側の立論と、それへの Attack まで聞いてみて下さい。その後で、フォーマットを利用して、自分が考えた Defense Speech を発表しましょう。発表が終わったら、実際の Defense Speech を見てどの点で異なっているか、比較して下さい。

#### 2. 試合に向けた練習

試合を通じて練習する前に、Defense の練習のみを集中して行いましょう。複数人が 1 つずつ反論を行い、Defense 役の 1 人がそれらについて立て直しを行います。どれだけ素早く言い返しが出来るようになったかに応じて、以下の活動をしてみてください。

- ① 作成済みの Attack 予想リストの各項目を、他の人が 1 つ読み上げる。Defense 役の人は、それに対する立て直しをする。これを繰り返す。
- ② ランダムに選んだ複数個を一度に読み、Defense 役の者はそれらをまとめて言い返す。
- ③ Attack 予想リストの各項目の表現を言い換えて、他の人が 1 つ読み上げる。Defense 役の人は、それに対する立て直しをする。これを繰り返す。
- ④ ランダムに選んだ複数個を表現を言い換えて、一度に読み、Defense 役の者はそれらをまとめて言い返す。

上記の発表練習を繰り返すと、さらなる証拠が必要となる場所も分かって来ると思います。また、立論自体の手直しが必要な場所も分かってくると思います。立論スピーチを作成することと、Defense を行うことは、不可分につながっています（これ故に、立論を書く上で中心的な役割を果たした人、または立論の書き直しを担当する人が Defense 役になると最も効率が良いでしょう）。また、他のポジションに着く人も、必ず Defense 役を一度は経験し、試合中に助言が出来るようにして下さい。

## Defense Speech 発表用フォーマット（肯定・否定 共用）

- My name is ..... . Let me start [ negative / affirmative ] defense speech.
- They gave us [ ] attacks. [←反論された数を言う。]
- First, on [ AD / DA ] [ 1 / 2 ]

They attacked our explanation on [ present situation / significance / effect ],  
by saying that .....

- However, this is not true because .....
- Then, I will give you further [ explanation / evidence ]. .....

Therefore, [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] [ is strongly supported / still stands ] (←どちらでも).

- Second, on [ AD / DA ] [ 1 / 2 ]

They attacked our explanation on [ present situation / significance / effect ],  
by saying that .....

- However, this is not true because .....
- Then, I will give you further [ explanation / evidence ]. .....

Therefore, [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] [ is strongly supported / still stands ]. (←どちらでも)

(他に反論があれば、同様に上のフォーマットに従い反論する)

This is the end of our defense speech. Thank you.



# Lesson 16.

## Policy Debate (5)

## Summary Speech



### Contents:

- Section 1. 全国大会(Policy Debate)の試合形式
- Section 2. Summary Speech の理解
- Section 3. Summary Speech の練習
- Section 4. Judging について
- Section 5. 大会に向けた準備
- Section 6. ディベートを続ける人へ

## SECTION 1. 全国大会(POLICY DEBATE)の試合形式

### 1. 大会出場に向けた準備

これまで、Policy Debate の基本的なフォーマットを体験し、何らかの論題に対して Advantage と Disadvantage の最初のドラフトが完成していると思います。このレッスンでは、Policy Debate の高校生全国大会に出場することを目的に、これまで導入していなかった、Summary Speech を練習します。

また、大会出場までは、練習試合を通じて以下の作業を繰り返すことになります：

- ① 新しく必要となる証拠を把握し、必要があれば Advantage または Disadvantage を別の物に変える。
- ② 予想される対戦相手の Advantage または Disadvantage を整理して、それぞれへの反論を用意しておく。反論の上で必要となる証拠を探す。
- ③ 予想される自分たちの Advantage または Disadvantage を整理して、それぞれへの言い返しを用意しておく。また、その上で必要となる証拠を探す。

### 2. 全国大会のディベート形式

次ページの表にまとめられた、試合の流れを見て下さい。これまでのレッスンで導入した練習試合用のフォーマットとの違いは、各スピーチの制限時間以外に、以下の 2 点があります：

- ・ Summary Speech という、試合全体を総括してどうして自分たちのチームが勝ったのか説明する時間がある。
- ・ Constructive Speech の後に加え、Attack Speech の後に Cross-examination がある。

また参考として、「プラン(Plan)」という肯定側が論題をより具体化させた政策案について説明します。高校生大会で与えられる論題は、改めて定義をする必要がないように、ある程度具体的なものが選ばれます。しかしながら、「小学校で英語の授業を必修化するべきだ」という論題が与えられた場合は、どれだけの時間数で、どの様な授業内容を、どんな先生が教えるのか、細部の設定がされなければ肯定側と否定側の議論がかみ合わなくなるでしょう。そのために、肯定側が Constructive Speech の冒頭で、その説明をすることが期待されます。どのような定義であれば許容されるかは、全国大会では運営者側から大まかな指針が出されます。それに沿ったプランでなければ反則負けになる場合もあるため、必ず確認をして下さい。

## ○ Policy Debate 全国高校生大会(HEnDA)のフォーマット

注) 2016年現在のフォーマットです。

Affirmative Side(肯定側)	Negative Side(否定側)	Time
(1) Constructive Speech (Plan と共に Advantage を 1~2 つ提示)		4 分
One minute preparation (1 分間の準備時間)		
	(2) Cross-examination (肯定側に質疑応答)	2 分
	(3) Constructive Speech (Disadvantage を 1~2 つ提示)	4 分
One minute preparation (1 分間の準備時間)		
(4) Cross-examination (否定側に質疑応答)		2 分
Two minute preparation (2 分間の準備時間)		
	(5) Attack Speech (肯定側の Advantage に反論)	3 分
(6) Cross-examination (否定側に質疑応答)		2 分
(7) Attack Speech (否定側の Disadvantage に反論)		3 分
	(8) Cross-examination (肯定側に質疑応答)	2 分
Two minute preparation (2 分間の準備時間)		
(9) Defense Speech (否定側の反論に対して立て直し)		3 分
	(10) Defense Speech (肯定側の反論に対して立て直し)	3 分
Two minute preparation (2 分間の準備時間)		
(11) Summary Speech (試合をまとめ、自チームの優位を証明)		3 分
	(12) Summary Speech (試合をまとめ、自チームの優位を主張)	3 分
合計 42 分		

\*2018 年 3 月現在の形式です。

- ◇ 1 チーム 4 人が基本で、それぞれ Constructive, Attack, Defense, Summary のスピーチを担当します。Cross-examination は、相手の Constructive speech に対しては Summary 担当者が、相手の Attack speech に対しては Defense 担当者が行います。

## SECTION 2. SUMMARY SPEECH の理解

### 1. Summary Speech の構成

Summary Speech の役割は、パーラメンタリーディベートでの Reply Speech と同様に、ジャッジの代わりに試合の判定をする、というものです(もちろん、自分たちが勝っているという前提で話します)。その為に、大まかに以下の 3 つの構成で話すことになります：

#### ○ Summary Speech の構成

- ① Defense に対する再反論 (出来るだけ簡単に)
- ② これまでの試合の流れの確認
  - a) どうして自分たちの出した Advantage(または Disadvantage)が、相手の反論を経ても依然として強いものであるのか。
  - b) どうして相手チームの Disadvantage(または Advantage)は、試合の流れを経て弱いものになったのか。
- ③ Advantage と Disadvantage の価値の比較 (Value Comparison)  
Advantage と Disadvantage を比較した場合、どちらの方が結局はより重視されるべきか。

Summary Speech では、相手チームの Defense Speech への反論が行えます（この点、パーラメンタリーディベートの Reply Speech とは異なります。時間の短い Whip Speech と捉えれば良いかも知れません）。出来るだけ短く、どうしても言うべきことだけ言って下さい（30秒から、長くて 1 分で納めるのが目安です）。または、次の試合の流れの確認の中に再反論を含めても良いでしょう。

次に、Summary Speech では試合の流れを確認します。自分たちのチームが優れていたことを示すための確認であり、それを説明する上で特に重要であった試合上のやりとりを確認します（例えば、相手が必要な証拠を提示できなかったなど）。通例は、Advantage または Disadvantage ごとに、どうしてそれが試合を通じて残っているのか、あるいはほとんど残っていないのか話をします。

次の要素として、すでにそれぞれ評価をした肯定側の Advantage と否定側の Disadvantage を比べてみた場合、どちらの方がより大きいのか比較をします。この「価値の比較(Value Comparison)」について下に詳しく説明します。

## 2. 値値の比較 (Value Comparison)について

何かを比べるためにには、何らかの物差しが必要です。その物差しを何にするかは、スピーカーに任せています。例えば、以下の観点が物差しとして使いやすいでしょう：

- 1) Quality (もたらされる利益または不利益は、どの様な性質か)
- 2) Quantity (どれだけの人が、利益または不利益を受けるのか)
- 3) Probability (メリット、デメリットのどちらがより発生する確率が高いか)
- 4) Time span (メリット、デメリットが長期的・短期的なものか)

例えば、死刑制度の廃止の是非に関するディベートの試合で、「誤審により死刑になる人の命を救える」という議論と、「終身刑になる人を養うために新たに税金が使われる」という議論が出たとします。この場合、問題の質(Quality)を比較して、「人の命はお金よりも重く、また一度奪われては取り返すことが出来ない。それ故に、前者の価値が優先される」と言えるでしょう。

また、原子力発電所を廃止しようという論題で、肯定側が「放射能事故の懸念が無くなることによる、安全性の向上」を議論として出し、その一方で否定側が「電力不足による経済活動の低迷」を Disadvantage として提示したとします。その場合では、経済活動が円滑に行われる前提には、生命の安全が必要であるため、安全性を優先するべきだと言えるでしょう。

次に、数量的な比較をする場合について、成人年齢を 18 歳に引き下げるか否かという論題で例示します。Advantage として「犯罪を行えば成人として処罰されるようになるので、18~19 歳の間で凶悪犯罪が減る」という議論が、Disadvantage として「民法上は商品購入や消費者金融の契約が新しく結ぶようになる 18~19 歳の間で、経済上のトラブルに巻き込まれる人が増加する」という議論が出されたとします。凶悪犯罪の被害者の数と、新しくトラブルに巻き込まれると予想される若者の数を比べることで、どちらがより重大な問題であるか比べることが出来ます。

3 番目の可能性ですが、単純に Advantage と Disadvantage のどちらの方が起こる可能性が高いか比較を行います。例えば、ミサイル防衛システムを日本が導入するか否かの論題で、肯定側が「いつか飛んでくる巨大隕石を打ち落とすために必要」と主張し、否定側が「近隣諸国との軍拡競争が起こる」という議論を出したとします。この場合、否定側は比較の基準として双方が主張するような事態が実際に起こる可能性を比較の観点として出すことが考えられます。

また、4 番目の時間の幅に関してですが、一般的に自分たちのメリットまたはデメリットは長期的な幅のものであり、相手のそれは短期的・一時的なものであると特徴づけることです。例えば、日本政府が労働力確保のために移民を受け入れた場合、短期的には労働力が確保され経

済発展を促すが、長期的にはその高齢化した移民への社会保障費増大により、収支はマイナスになる、というものです。

この価値の比較ですが、高校生の英語ディベート全国大会では、よほど練習したチーム同士の試合でない限り、あまり効果的にスピーチで用いられてはいない様子です。自分の知る限りでは、試合後のジャッジの勝敗説明で、Summary Speech で行われた価値の比較をもとに、勝敗が決められることは殆どありませんでした。

まずは、試合の流れをきちんと確認させるスピーチを行うことを心がけ、無理に「価値の比較」を3分間のスピーチの中に取り入れようとはしない方が良いでしょう。ただし、その有用性や具体例について知りたい場合は、日本語の高校生ディベート大会の試合を見学してみて下さい。そこでは価値の比較が行われ、実際に勝敗を判断する上で重要な役割を果たしていることが分かるでしょう。

### 3. スピーチ例で構成を確認

構成を理解した次には、Summary Speech の実例を見てみましょう。ただし、以下に示すのは何らかの試合で実際に話された内容を書き起こしたスクリプトではありません。渋谷高校英語ディベート部のSummary Speech担当者が、およそこの様な内容で話すことが多かった、という記憶を元に再構成したものです。論題は「成人年齢を18歳に引き下げる」で、肯定側のスピーチです（Defense Speechへの再反論は行われていません）。

#### Affirmative Summary Speech

[CD Track #27]

I will now start the affirmative summary speech.

First, let me confirm why our advantage is still strong.

As for the first advantage, the negative side pointed out in their attack speech that we could not show the clear process of how the 2.7 million new votes can influence politics.

However, in our defense speech, we have clearly shown you the evidence by giving you the case of the Social Democratic Party. 2.7 million votes are sufficient to have a political party in the Diet.

Also, they have stated that hearing the opinions of the young generation is less

important than hearing that of elderly people.

Our defense speaker successfully responded to the claim by pointing out that the negative side did not give the evidence why it is so. Moreover, our defense speaker has confirmed that the voices of the young adults are disproportionately disregarded by the politicians now.

Therefore, our advantage still stands.

On the other hand, we have shown you how the disadvantages are weak.

Their first disadvantage was that the young adults would vote for popular candidates and the quality of the politicians will get worse.

However, we questioned what they meant by "the quality of the politicians", but they could not answer the question. Also, we gave you numerous pieces of evidence which show how young voters will think rationally.

The only evidence they have shown is that the turnout of voters in their 20s is low now. We cannot see what the relevancy of this evidence is.

Therefore, their first disadvantage is weakly supported.

Furthermore, as for the second disadvantage, their claim that young criminals will be given fewer chances of rehabilitation into society (注 これまで少年院に送られていた 18 歳から 19 歳の罪を犯した者が、成人として通常の刑務所に送られ更正の機会を失うという内容) is also weak.

We have questioned why the rehabilitation program in the reformatory is good and the one in the jail is bad. We questioned what the young criminals are doing right now in the reformatory and why the rehabilitation program at the jail is bad for them. Still, they could not give us any convincing answers.

Also, our attack speaker suggested that the rehabilitation program offered at the jail may be better for 18 or 19 year olds and the negative defense speaker could not respond to that.

Therefore, their second disadvantage is also poorly supported.

Finally, let me compare the values from the aspect of quantity. If our plan is taken, all young adults will benefit from it because the politicians will introduce policies which benefit the younger generation.

On the other hand, the number of young adults who do not vote rationally is expected to be quite small, so the number of people who are negatively affected is also small. Also, even if our plan gives less rehabilitation opportunities to young criminals, the number of young criminals being affected is also quite small.

Therefore, our plan will provide benefits to much more of the Japanese population. So, our advantages overwhelm the disadvantages.

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

(500 words 3分の制限時間ではちょっと終わらない量です)

### SECTION 3. SUMMARY SPEECH の練習

#### 1. Summary Speech の練習

Summary Speech を練習する機会は、とても限られています。対戦相手の話を踏まえてスピーチを作らなければならないため、実際の試合を通じての練習がとても重要になります。とはいえ、練習試合にて実際に Summary Speech をする以前に、例えば以下の練習が出来ます：

- Lesson 3 で練習した、スピーチの要約練習を行う。
- 過去の試合の DVD を観て、「自分ならこう言う」という事例研究をする。
- (部活で練習をする場合) 先輩に Summary Speech を担当して貰い、実例を見せて貰う。

#### 2. Summary Speech のフォーマット

事前の練習を踏まえて（あるいは平行して）、次のページのフォーマットを使ってスピーチを用意してみて下さい。出来れば試合の動画を用意して、Summary Speech の直前まで見て続きを読むことを考えます。

初めは時間制限を設けず、全部の要素（相手への再反論、試合の流れの確認、価値の比較）を盛り込んで練習します。その後スピーチに制限時間を設け、あまり重要でない情報を省略します。Summary Speech で大切なのは、時間配分です。何が重要であり、何がそうでないのか判断してスピーチ内容を調整できるようになって、初めて Summary Speech の時間を有効に使うことが出来ます。

## Summary Speech 発表用フォーマット（肯定・否定 共用）

■ My name is ..... Let me start [ negative / affirmative ] summary speech.

■ Before I summarize, let me respond to their defense speech. 【相手への再反論】

On [ AD / DA ] [ 1 / 2 ], they defended their [ status quo analysis/ significance / effect ] by saying that .....

However, this explanation is not enough because .....

【必要であれば】 I will give you one piece of evidence: (別紙の証拠カードの引用)

Therefore, [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] [ is weakly supported /does not stand ].

(他に再反論があれば、同様に上のフォーマットに従い反論する)

■ Next, let me summarize this round.

■ First, let me show you why our [ ADs / DAs ] still stand. [自分たちの議論の確認]

They attacked our [ AD / DA ] 1 by saying that .....

However, we successfully defended by [ saying / showing the evidence ] that .....

Therefore, our [ AD / DA ] 1 is still strong.

(このフォーマットを使い、2番目のADまたはDAについてまとめて下さい)

■ Then, let me confirm how we have weakened their [ ADs / DAs ]. 【相手の議論の確認】

We attacked their [ AD / DA ] 1 by saying that .....

On this point, they failed to defend because .....

Therefore, [ AD / DA ] 1 is very weakly supported.

(このフォーマットを使い、2番目のADまたはDAについてまとめて下さい)

- Finally, let me compare the values from the aspect of [ quantity / quality / probability / time span ]. 【価値の比較】

#### 【Quantity で比較する場合】

- Our (their) plan will positively affect (どの様な人に影響を与えるか).  
And the number of such people will be about (その人数).
- On the other hand, our (their) plan will negatively affect (どの様な人に影響を与えるか).  
And the number of such people will be about (その人数).
- Therefore, this plan will affect more people [ positively / negatively].

#### 【Quality で比較する場合】

- Our strongest argument, [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] is about (「人命救助」など).
- On the other hand, their [ DA / AD ] [ 1 / 2 ] is about (お金の節約) など.
- Because (「命はお金に換えることはできない」など),  
our [AD / DA] is qualitatively much more important.

#### 【Probability で比較する場合】

- Let's compare the probability of [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] and [ DA / AD ] [ 1 / 2 ].
- Our argument, [ AD / DA ] [ 1 / 2 ] is highly likely to happen because .
- On the other hand, their [ DA / AD ] [ 1 / 2 ] is less likely to happen because .
- Therefore, on this criterion, our argument is much superior.

#### 【Time span で比較する場合】

- Let's compare ADs and DAs.
- As you can see, our arguments (長期間に渡り発生するメリット・デメリットだという説明).  
In other words, they affect us for a long-term period.
- On the other hand, their argument (短期間にだけ発生するメリット・デメリットだという説明).  
In other words, they affect us only for a short-term period.
- Therefore, our [ADs / DAs] give more influence to us in the end.

- For these reasons, our [ ADs / DAs ] overwhelm [ DAs / ADs ].  
Therefore, our team has won this round. Thank you.

## SECTION 4. JUDGING について

### 1. 勝敗の判定の基準

試合の勝敗の判定方法について、この種類のディベートでは、Advantage の総量が、Disadvantage より大きい場合、肯定側の勝ちとなります。両者は、便宜的に以下の公式で測るものとされます：

#### ○ Advantage & Disadvantage の評価式

$\text{Probability} \times \text{Value} = \text{その Advantage (Disadvantage) の強さ}$

- Probability: その Advantage か Disadvantage が起こる確率・見込み
- Value: その Advantage または Disadvantage の価値

Lesson 1 では、功利主義という「ある行為の価値は、それがもたらす効用によって決定される」という考えを紹介しました。上の評価式は、その功利を測定するための便宜的な式だと考えて下さい。ある政策がもたらす効用が、それよりもたらされる害悪より大きければ、その政策は採用するべきだ、と前提されます

一般的な価値観では、想像することさえ抵抗がありますが、例えばこの原則に従えば 1000 人の命が救われるためであれば、100 人の命を犠牲にすることは妥当であるとされます。

余談になりますが、渋谷高校の英語ディベート部のある部員（小野君です）が、過去の様々なディベート大会の記録を探してスピーチ原稿を読んでみた所、「全面核戦争が起こる」という議論を、それぞれ異なる論題の試合で数多く見たそうです。全面核戦争が起こる可能性はとても低いものの、起こってしまえばその被害は質的に恐ろしいものになるため、この Disadvantage は大きいと判断され得るそうです（その部員の人はしばらく面白がって、パーラメンタリーディベートの練習でどんな論題が出ても、全面核戦争が起こるという議論を出していました）。

### 2. 勝敗の説明の仕方

勝敗の理由説明では、上の公式を鑑みて、Advantage をまとめたものと、Disadvantage をまとめたもの、どうして一方が他方より大きいか説明することになります。つまりは、Judge という中立の立場から Summary Speech をすることになります。Summary Speech のやり方を学ぶ上では、ジャッジの講評を聞くことが一番参考になると言われることもあります。

## SECTION 5. 大会に向けた準備

Policy Debate の高校生全国大会に出場するチームは、大まかに以下のスケジュールで練習をします。

【英語ディベート部の年間予定】	
3 学期	・3月末に次年度の論題発表
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム作り（校内のディベート部・有志団体への新人勧誘）</li> <li>・大まかな Advantage, Disadvantage の決定</li> </ul>
夏休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサーチの開始</li> <li>・都道府県レベルの練習会に参加</li> <li>・日本語ディベートの全国大会の見学（余裕があれば）</li> <li>・学内の練習試合（全国大会まで 20~30 回前後）</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県レベルの大会に出場</li> <li>・他校との練習試合（5~10 回前後）</li> <li>・全国大会に出場（例年、第 3 土曜・日曜）</li> </ul>

また、大会に向けた練習では、練習試合をする以外にも、例えば以下のような練習方法によって特定のスピーカーを強化します：

■ Defense サンドバッグ

Defense speaker 役の人に対して、残りの人全員が 1 つずつ Attack を行います。 Defense speaker 役の人は、与えられた Attack にその場で応えなければなりません（パラメンタリーディベートでの、POI 練習と似た練習風景になります）。対応できなかつた Attack があれば、この練習後に全員で対策を練ります。

Defense speaker 役の人は、最終的には予想される Attack に対して何を言うか、どの証拠を出すかのリストを作ることになります。そのリストをある程度作ったら、他校のチームと対戦して、そのリストでどれだけ対応できるか試します。

■ Cross-examination のあらし

上の Defense サンドバッグと同様に、立論スピーチをする人に対して残りの人全員がスピーチ内容に関する質問をします。

また、大会の論題だけで練習をするのではなく、フォーマットの練習や即興性の訓練のためにも、身近な論題で即興の試合をすると良いでしょう。20 分ほどの準備時間を与え、証拠の引用なしで試合をしてみて下さい。加えて、平行してパラメンタリーディベートの大会に向けて練習すると、より効果的に英語とディベート能力が身につくでしょう。

## SECTION 6. ディベートを続ける人へ

本テキストの最後として、大会にこれから出場することを考えていたり、または大会に出場したもののが、あまりよい結果が出せなかつた人向けに、ディベートを続ける上で大切なことをまとめた文章を引用します。

「初めての英語パーラメンタリーディベート」 小林良裕[著] 初版(2007) より引用

試合に負けて「ディベートなんてもう続けるものか」と思った時に、以下の内容を思い出して頂ければ幸いです。

### [1] ディベートを続ける上で大切なこと

ディベートでは、勝ちにこだわると失望します。受け入れられない判定を受けても、ジャッジに抗議することはお勧めできません。一度出た判定が覆ることはあります。ジャッジに対する抗議を繰り返すと、周りの人からの自分への評判が悪くなります。例えば、ある国際大会で負けになった際、自分のチームはこの様な理由を告げられました：

「議論はどちらも優れていて良かったです。判断には、本当に悩みました。でも、とりあえずつけてみたスピーカーズ・ポイントの合計が、肯定側の方が高かったので、肯定側の勝ちにしました。以上です」

この勝敗の決め方には納得できなかったので、そのジャッジに対して抗議をしたところ、大会運営者の一人から休憩時間に呼び出しを受け「ジャッジを苛めるな。今度やつたら大会から追い出しそう」と厳重注意されてしまいました。大会では、いつもジャッジが不足しています。わざわざ休日を犠牲にしてジャッジをしに来てくれた人に対して、抗議をすることは許されません。

確かに、単に大会で勝つことが目的であれば、ディベートはつまらない活動であると思いません。ディベートのジャッジは人間です。死刑制度廃止の論題で多くのディベーターが果敢に説得を試みるよう、人間は間違いを犯します。納得できない負けを告げられることは、ディベートを続けるとたくさん経験すると思います。期待して待ち望んだ大会の2日目に、自分のチームが予選落ちをしていることを見出す事もあると思います。

でも、自分を含めて多くのディベーターは、大会で優勝するためだけにディベートを続けてはいません。これから先、大切な試合で負けにされ、納得が出来ないこともあると思います。そんな時には、以下のアドバイスを思い起こしてみて下さい：

「試合に勝つことを目的にしない。勝つことはただの目標」

大会で優勝をすると、確かに嬉しいでしょう。しかし、大会は優勝チームを選ぶために開かれているのではありません。2人の優勝者を選ぶために、例えば1000人が参加する大学生世界大会が開かれているのではありません。ディベート自体が好きで、重要な時事問題に関して意見を交換したくて、日頃の練習の成果を披露したくて、より強い相手と戦いたくて、自分のスピーチで聴衆を感動させたくて、ディベーターは大会に出場する物だと自分は思っています。この考えを特に再認識させてくれた出来事が、以前ありました。以下で簡単に触れれます。

## [2] 大切な試合で負けて、立ち直れない時に

ある国際大会の決勝で敗れ、落ち込んでいた際に、ある人がこう書いたメモを残してくれました：

「君が今年もまた韓国に来て、君のディベートを韓国の人々が今年も見ることが出来て、とても良かったよ。去年と比べてだいぶ上達したね。優勝できなかつたのは残念だけど、今年もトロフィーを持って帰るということは、それだけ君が変わらず成功している事を示していると思う。でも、君のディベートの質は変わっている。どんどん向上している。君のディベートに感動したよ」

自分にとっては、どんな賞状よりもどんなトロフィーよりも、このメモを貰った時が、ディベートを続けてきて良かったと思えた瞬間でした。大学院生として研究し、高校教員として働きながらもディベートを続けるために、多くの事を犠牲にしてきました。けれども、それには意味があったと思えました。

ディベートを続けてきて、誇りに思っている試合が2つあります。北東アジア大会(North East Asian Open)の2005年と2006年の決勝です。2005年の決勝の論題は「北東アジア諸国にとって、日本はアメリカよりも良い友人である」でした。2006年のそれは「日本は核武装するべきだ」という物でした。それぞれ自分のチームが肯定側に立ちました。双方とも負けたことには残念ですが、韓国の聴衆を前に、自分が本当に伝えたかったメッセージを伝えられたことに、スピーチを終えた直後はまだ満足でした。

自分にとってこれまで、自分が所属している国が、先の大戦およびそれ以前にアジアの他国で行った事をどう捉えるかが、大きなテーマの一つでした。このテーマに対して、そのスピーチを通して自分は一つの答えを出し、聴衆に伝えられた様に思えました。その満足感をそのメモが思い出させてくれました。

自分が英語ディベートを始めたのは、偶然の様でもあり、振り替えれば必然である気もします。家庭の事情で祖父母に育てられた自分は、小さいころ、2人の旧満州からの引き揚げの苦労話と一緒に、フィリピンで戦死した祖母の弟の話をよく聞きました。その人は航空機関連の技師で、招集される前は、今では大学になっている三鷹にあった研究施設で働いていたと聞かされました。

桜の咲く時に、祖母と一度そこに訪れた時の印象は「外国の大学」というものでした。自分が学部の進学先としてその大学を選んだのは、自分の育った国を一度その外からの視点で学んでみたい、という動機からでした。その目的は、大学の授業と1年間の交換留学での経験と同じぐらい、とある留学生が15年前にその大学に残してくれた英語ディベートを通して果たせたと思います。またその集大成が、東京大学のチームとして出場した、前述の北東アジア大会決勝であった様に今では思えます。

大切な試合に負けた時、予選通過ができなかった時、ディベートを続けてきたことに大きな疑問を持つかもしれません。でも、単純な勝ち負け以上のものを、自分はここに至る過程で得てはいないか、そう聞いてみて下さい。

ディベーターの中には、優勝するためだけにディベートをしているのでは、と疑問を感じさせる人もいます。單に人前に出て、目立った事をして、表彰されたいのでディベートを続けている人も、たまにいます。英語でしゃべって、カッコ良いことを話してみたくて、結果を残したらみんなが誉めてくれる国際大会に出場したくて、ディベートを続けている人もいます。ディベートをする理由は人それぞれで、他人が口をはさむ物ではありません。でも出来れば、そんなディベーターにはならないで下さい。

勝たなくとも、良いスピーチをすれば、必ずそれを見てしてくれる人がいます。あるジャッジをたまたま説得することはできなくても、多くの聴衆を感動させるスピーチが出来ていれば何よりです。負けたとしても、大きな拍手で迎えてくれる人がいるはずです。金メダルのトロフィーよりも、もっと大切なものを仲間から貰えるはずです。



## ■ ライティングトピック集 [A] (2009 年の大学入試)

### 【自由英作文のトピックの分類】

自由英作文のトピックは、以下の 4 種類（段階）に分けることが出来ます：

- 1) 自己紹介「あなたはどんな人ですか。教えて下さい」
- 2) 学校など身の回りのものごと（身近な具体例を書かせるもの）
- 3) 古典的な意見文のトピック
- 4) 試験会場で初めて見る面白トピック
- 5) 抽象的なトピック(何に具体化してもよいもの)
- 6) 時事的なトピック・特定の語彙を知らないと書けないと書けないトピック

自分が書くことが求められる英作文はどの種類のものなのか、大学入試であれば過去問を見て確認して下さい。3 番目の種類の英作文が書けるようになるためには、1~2 までの英作文も書けるようになる必要があります。同様に、4 番目の「時事的なトピック」が出題される場合は、1~3 までの練習を積み重ねた上で書けるようになります。

まずは、1~3 の段階ごとに、それぞれ 5~10 ずつ、以下のトピック集から選び書いてみて下さい。以下は、2009 年の入試問題から選びました(高校生に無理なく書かせることのできる英作文のトピックは、10 年程度で大きく変わるものではありません)。

### ◆ Level 1 自己紹介「あなたはどんな人ですか。教えて下さい」

- 1) あなたの思い出に残る本、または映画を一作選び、その理由を 120 語程度の英語で述べなさい。（作品名の表記の仕方は問わない） [静岡大学 前期 人文・教育・情報学部]
- 2) 大学に入って最初の夏休みに何をしたいか。50 語程度の英文で書け。  
[甲南大学 文・経済・経営学部]
- 3) 次の A, B いずれかの 1 つのテーマを選びそのテーマについて英語で自分の考えを述べよ。なお、A, B のいずれを選んだかを明記し、解答欄に入る範囲内で述べること。  
(注 解答欄は 201mm×16 行)
  - A. If you could interview anyone, who would you like to interview and what would you like to ask?
  - B. How would you like to use English in the future? [清泉女子大学 文学部]
- 4) Answer the following question in English. (100~120 words)  
If you could live in any country apart from Japan, where would you like to live and why? [名古屋市立大学 前期]

5) 次の質問に対するあなたの答えを、理由とそれを説明する実例を挙げて、全体で 7~13 文程度の英語でまとめなさい。

Who has influenced you the most: your family, your friends, your teachers or someone else? [静岡県立大学 前期 国際関係学部]

6) 以下の指示に従って、100 語程度の英語で表現しなさい。

日本国内、もしくは海外で、あなたが一度訪ねてみたい土地や場所を一つ挙げ、なぜそこに行つてみたいのか、理由を述べなさい。 [茨城大学 後期 人文学部]

7) 次の設問に 150 語程度の英文で答えなさい。

Which is your favorite season – spring, summer, fall or winter? Explain why.

[明治学院大学 全学部]

8) Write an essay of approximately 100 words in English in answer to the following question: If you were given the opportunity to spend an evening with the current Japanese prime minister, what topics would you choose to discuss, and why?

[神戸外語大学 前期]

9) Write 120 to 150 words of English about the topic below.

Describe one thing that you would like to acquire at the university of your choice if you are accepted. [一橋大学 前期 改]

10) 次の質問に 100 語以上の英語で答えなさい。

あなたがこれまでに経験した、最も心に残る冒険は何ですか？

[中央大学 法学部]

## ◆ Level 2 学校など身の回りのものごと (身近な具体例を書かせるもの)

1) あなたが在籍している、または、在籍していた高校について、自慢できる点と改善したい点を、その理由もそれぞれ明記しながら、100 語程度の英語で書け。

[愛知教育大学・前期 英語専攻・国際文化コース・日本語教育コース]

2) Write about the best teacher you have ever had. What was it about this teacher that brought about the best in you? What did you learn from this teacher? Write about them in English in about 70 words. [慶應大学 医学部]

3) 下記の意見に対して、賛成か、反対か、あなたの立場を明らかにし、その理由と共に 100 語以内の英語で書きなさい。総語数を最後の（ ）に書きなさい。ただし、句読点は語数に含まれません。

“Students should not bring mobile phones to school.” [高知大学 前期 教育学部]

- 4) In recent years, blogging has become very popular. A blog is a diary of activities and thoughts that people put on the Internet for other people to read and respond to. Many people enjoy writing or reading blogs. However, some people think there can be various problems. What is your opinion of blogging? Write in English in the blank space on the answer sheet. (注 解答欄は 194mm × 8 行)

[福井大学 前期 教育地域科学部]

### ◆ Level 3 古典的な意見文のトピック

- 1) あなたは将来、都会と田舎のどちらに住みたいでしょうか。その長所と短所を含めて、選んだ理由を 150 語程度の英文で書きなさい。 [茨城大学 前期 教育学部]

- 2) 次の質問に、少なくとも二つの理由を挙げて英語で具体的に答えなさい。

Space research is extremely expensive. Do you think such research is worthwhile? Why or why not? [電気通信大学 前期]

- 3) 次の設問に 150 語程度の英文で答えなさい。

What can students do to help the environment? Give specific examples of how they could help. [明治学院大学 文・経済・国際学部]

- 4) Write 120 to 150 words of English about the topic below.

It is important to learn a second foreign language, in addition to English.

[一橋大学 後期 経済学部]

### ◆ Level 4 試験会場で初めて見ることになる面白トピック

- 1) 次の質問に、少なくとも二つの理由を挙げて英語で具体的に答えなさい。

Why do you think karaoke has become so popular around the world? Give your reasons. [電気通信大学 前期]

- 2) In 100 to 150 words in English, write a short essay in response to the following question.

"In my apartments, it is against the rules to keep a pet, such as a dog or a cat. What would you do if you found out your neighbor was keeping a dog in his or her apartment even though it was against the rules? Be specific and explain your thinking."

[慶應大学 看護医療学部]

3) Read the statement below and write a paragraph giving at least two reasons why you agree or disagree with it. Write your answer in English in the space provided on your written answer sheet.

(注：解答用紙は150mm×15行)

*(It is suggested you spend no more than 15 minutes on this section)*

"The Olympic Games should be abolished."

[早稲田大学 政経学部]

4) 以下の概念から 2 つを選択し、それらを関連させながら「食」(Food)について英語で論じなさい。なお、選んだキーワードは動詞・形容詞などに変えても良い。

(注：解答欄は 220mm×26 行)

Taste	Social Status	Health	Stereotype
Women / Men	Animal welfare	Sustainability (持続可能性)	

#### 注意事項

- (1) 2 つの概念の関連性を中心に考えを展開させること。 (2) 具体例を含めること  
(3) 文法に注意すること

[慶應大学 法学部]

### ◆ Level 5 抽象的なトピック (何に具体化しても良いもの)

1) 次のことについて、150 語程度の英語で答えなさい。

Knowledge gained from books or knowledge gained from experience — which do you think is more important in your life? Why?

[長崎大学 前期]

2) Do you agree or disagree with the following statement?

*People always learn from their mistakes.*

Give reasons and examples to support your answer. Your essay must be in English and about 200 words long.

[福井県立大学 前期]

3) "When people succeed, it is because of hard work. Luck has nothing to do with success." Do you agree or disagree with the quotation above? Use specific reasons and examples to explain your positions in the box provided on the ANSWER SHEET.

(注：解答欄は

144mm×10 行)

[早稲田大学 国際教養学部]

◆ Level 6 時事的なトピック・特定の語彙を知らないと書けないトピック

1) Now, in Japan, people are legally recognized as adults at the age of 20, but some people say we should reduce the legal age from 20 to 18. Do you agree with the idea regarding 18-year-olds as legal adults? Write your opinion and reasons in approximately 50 English words. [都留文科大学 中期 英文学科]

2) 次の問いに答えなさい。

2055 年には、日本における現役世代(20 歳～64 歳)と高齢者(65 歳以上)の割合は 1.2:1 になると推計されている。少子高齢化がこのまま進めば、あなたが将来退職するときには、十分な年金がもらえないかもしれない。退職したくてもできない状況にあるかもしれない。少子高齢化がもたらすこのような問題を解決し、日本の生産力を維持して年金を保証するためには、受け入れる移民の数を増やすべきだという意見もある。この意見にあなたは賛成か反対か。根拠を明示し、自分の将来と関連づけて、200 語程度の英語で述べなさい。なお、内容を含め、文法やスペリングも採点の対象となります。

移民 immigrant 少子高齢化 declining birthrate and aging population

生産力 manufacturing power 年金 pension 退職する retire [琉球大学 前期]

■ ライティングトピック集 [B] (2010 年の大学入試)

◆ Level 1 自己紹介「あなたはどんな人ですか。教えて下さい」

1) 次の英文の指示に従って、自分の考えを 12 行程度の英文でまとめなさい。

[注 解答欄は 186mm×13 行]

Imagine yourself ten years from now. Describe your life at that time, and the steps you will take to get there. [香川大学 前期]

2) 次の設問について、50 語程度の英文を書きなさい。

Describe your first childhood memory.

[青山大学 文・教育学部]

3) You have decided to do some volunteer work in your local community. What volunteer activity do you want to take part in? Give reasons to support your answer. Use 80-100 words. [鹿児島大学 前期]

4) 次の英文の質問に、60 語以上 80 語以下の英文で答えなさい。

If you could spend one hour with a famous person, living or dead, who would you spend the hour with? Explain who the person is and how you would spend your time together. [北九州市立大学 前期]

5) 次の質問に 100 語以上の英語で答えなさい。あなたにとって一番思い出に残る写真を一枚挙げ、それを具体的に説明しなさい。 [中央大学 商学部]

6) 次の質問に 100 語以上の英語で答えなさい。あなたがこれまでに経験した、最も心に残る冒険は何ですか？ [中央大学 法学部]

7) Imagine yourself ten years from now. Explain what you think you will be doing then in three to five English sentences. [島根大学 前期 教育・法文・総合理工]

8) Write 120 to 150 words of English about the topic below.

Describe one historical person that you admire, explaining the reasons for your admiration. [一橋大学 前期]

9) Some students want to study abroad while in university; others not. Do you want to study abroad? Why or why not? (Answer in English; about 70 words)

[弘前大学 前期 人文・医学部]

## ◆ Level 2 学校など身の回りのものごと (身近な具体例を書かせるもの)

1) 次の英語の質問に対し、あなたの考えを 60 語(words)程度の英語で書け。

What should be done to make Japanese high school education better? Choose one point you would like to change, and explain why. [岩手大学前期 人文社会学部]

2) 次の A、B いずれか 1 つのテーマを選び、そのテーマについて英語で自分の考えを述べよ。

なお、A、B のいずれを選んだかを明記し、解答欄に入る範囲内で述べること。

(注： 解答欄は 199mm×16 行)

A. Where in Japan would you take foreign visitors and why would you take them there?

B. What would you like to change about English education in Japan and why?

[清泉女子大学 文学部]

3) 次の英文の質問に 150 語程度の英文で答えなさい。

What is one Japanese custom that you would like people in other countries to adopt? Describe the custom and explain how people in other countries would benefit from the adoption of this custom. If you use Romanized Japanese words, you must explain them in English. [北九州市立大学 前期]

4) 次の質問に対するあなたの答えを、理由とそれを説明する実例を挙げて、全体で 7~13 文程度の英語でまとめなさい。

In your opinion, what are the characteristics of a good teacher?

[静岡県立大学 前期 国際関係学部]

5) 次の問い合わせについて、70 語程度の英文で答えなさい。解答欄末尾の所定の箇所に語数を「(70 words)」のように記すこと。ただし、ピリオドやコンマなどの句読点は語数に含めません。

Which do you prefer, working near your hometown or away from it after graduation? And why do you think so? [新潟大学 前期]

6) Imagine you and your friends have just received ¥100,000 to benefit your school's learning environment. In English, explain how you would use the money and why in as much detail as possible using approximately 150 words.

[福岡教育大学 前期 中等教育教員養成課程 英語専修志願者]

### ◆ Level 3 古典的な意見文のトピック

- 1) 外国語を学ぶ意義について、あなたの考えを 100 語程度の英語で答えよ。

[愛知教育大学 前期 英語専攻・国際文化コース・日本語教育コース]

- 2 「読書なんて時間の無駄。それより社会での様々な実体験の方がよほど役に立つ」という考え方があります。この考え方に対して、「読書の重要性」を主張しなさい。出だしと結論の部分はすでに書かれています。その間の部分に 50~70 語程度の英文を書きなさい。

#### The Significance of Reading

There are two forms of experience, direct and indirect. The former type can be obtained from your own experience in your own world, and the latter from the experience of other people.

This is the very reason you should read books as widely as possible.

[信州大学 前期 教育学部]

- 3) 高校の英語の授業で、インターネットの長所と短所について英語で述べることになりました。その内容を 50 語程度の英語で書きなさい。 [都留文科大学 中期 英文学科]

- 4) Write 120 to 150 words of English about the topic below.

What three items would you take with you if you had to go and live on an uninhabited island? [一橋大学 前期]

- 5) These days there are so many convenience stores everywhere. Many people like to use them, but other people do not like them. What are the good or bad points about them? Write your opinion in English. (注 解答欄は 195mm × 8 行)

[福井大学 前期 教育地域科学部]

- 6) 次の 2 つの英語の質問から 1 つを選び、100 語程度の英語で自分の考えを書きなさい。

(How are you? は 3 語と数えます)

(1) What do you regularly do to stay healthy?

(2) When children take care of a pet, what do they learn?

[福島大学 前期 人文社会学群]

7) In Japan, some high schools prohibit students from having part-time jobs, even though they are legally allowed to work. Do you agree or disagree with such a school policy or not? Write a paragraph explaining your opinion. Give one or more convincing reasons to support your answer. (注: 解答用紙は 180mm×7 行)

[早稲田大学 法学部]

8) Read the statement below and write a paragraph giving at least two reasons why you agree or disagree with it. Write your answer in English in the space provided on your written answer sheet. (注: 解答用紙は 150mm×15 行)

(*It is suggested you spend no more than 15 minutes on this section*)

“English should be the only official language of Japan.”

[早稲田大学 政経学部]

9) 以下の 3 つのトピックから 1 つを選んで、自分の考えを 5 行以内の英文で述べなさい。なお、選んだトピックの番号を記すこと。

(1) Some people blame videogames for an increase in violence among school children. What is your opinion?

(2) Are improvements in technology good for communication? Give reasons for your answer.

(3) Some people say many university students spend too much time doing a part-time job. What do you think? [宮城教育大学 前期]

10) 以下の設間に答えなさい。In 100 to 150 words in English, write a short essay in response to the following.

Television, radio and magazines encourage us to eat junk food and drink high-sugar drinks, both of which are very bad for us. Should advertising for junk food and sugary drinks be allowed? Be specific and explain your thinking.

[慶應大学 看護医療学部]

11) 次の設間に 150 語程度の英文で答えなさい。

Do you think computers will ever replace human teachers? Give examples to support your answer. [明治学院大学 全学部]

12) 次の設間に 150 語程度の英文で答えなさい。

What do you think are the best ways to learn a foreign language? Give specific examples. [明治学院大学 文・経済・国際学部]

## ◆ Level 4 試験会場で初めて見ることになる面白トピック

1) ある日、宇宙船が家の近くに着陸し、乗っていた宇宙人(alien)があなたに宇宙の秘密と不思議を見せてあげようと、3ヶ月間の宇宙旅行に誘ったとしましょう。ただし、この旅行には問題が1つあります。それは、あなたが旅行に出かけていける間、地球で過ごす時間が宇宙で過ごす時間よりも速く経過するということです。具体的には、あなたが地球に戻ったとき、あなた自身は3ヶ月分しか年をとりませんが、地球上にいる他の人は5年分の年を取るということです。それでもあなたはこの宇宙旅行に出かけますか。出かけるか、出かけないか、その理由とともに100語程度の英語で書きなさい。

[佐賀大学 前期 文化教育・経済学部志願者のみ]

2) 次の日本語の文章で、「だが、」以下に続く内容を自由に補って完成させ、それを含めた全体の文章を70語程度の英語で書き表しなさい。英文のみを書くこと。

通勤に自転車を使う人たちが増えた。子どもから高齢者まで手軽に乗れて、体に良いし、地球にも優しいからだろう。だが、

[慶應大学 医学部]

3) 次の英文を読んで、あなたの考えを、理由と共に10行程度の英語で書きなさい。

There are many poor people in the world who lack the money to buy food, clothing, shelter, and medicine. If you were to donate \$100 to a charity such as Oxfam, then some of these people would get what they desperately need and you would thereby increase happiness. Should you donate all of your spare income to charities such as Oxfam? Would it be wrong not to do so?

(注) Oxfam: 1942年に設立された英国の慈善団体

[岡山大学 前期]

4) 次の2つの質問から1つ選んで、少なくとも2つの理由を挙げて英語で具体的に答えなさい。選んだ質問の番号を書きなさい。(注: 解答欄は177mm×13行)

1. Do you think newspaper companies should stop printing on paper and use only the Internet? Why or why not?
2. Do you think there should be more spoken communication in Japanese, such as discussion and presentation, in high school classes in Japan? Why or why not?

[東京電気大学 前期]

5) タイムカプセルに手紙を入れる機会が、あなたに与えられたと想定する。20年後の自分に宛てた手紙を英語で自由に書け。

解答欄に書ける長さ(about 200 words)にまとめること。

[福井県立大学 前期]

- 6) Think of someone who is special to you, for example a member of your family, a relative, a teacher, or a friend. Suppose you are planning an event to show your appreciation and thanks to him or her. In English, describe your plan in detail using approximately 150 words.

[福岡教育大学 前期 初等教育教員養成課程 英語専修志願者]

- 7) 以下の概念から少なくとも二つキーワードとして選択し、それらを関連させながら「音楽」(Music)について英語で論じなさい。ただし、Group A, Group B それぞれから少なくとも一つずつ選びなさい。  
(注：解答欄は 220mm×26 行)

Group A: Wealth	Age group	Gender (男女差)
Group B: Technology	Education	Genre (ジャンル)

注意事項

- (1) 選んだ概念を関連付けながら論理的に発展させなさい。
- (2) 選んだキーワードは動詞・形容詞などに変えてよい。
- (3) 具体例を含めること。
- (4) 文法に注意すること。

[慶應大学 法学部]

- 8) (ロンドン市内の公園に、自由に遊べるピンポン台を設置するプロジェクトに関する英文を読んで答える問題) あなたの意見では、Ping London のようなプロジェクトは社会にとってどのように役立つと思いますか。60 語程度の英語で答えなさい。 [聖心女子大学文学部]

◆ Level 5 抽象的なトピック (何に具体化しても良いもの)

- 1) 次の英文を読み、その内容について思うところを 50~60 語の英語で記せ。ただし、understand と pain はそれぞれ 1 回しか用いてはならない。

It is not possible to understand other people's pain. [東京大学 前期]

- 2) 次のことについて、200 語程度の英語で答えなさい。

"Human beings have made the earth a better place to live in." Do you agree or disagree? Give three reasons to support your answer. [長崎大学 前期]

## ◆ Level 6 時事的なトピック・特定の語彙を知らないと書けないトピック

1) 次の設問に 100 語程度の英語で答えなさい。

Critics argue that there are many advantages and disadvantages to using Social Networking Sites: for example Mixi and Twitter. Do you think there are more advantages or disadvantages? Why do you think so? [名古屋市立大学 前期]

2) 次の問い合わせに答えなさい。

昨今の技術革新によってインターネットが日常生活の各方面で利用されるようになった。インターネット・サイトの中には利用者の情報閲覧の特徴を調査したり、会員登録を求めたりすることによって個人に関する情報を収集することもある。こうして得られた情報は、時として利用者の承諾なしに他の事業者に送られたりすることもある。その結果、インターネットの利用者は自分に最適な商品やサービスに関する情報だけでなく学習資料を受信することができ、事業者は各利用者の好みに合った情報を提供できるようになった。一方で、こうした事業者間の情報のやり取りは利用者の信用をそこねたり、プライバシーを侵害したり、迷惑な広告の氾濫につながる可能性がある。

インターネットを介して事業者があなたに関する情報を他の事業者と共有することについてあなたは賛成ですか、それとも反対ですか。根拠を示して 200 語程度の英語であなたの意見を述べなさい。なお、内容を含め、文法やスペリングも採点の対象とします。

[琉球大学 前期]

3) 少子化問題についてどう思うか。50 語程度の英文で書け。[甲南大学 文・経済学部]

Name: \_\_\_\_\_ Class: \_\_\_\_\_ Student No.: \_\_\_\_\_

TOPIC :

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**Word Count:**

<b>Category</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
<b>Topic &amp; Thesis</b>	There is one clear, well-focused topic. The main idea stands out.	The main idea is clear.	The main idea is somewhat clear (a need for more coherence).	The main idea is not clear.
<b>Support (Reason)</b>	Relevant and quality details make the writing clear & persuasive.	Supporting details and information are clear.	Supporting details and information are somewhat unclear.	Supporting details and information are unclear or unrelated to topic, or are poorly thought out.

Name: \_\_\_\_\_ Class: \_\_\_\_\_ Student No.: \_\_\_\_\_

**Rewrite**

TOPIC :

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**Word Count:**

<b>Category</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
<b>Topic &amp; Thesis</b>	There is one clear, well-focused topic. The main idea stands out.	The main idea is clear.	The main idea is somewhat clear (a need for more coherence).	The main idea is not clear.
<b>Support (Reason)</b>	Relevant and quality details make the writing clear & persuasive.	Supporting details and information are clear.	Supporting details and information are somewhat unclear.	Supporting details and information are unclear or unrelated to topic, or are poorly thought out.

# ○ディベート練習用論題集 Part 1. リサーチの要らないもの 115 個

ここに集めたのは、皆さんが既に持っている日常的な知識でスピーチ練習や試合が出来る論題です。まじめなものから、少し変わったものまで含まれています。

## [1] On High School (高校関連)

English	Japanese Translation
<School Uniform>	<制服>
1. Our high school should abolish the school uniform.	1. 私たちの高校は、制服を廃止するべきだ。
2. The school uniform of our high school should be a Kimono.	2. 私たちの高校の制服は、着物であるべきだ。
3. Our school uniform should be character costumes.	3. 私たちの学校の制服は、着ぐるみにするべきだ。
4. Male students should wear skirts as school uniform.	4. 男子の生徒は制服として、スカートをはくべきだ。
5. Students should be allowed to go to school in sportswear.	5. 生徒は運動着(学校指定のジャージなど)で登校することを許されるべきだ。
<School Regulations>	<学校のきまり>
6. Corporal punishment is justifiable.	6. 体罰は正当化されうる。
7. Students should be allowed to bring their cellular phones to school.	7. 生徒は学校に携帯電話を持ち込むことを許されるべきだ。
8. Students should be allowed to drink and eat snacks during the class.	8. 生徒は授業中に飲食をすることを許さるべきだ。
9. Students should be allowed to bring comic books to school.	9. 生徒は学校にマンガを持ち込むことを許されるべきだ。
10. There should be no homeroom class.	10. ホームルームクラスは無くていい。
11. High achieving students should be allowed to skip grades.	11. 成績の良い生徒は、飛び級をすることを許されるべきだ。
12. Our high school should abolish the long summer vacation.	12. 私たちの高校は、長期の夏期休暇を廃止するべきだ。
13. Teachers should report to the police all students who have physically harmed others in school or destroyed any school property.	13. 教員は、学校で他の人の身体を害したり、学校の備品を破壊した全ての生徒を警察に通報するべきだ。
14. All teachers who have punished students physically should be arrested by the police.	14. 体罰を行った全ての教員は、警察によって逮捕されるべきだ。

15. Students who have cheated on an examination should repeat the same grade.	15. 試験で不正を働いた生徒は、同じ学年を繰り返すべきだ。
<Teachers>	<教員>
16. Students should be allowed to choose their homeroom teachers.	16. 生徒は、自分の学級担任を選ぶことが許されるべきだ。
17. Teachers who are not popular among students should be fired.	17. 生徒の間で人気が無い先生は解雇されるべきだ。
18. Teachers should be given report cards by their students.	18. 先生は生徒から通知表をもらうべきだ。
19. Teachers who smoke tobacco should not be hired.	19. たばこを吸う教員は、雇われないべきだ。
20. Teachers who have committed a crime should be punished more severely than ordinary citizens.	20. 犯罪を行った教員は、普通の市民よりも重く罰せられるべきだ。
21. Bad students can be good teachers in the future.	21. 悪い生徒は将来良い先生になり得る。
22. We should be a teacher in the future.	22. 将来は学校の先生になろう。
<Extracurricular Activities>	<課外活動>
23. Traveling abroad is better than domestic travel as a graduation school trip.	23. 修学旅行としては、海外旅行の方が国内旅行より良い。
24. All students should join a club.	24. 部活を必修にするべきだ。
25. Students whose test scores are not good should be suspended from club activities.	25. 試験の成績が良くない生徒は、部活動への参加を停止されるべきだ。
26. High schools should introduce mandatory volunteer work for two weeks.	26. 高校は、義務となる 2 週間のボランティア活動を導入するべきだ。
27. Female students should be allowed to play baseball for Koshien.	27. 女子生徒も夏の甲子園に向けた大会に出場できるようにしよう
28. Joining a sport club is better than joining a cultural club.	28. 体育会系の部活に加わることは、文化系の部活に加わることより良い。
29. You should join a debating society.	29. ディベート部に入部するべきだ。
<Studying>	<学業>
30. Students should be asked to study foreign languages other than English.	30. 生徒は英語以外の外国語も学ぶべきだ。
31. There should be no homework.	31. 宿題は無い方がよい。

<p>32. There should be no homework for summer vacation.</p> <p>33. Studying through groupwork is a waste of time.</p> <p>34. Students should be given their allowances according to their test scores.</p> <p>35. Studying for entrance examinations does more harm than good.</p> <p>36. High schools should teach students how to drive a car.</p> <p>37. English should be removed from the university entrance examinations.</p> <p>38. Club activities are bad for your study.</p>	<p>32. 夏休みの宿題はない方がよい。</p> <p>33. グループワークで学ぶことは時間の無駄だ。</p> <p>34. 生徒は、テストの得点に応じてお小遣いを与えられるべきだ。</p> <p>35. 入試のために勉強をすることは、益よりも害をなす。</p> <p>36. 高校は、生徒に車の運転を教えるべきだ。</p> <p>37. 英語は入試科目から取り除かれるべきだ。</p> <p>38. 部活動は勉強の妨げになる。</p>
<p>&lt;School Facilities &amp; Location&gt;</p> <p>39. Studying at a big high school is better than studying at a small high school.</p> <p>40. Studying at a high school in a big city (such as Shibuya) is better than studying at a high school in a rural area.</p>	<p>&lt;学校の施設と所在&gt;</p> <p>39. 生徒数の多い高校で学ぶのは、生徒数の少ない高校で学ぶよりもよい。</p> <p>40. 大都市（例えば池袋や渋谷）にある学校で学ぶことは、田舎の高校で学ぶことよりもよい。</p>
<p>&lt;Other Issues&gt;</p> <p>41. Studying at a boys-only or girls-only high school is better than studying at a co-education school.</p> <p>42. High school students should have a part-time job.</p> <p>43. Going out with someone in your school is better than going out with someone in another high school.</p> <p>44. Having a boyfriend or girlfriend is a waste of time for high school students.</p> <p>45. The new academic year should start in September, not in April.</p> <p>46. University education should be made free.</p> <p>47. Studying at a cram school is more effective than studying at a high school.</p>	<p>&lt;他の争点&gt;</p> <p>41. 男女別学の学校で学ぶことは、共学の学校で学ぶことよりもよい。</p> <p>42. 高校生はアルバイトをするべきだ。</p> <p>43. 自分の通う高校の人と交際することは、他の高校の人と交際するより良い。</p> <p>44. 恋人を持つことは、高校生にとって時間の無駄だ。</p> <p>45. 新しい学年は、4月ではなく9月から始まるべきだ。</p> <p>46. 大学の授業料は無償化するべきだ。</p> <p>47. 塾で学ぶことは、高校で学ぶことよりもより効果的である。</p>

48. Studying at home is better than studying at school.	48. 家で学ぶことは、学校で学ぶより良い。
49. We should have a convenience store in our school.	49. 学校にはコンビニを入れるべきだ。
50. There should be a 10.p.m. curfew for high school students.	50. 高校生には午後 10 時の門限があるべきだ。

## [2] On Animals (動物に関して)

English	Japanese Translation
51. Lions are better pets than dogs.	51. ライオンはイヌよりも良いペットだ。
52. We should have an octopus as a pet.	52. 私たちはタコをペットにするべきだ。
53. We should abolish zoos.	53. 動物園を廃止するべきだ。
54. Animal testing should be banned.	54. 動物実験は禁止されるべきだ。
55. We should criminalize having a pet.	55. 私たちは、動物をペットとして所有することを犯罪とするべきだ。
56. Taking care of plants is better than having a pet.	56. 食物を育てることは、ペットを飼うことより良い。
57. Japanese people should not eat whales.	57. 日本人はクジラを食べるべきでない。
58. All of us should be vegetarians.	58. 私たちは全て菜食主義者になるべき。
59. We should require people to have a license to have a pet.	59. ペットを持つには免許を必要とするようとするべきだ。
60. We should impose tax on owning a pet.	60. ペットの所有には課税するべきだ。

## [3] 英語学習について

English	Japanese Translation
61. Debating in English is the best way to improve English skills.	61. 英語でディベートをすることは、英語の能力を向上させる最良の方法だ。
62. High school students should study foreign languages other than English.	62. 高校生は英語以外の外国語も学ぶべきだ。
63. All high school classes should be taught in English.	63. 全ての高校の授業は英語で教えられるべきだ。
64. All English classes should be taught by native speakers of English.	64. 全ての英語の授業は、英語の母語話者によって教えられるべきだ。
65. University classes should be taught in English.	65. 大学の授業は英語で教えられるべきだ。
66. You should study abroad (for about half a year) while in high school.	66. 高校で在学中に(半年ほど)海外留学するべきだ。

67. High school English classes should spend less time on learning grammar.	67. 文法を学ぶことは、英会話を学ぶことより、高校生にとって重要だ。
68. English classes should not be mandatory but optional for high school students.	68. 英語の授業は、高校生にとって必修ではなく選択制にするべきだ。
69. Electronic dictionaries are better than paper dictionaries.	69. 電子辞書は、紙の辞書より良い。
70. Children are better foreign language learners than adults.	70. 子どもは大人よりも良い外国語学習者だ。

#### [4] メディア

English	Japanese Translation
<Advertisement>	<広告>
71. Advertisements targeting children should be banned.	71. 子どもを標的とした広告は禁止されるべきだ。
72. Advertisements of alcohol and tobacco should be completely banned.	72. アルコール飲料とたばこの広告は禁止されるべきだ。
73. Advertisement of consumer credit should be banned.	73. 消費者金融の広告は禁止されるべきだ。
74. NHK should be privatized like BBC.	74. NHKはBBCの様に民営化されるべき。
75. Public schools should allow companies to put advertisements on campus in return for financial support.	75. 公立学校は、財政支援と引き替えに企業が校内に広告を設置することを許すべきだ。
<New Media>	
76. There will be no newspaper delivery in 10 years.	76. この先 10 年で新聞配達は無くなるだろう。
77. In order to confess your love, sending an e-mail is better than face-to-face talk.	77. 愛の告白をするには、直接話すよりメールを送った方が良い。

#### [5] そのほか順不同の論題リスト

English	Japanese Translation
78. We should abolish point of information.	78. POI を廃止しよう。
79. It is better to give Ankoromochi than chocolate on St. Valentine's Day.	79. バレンタインの日には、あんころ餅をあげる方が良い。
80. We should ban the giving of Giri Choco.	80. 義理チョコを渡すことを禁止しよう。
81. We should impose tax on unmarried people over 30.	81. 30 歳以上の独身の人に税金を課そう。

82. An arranged marriage is better than a marriage of love.	82. お見合い結婚は、恋愛結婚より良い。
83. Local governments should abolish coming of age ceremonies.	83. 地方自治体は成人式を廃止するべきだ。
84. Drinking alcohol should be completely banned.	84. 飲酒は完全に禁止されるべきだ。
85. Smoking in all public places should be banned.	85. 全ての公的な場所 (=自宅外) での喫煙を禁止するべきだ。
86. Mechanical pencils are better than wooden pencils.	86. シャープペンは鉛筆より良い。
87. You should eat rice & curry every day.	87. 毎日カレーを食べるべきだ。
88. Internet shopping is better than going to real shops.	88. ネットでの買い物は、実際に店に行つて購入するより良い。
89. Marriage should have an expiration date.	89. 結婚には有効期限があるべきだ。
90. Holding a gorgeous wedding ceremony is better than holding a simple one.	90. 豪華な結婚式を催すのは、素朴なものより良い。
91. Using contact lenses is better than using eye glasses.	91. コンタクトレンズを使うのは、メガネを使うより良い。
92. Marriage life is better than single life.	92. 結婚生活は独身生活より良い。
93. No form of arts should be regulated by the government.	93. どんな形の芸術も政府は規制するべきではない。
94. Giving grades discourages students from studying.	94. 成績を与える事は生徒の学習意欲を削ぐ。
95. E-mail & text messages have made our lives worse.	95. Eメールと携帯メールは私たちの暮らしを悪くした。
96. Traveling by package tour is better than traveling by your own plan.	96. パッケージツアーで旅行するのは、自分で計画を立てた旅行よりも良い。
97. Hosting Olympic Games is good.	97. オリンピックの開催国になることは良い。
98. Practicing debate is bad.	98. ディベートの練習は悪い。
99. Cell phones have made the world a better place to live.	99. 携帯電話は、世界をより住みやすい場所にした。
100. Living in a tropical place is better than living in a place with four seasons.	100. 熱帯で暮らすことは、四季のある場所で暮らすことより良い。
101. Dormitory life is better than living alone for university students.	101. 大学生にとって、寮生活は一人暮らしより良い。

102. Sumo wrestling is no longer the national sport of Japan.	102. 相撲はもはや日本の国技ではない。
103. A man and a woman cannot be true friends.	103. 男の人と女の人は、眞の友人にはなれない。
104. There should be no homework assignment for high school students.	104. 高校生には宿題は必要ない。
105. University students should have a part-time job.	105. 大学生はアルバイトをするべきだ。
106. Doraemon should go back to the 22nd century forever.	106. ドラえもんはもう 22 世紀に帰るべきだ。
107. Reading books is more enjoyable than watching movies.	107. 本を読むことは、映画を見るより楽しい。
108. Items made by hand are better than items made by machine.	108. 手作りの物は機械が作った物より良い。
109. The Japanese government should ban the giving of chocolate on St. Valentine's day.	109. 日本政府はバレンタインの日のチョコレートの授受を禁止するべきだ。
110. University admission should be determined by lottery.	110. 大学の入試は、くじ引きによるべきだ
111. Studying at home on the Internet is better than studying at traditional schools.	111. インターネットを使って自宅で学習する方が、従来の学校で学ぶより良い。
112. Living in a traditional house is better than living in a modern apartment.	112. 従来の家に住む方が、近代的なマンションに住むより良い。
113. Libraries of national universities should be opened to all citizens.	113. 国立大学の図書館は、一般に開放されるべきだ。
114. You should not go out with a debater.	114. ディベーターとは付き合うべきではない。
115. It is good to give money to children as a birthday present.	115. 誕生日プレゼントとして子どもにお金をあげることは良い

## ○ディベート練習用論題集 Part 2. リサーチが必要なもの

以下の論題は、大学生のパーラメンタリーディベートの大会でも使われ得るものです。試合をするには、論題に関する背景知識が必要となります。まずは「日本の論点」や「朝日キーワード」などのリファレンス資料でそのトピックに関して簡単な知識を得てから、試合をしてみて下さい。

### 【略称の解説】

- THBT (This house believes that ~) : 「本院は～と信じる」
- THW (This house would ~) : 「本院は～する」

### Motion Lists

#### <A. 日本 / Issues on Japan>

1. THW raise the rate of consumption-tax(消費税).
2. THW open casino in Odaiba (お台場) .
3. THW introduce baby hatch (「赤ちゃんポスト」)
4. THBT foreign residents should be given the right to vote(外国人参政権の付与).
5. THBT Prime Minister of Japan should be elected directly(首相公選制の導入).
6. THW revise the article 9 of the Japanese Constitution ( 9条改正).
7. THBT textbook inspection (教科書検定) should be abolished.
8. THBT visiting Yasukuni Shrine (靖国神社) by Prime Minister should be supported.
9. THBT whale hunting(捕鯨) should be permitted.
10. THBT Japan should possess nuclear weapons (核兵器).
11. THBT Japan should become a permanent member of the UN Security Council(安全保障理事会の常任理事国).
12. THBT US military bases (米軍基地) in Japan should be removed.
13. THBT Japan should welcome more foreign workers.
14. THW make English second official language of Japan (英語の公用語化).

#### <B. 政治 / Politics>

1. THW introduce compulsory voting(投票の義務化).
2. THBT suffrage (the right to vote) should be given at the age of 16.
3. THW introduce retirement age in the Diet(国会議員に定年制を導入する).
4. THW give the right to vote to prisoners (囚人への投票権の付与).
5. THW allow candidates to freely use the Internet for their election campaign.
6. THW set quotas for female politicians.

<C. 経済・貿易 / Economics & International Trade>

1. THBT ASEAN + 3 needs free trade (自由貿易協定).
2. THW privatize water business (水道事業の民営化).
3. THW privatize NHK (日本放送協会の民営化) .
4. THW introduce a common currency in Asia(アジアでの通貨統合).

<D. 平和・国際 / Issues on Peace & International Disputes>

1. THBT the 2020 Tokyo Olympics [will be / were ] a failure.
2. THW integrate the history textbooks of Japan, South Korea, and China.
3. THW give national treasures back to its people(国外に移った国法、例えば大英博物館に収められたエジプトの出土品、を元の国に返却する).
4. THW cancel the debts of third world countries(第3世界の対外債務の帳消し).
5. THBT UN should have its own standing army(常備軍).

<E. 社会 / Society>

1. THBT zoo should be abolished.
2. THW introduce fat tax (脂肪分・カロリーの高い食品への課税).
3. THW ban cosmetic surgery(美容整形).
4. THW support the flat tax(所得額に応じた累進制ではない、一律の率の所得税).
5. THBT the vending machines of tobacco (煙草の自販機) should be abolished.
6. THBT gay marriage (同性結婚) should be legalized
7. THBT married couples should be allowed to have different surnames(夫婦別姓).
8. THW privatize the management of prisons(刑務所の民営化).
9. THW control the possessions of guns strictly.
10. THW allow athletes to use performance enhancing drugs(ドーピングの許可).

<F. 司法・犯罪 / Criminal Justice>

1. THBT sting operation(おとり捜査) is justifiable.
2. THBT the introduction of citizen-judge system(裁判員制度) will do more harms than goods.
3. THBT media should disclose the information of juvenile suspects in cases of serious crimes (重大事件での未成年者の実名報道).
4. THBT information of sexual criminals should be disclosed (性犯罪者の情報公開) .
5. THBT plea bargain (司法取引) is justifiable.

<G. 生命倫理 / Bioethics>

1. THW legalize active euthanasia(積極的安樂死).
2. THW legalize selling of organs(臓器売買).
3. THBT animal testing(動物実験) should be prohibited.
4. THW introduce surrogacy for profits(謝礼の授受を含む代理母出産).

<H. 環境 / Environment>

1. THBT emission trade(排出量取引) saves the environment.
2. THW introduce environmental tax (環境税).

<I. 科学技術 / Sciences & Technology>

1. THW stop space exploration (宇宙探査).
2. THBT the use of nuclear power plants (原子力発電所) should be prohibited.
3. THBT genetically modified food (遺伝子組み換え食品) should be prohibited.

<J. ジャーナリズム・マスメディア / Journalism & Mass media >

1. THBT the names of suspects should be anonymous (匿名) in news reports.
2. THBT newspaper journalists should sign their names on their articles (署名記事) .
3. THBT trials should be broadcasted on TV (裁判のT V中継).
4. THW not admit too skinny models(やせすぎのモデルの禁止).
5. THBT ban advertisement targeting children (子どもを狙ったおもちゃなどの広告の禁止).

## ○ディベート練習用論題集 Part 3. HPDU 連盟杯全国大会・過去論題

第1回大会 (2012年3月18日) 会場：埼玉県立伊奈学園総合高校

優勝：京都紫野高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

Round 1	This house believes that students in elementary schools and junior high schools should be required to repeat a grade if their class performance is poor.
Round 2	This house would make voting at elections compulsory.
GF	This house would ban fortune-telling businesses.

第2回大会 (2013年3月23、24日) 会場：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

優勝：宇都宮高校 準優勝：さいたま市立浦和高校

Round 1	This house would allow gifted students to skip grades in schools.
Round 2	This house would ban experiments on animals.
Round 3	This house believes that using the Internet in political election campaigns will do more harm than good.
QF	This house would use quotas to increase the representation of women in the Japanese parliament.
SF	This house would penalize media companies that broadcast the use of physical abuse (such as beating or kicking someone) as a form of humor.
GF	This house believes that the US federal government should ban the private use of firearms.

第3回大会 (2014年3月21、22日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：国際基督教大学高校 準優勝：渋谷教育学園渋谷高校

Round 1	This House believes that parents should have the right to access all accounts of their children's social networking sites.
Round 2	This House would apply the retirement age to politicians.
Round 3	This House believes that the Tokyo Olympics venue should include the Tohoku/Fukushima area.
QF	This House would deny those who have made poor lifestyle choices and actively harmed themselves (fatty food, alcohol, smoking) the access to the national health insurance.
SF	This House believes that research institutions that actively employ female scientists should be given more research funding by the government.
GF	This House believes that Japan should not impose any sanctions on Russia regarding the Crimea issue.

第4回大会 (2015年3月14、15日) 会場：代々木オリンピックセンター

優勝：渋谷教育学園渋谷高校 準優勝：宇都宮高校

Round 1	This house would require all Internet users to use their real names.
Round 2	This house believes that gambling of all forms (e.g. lotteries, horse racing, or casinos) should be illegal.
Round 3	This house believes that governments should refuse to assist in rebuilding areas prone to natural disasters.
QF	This house would abolish death penalty.
SF	This house would provide welfare in the form of basic goods and services, rather than cash payments.
GF	This house believes that governments should negotiate with terrorists when their citizens are taken hostage by terrorist groups.

**第5回大会 (2016年3月12、13日) 会場：代々木オリンピックセンター**

**優勝：宇都宮高校 準優勝：洗足学園高校**

Round 1	This house would require broadcasters to devote equal time and prominence to coverage of female sports games as male sports games.
Round 2	This house would pay all elected politicians the median wage in their electoral district.
Round 3	This house would allow prisoners to donate their organs in exchange for shortening of their sentences.
QF	This house believes that, upon request by the authority, smart phone companies should be forced to unlock their products used by criminals.
SF	This house believes that the EU should abandon its commitment to the principle of open borders between member states.
GF	This house believes that democratic countries should not attend sporting events in countries with bad human rights records.

**第6回大会 (2017年3月19、20日) 会場：さいたま市立浦和高等学校**

**優勝：宇都宮高校 準優勝：筑波大学付属駒場高校**

Round 1	This house would ban alcohol.
Round 2	This house would abolish escalator system in schools (such as Keio, Waseda).
Round 3	This house would legalize organ transplant for profit.
QF	This house believes that US military bases should be removed from Japan.
SF	This house would abolish all laws restricting free speech.
GF	This house prefers a world without marriage.

**第7回大会 (2018年3月24、25日) 会場：国際基督教大学高等学校、代々木オリンピックセンター**

**優勝：渋谷教育学園渋谷高校 準優勝：さいたま市立浦和高校**

Round 1	This house would ban cosmetic surgery.
Round 2	This house would require doctors to report all cases of suspected domestic violence.
Round 3	This house would give right to vote to prisoners.
QF	This house would legalize euthanasia.
SF	This house would give national treasures back to its people.
GF	This house would give national treasures back to its people.

## ○ Useful Expressions (質問用の表現)

【CD Track 28】

### ◆ Cross-examination に関する表現

#### ◇相手の言ったことを確認する

1. <u>What do you mean by the harm principle?</u>	危害原理とはどういう意味ですか。
2. <u>Are you saying that we can do whatever we want to do as long as we do not harm the others?</u>	あなたは、私たちは他者に危害を与えない限り、何でもしてよいと言っているのですか。
3. <u>Why can you say all citizens can make rational decisions in every situation?</u>	どうして、全ての市民があらゆる状況で合理的な判断が出来ると、あなたは言えるのですか。

#### ◇相手の議論の問題を指摘する

4. <u>How do you explain that so many people smoke tobacco and die of cancer?</u>	それほど多くの人がたばこを吸い、癌で亡くなることをどう説明しますか。
5. <u>Can you prove that people are making rational decisions when they smoke?</u>	たばこを吸うときに、人々が合理的な決定をしているとあなたは証明できますか。
6. <u>What if your brother was killed in a car accident because he did not use the seatbelt?</u>	あなたの兄弟が、シートベルトを使わなかつたために、車の事故で無くなったらどうしますか。
7. <u>Do you know the fact that the number of people who die of cancer is increasing?</u>	あなたは癌でなくなる人の数が増えている事実を知っていますか。

#### ◇反対尋問用の表現： 相手の議論を確認する

8. <u>Could you summarize your first argument?</u>	あなたの最初の議論を要約して貰えますか。
9. <u>Thank you. Then, let me ask you the next question.</u>	ありがとうございます。では、次の質問をさせて下さい。
10. <u>Could you tell us why your first disadvantage is so serious?</u>	どうしてあなたの最初の Disadvantage が深刻であるのか、教えてくれませんか。
11. <u>Could you tell us how the second disadvantage happens? What is the mechanism?</u>	どの様にして、2つ目の Disadvantage が生じるのか教えてくれませんか。その仕組みは何なのですか。

◇ 反対尋問用の表現： 証拠について聞く

12. Do you have any evidence to support your claim that watching YouTube is addictive?	You Tube を見ることは中毒性があるという主張を裏付ける証拠はありますか。
13. Could you tell us where you found the data?	どこでそのデータを見つけたか教えてくれませんか。
14. Could you tell us who the Mr. Borock you mentioned in your second argument is?	あなたが 2 番目の議論で言及した、ボロックさんとは誰か教えてくれませんか。
15. Is he an expert of nuclear power plants?	彼は原子力発電所の専門家ですか。
16. How did he reach the conclusion? Has he conducted any research?	彼はどうやってその結論に達したのですか。彼は、何か実験を行ったのですか。
17. When was the data published?	そのデータはいつ出版されたのですか。
18. Has the survey used random sampling?	その調査では、被験者はランダムに選ばれたのですか。
19. How many people responded to the questionnaire?	何人の人がそのアンケートに答えたのですか。

◆ Point of Information (POI) に関する表現

◇ POI を求める

1. On your definition, sir (madam). (これは相手の定義について質問するための表現です)
2. Point of information! / Point!

◇ POI を受ける

3. Yes, please / Go ahead / (話している内容の語尾に続けて), don't you think so, sir?
4. No thank you / Please take your seat / Later please / I will take your point later.

◇ POI の内容に対応する

5. Thank you for your point, but it is not [ relevant / true / important] because ~
6. However, what you have said is not [ relevant / true / important] because ~
7. I will explain that point later in my speech.
8. Thank you for your question. That's exactly what I am going to tell you now.
9. So, let me go back to my speech.

## ◆ Useful Expressions (パーラメンタリーディベート用表現集)

### ◆ greeting

【CD Track 29】

Thank you Mr. (Madam) speaker. Hello, honorable judge, and members of this house /  
Hello, everyone / Good morning, ladies and gentleman /

### ◆ definition

【論題の提示】Today we are going to debate on~ / Today, we have the motion that ~.  
However, this motion has some vague points (words) / Today's motion is ~.  
However, this motion is not so clear. Therefore, I would like to define some points  
(words) in this motion

【定義】Then, let me give you our model (plan) / In this round, we will define the  
word A as B / In this round, we will limit X to Y / Therefore we propose that ~  
/ Therefore, our proposal is that ~ / We have one condition. It is that ~ /

### ◆ signposting & allocation

【signposting & allocation】We have ~ points to support our proposal (plan). The first  
point is ~, the second point is ~, the last point is ~ / I will explain our first and  
second points. And my partner will explain the third point.

【議論の説明に移る transition】Then, let me explain our first argument / Let's move  
on to the next point / First (second, third) of all /

### ◆ development of points

【議論の説明のための基本表現】

- Our first point is ~
- On this point, I will explain ~ / I am going to prove you that ~ / The reason why we  
can say ~ is because ...
- Under the current situation (status quo), ~
- However, if we take this plan, ~ / After we introduce our proposal, ~
- For example (instance), ~ / Let's think about ~'s case. / I will give you one example  
/ Here is the evidence that ~ / If ~, / Let's suppose ~ / Please imagine ~ /  
According to ~ / A recent article in ~ stated ... / ~ said that ...
- This point is important because ~ / As a role of (the government etc.), taking this  
plan is important because ~
- What do I mean by this? I mean that ~ / Let me make it clear that ~

## ◆ **refutation**

---

### a) 反論の開始

Let me refute back to the Gov (Opp) side / I will refute back to their arguments / Let me respond to what they have said. I have four responses /

### b) 相手の政策案に反論する

Their plan is not necessary [ feasible / workable / justifiable ] because ~ .

### c) 相手の議論を要約する

They (the previous speaker)said that ~.

### d) 相手の誤りや弱点を指摘する

- This is not true [ not always true / very doubtful ]because ~
- Their second argument is not important (significant) because ~
- This is irrelevant because ~
- They could not explain the clear process (mechanism) of how ~
- Even if ~ , it is not always true that ....
- The mistake the previous speaker has made is ~ / The weakness of their argument is ~ / They failed to explain ~
- There is no reason why ~ .
- They could not show us any evidence (example) of ~ .
- Their argument depends on the misassumption that ~ /

### e) 相手の認識不足を指摘する

They are not understanding that ~ / They are not aware of ~ / They ignored (didn't consider) ~

## ◆ **reply**

---

This round has essentially come down to whether ~ / In order to summarize this round, we need to ask three questions / The most important issue in this round is ~ / I would like to point out the crucial failure (mistake) of Gov (Opp) / Please compare the argument of each side / As my partner has clearly explained before, ~ / In order for Gov (Opp) side to win this round, they should have ~. But they failed to do so. On the other hand, we could ... /

## ◆ **conclusion**

---

In summary ~ / Let me summarize ~ .

## ◆ **end of speech**

---

For all these reasons, we strongly believe ~ / Because of these reasons, we beg to propose (oppose) / Therefore, we believe that ~ / Consequently, we insist that ~

## ◆ Outline for Beginners (パーラメンタリーディベート用)

【CD Track 30】

### 1. 挨拶

まず挨拶をします。型どおりの表現で構わないので、聞き手の人にこれからスピーチを始めるとの注意を促します。

(Hello etc...) Ladies and gentleman. / Thank you Mr.(Madam) chair.

### 2. 論題の提示

次に、この試合で何についてディベートを行うのか確認をします。必要であれば、定義も行うことになります (Opposition 側に立った場合は省略されます)。

Today we are going to debate on ~ / Today we have the motion that ~ / The motion before us today is ~ / Today's motion is that ~.

### 3. 自分たちの立場の設定

自分たちはこのラウンドで、どのようなスタンスを取るのか大まかな理由を示します。

We will propose that ~ because ~. / We strongly believe (insist) that ~ because ...

### 4. スピーチのアウトラインの提示

次に、自分たちのスピーチがどの様な構成で進むのか示します。どのポイントの説明を誰が担当するのか言うのが一般的です (これは各チームの1人目のスピーカーが言います)。

We have ~ points(arguments) to support our proposal(plan). The first point is ~. The second point is ~. The last point is ~. / I will explain~ and my partner will explain ~.

### 5. 議論の説明

1つ目の議論の導入

First of all ~ / The first argument is ~ / Let me explain our first point.

次の議論に移るとき

Next, I would like to talk about ~ / Another point is ~ / Our second (third) point is~.

Now let us turn to ~ / Let me move on to the next argument.

- 議論の構成 :
- 1) Signpost
  - 2) Claim / Assertion (1文でまとめられた主張の要旨)
  - 3) Reasoning (どうしてその主張が成り立つかの順を追った説明)
  - 4) Evidence / Example
  - 5) Importance (どうしてこの議論が重要な説明)

- 1) Our first point is ~
- 2) On this point, I will explain ~ / I am going to prove you that ~ / The reason why we can say ~ is because ...
- 3) Under the current situation (status quo), ~ / However, if we take this plan, ~ / After we introduce our proposal, ~ /
- 4) For example (instance), ~ / Let's think about ~'s case. / I will give you one example / Here is the evidence that ~
- 5) This point is important because ~ / As a role of (the government etc.), taking this plan is important because ~

## 6. 結論を述べる

議論を説明し終えた後で、改めて要旨を述べます。

In summary ~ / Let me summarize my arguments. / In conclusion, we have found that ~ / I have explained to you that ~ / .

## 7. スピーチを終える

最後に、自分のスピーチが終わることを次のような表現で示します。

For all these reasons, we strongly believe that ~ / Because of these reasons, we beg to propose (oppose) / Therefore, we believe that ~ / Consequently, we insist that ~

### ◆ 反論する

一般的に相手チームへの反論は、自分たちの議論を説明する前に行います。

反論に移る

Let me refute back to the Gov (Opp) side / I will refute back to their arguments / First, let me respond to the previous speaker. I have three responses.

反論の構成は、基本的に右のいずれかを取ります。1~4までは以下の型を使います：

They said ~. However, it is [ ].  
That is because ~.

- 1) not true
- 2) not always true (very doubtful)
- 3) not important (significant)
- 4) not relevant
- 5) that's the opposite  
(flip または turn around と呼ばれます)
- 6) 相手の誤った assumption を指摘する

## ◆ Policy Debate のジャッジの仕方の基礎

競技ディベートは一種のゲームであり、それに従った勝敗の決め方があります。以下では、その勝利チームを決める上での大まかなルールの説明をします。

### ■ 勝敗を決める上での大原則：功利主義 (Utilitarianism)

「政策を採った場合、メリットとデメリット、どちらの方が大きいか」

⇒ メリットがより大きければ政策を採り (=肯定側の勝ち)、逆であれば政策は否決される (=否定側の勝ち) e.g. 政策により防げる犯罪数 vs. 政策により新たに発生する犯罪数



### ■ 他の原則

- ・勝敗は試合の中で述べられたことだけを根拠に決めて下さい。
- ・英語のうまさは勝敗の根拠にはなりません（英語を含めて伝え方が上手であれば、その結果、言った内容もとても分かりやすいはずです。勝敗は内容で決めて下さい）。
- ・ディベートでのジャッジは、偏見のない、社会常識を持った市民です。専門知識は要りません。

### ■ 勝敗チームを決めるプロセス

#### 【Step 1】Constructive Speech

- ・立論スピーチを聞いた時点で、まずそれぞれのメリット、デメリット自体の強さを考えます。  
強さは、以下の計算式で考えます：

$$\text{起こりそうな確率} \times \text{その重要性・価値} = \text{メリット・デメリットの強さ}$$

- ・そして、メリットとデメリットを、強さに従って順序づけします。一番強いメリットまたはデメリットを出している方のチームを、この時点での勝利チームとします（まだ引き分け也可）。

#### 【Step 2】Attack Speech

- ・メリットまたはデメリットの、<現状分析> <プロセス> <重要性> のいずれかが、決定的に崩された、あるいは疑問が生じた場合、その「議論は弱められた」として順位を落として下さい（その結果、勝ちチームも替わり得ます）。

#### 【Step 3】Summary Speech

- ・Attack で弱められた議論が補強されているかどうか、注意して聞いて下さい。もし改めて強められた場合、疑問が解消した場合は「議論は強められた」として順位を上げて下さい。

#### 【Step 4】最終的な勝敗の決定

- ・一番強い議論を出していた方を勝ちにする  
⇒ <議論が同程度なら> Summary で Attack により的確に答えていた方の勝ち。  
⇒ <Summary が同程度なら> より的確な Attack をした方  
⇒ <Attack が同程度なら> 最も印象的な例、統計を出していた方  
⇒ <例・統計が同程度なら> Q & A でより的確な質問をした方  
⇒ <Q & A が同程度なら> Const.がより聞きりやすかった方

## Policy Debate FLOW SHEET

Motion: \_\_\_\_\_ Name: \_\_\_\_\_ Class: \_\_\_\_\_ Student No.: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

◆ AFFIRMATIVE Team:

◆ NEGATIVE Team:

<p>① Affirmative Constructive Speech ( min ) Name: _____</p> <p>② Q&amp;A N⇒A ( min ) Name: _____</p> <p>③ Negative Constructive Speech ( min ) Name: _____</p>	<p>④ Q&amp; A⇒N ( min ) Name: _____</p> <p>⑤ Attack( min ) &amp; ⑥ Q&amp;A Name: _____</p> <p>⑦ Attack( min ) &amp; ⑧ Q&amp;A Name: _____</p>	<p>⑨ Defense ( min ) Name: _____</p> <p>⑩ Defense ( min ) Name: _____</p> <p>⑪ Summary ( min ) Name: _____</p>	<p>⑫ Defense ( min ) Name: _____</p> <p>⑬ Summary ( min ) Name: _____</p>

<p>⑭ Adjudication</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The strongest argument was : ..... , which came from [ Aff. / Neg. ] team.</li> <li>● It was strongest because ..... :</li> <li>● Therefore, I vote for [ Aff. / Neg. ] team.</li> <li>● Overall quality of this round was: [ poor / good / excellent ].</li> </ul>

「試合に勝つことを目的にしない。勝つことは、ただの目標」

### 著者の紹介

#### 小林良裕 (KOBAYASHI, Yoshihiro)

東京大学大学院総合文化研究科 修士課程修了  
東京学芸大学大学院教育学研究科 修士課程修了  
東京学芸大学大学院連合教育学研究科 博士課程在籍  
東京大学英語ディベート部 (UTDS) 創部者の1人(名前を決めました)  
一般社団法人日本高校生パーラメンタリーディベート連盟 (HPDU) 創設者・理事  
豊島岡女子学園中学高等学校 教諭



#### ■ 高校生のための初めての英語ディベート

#### A New Introduction to Debating in English: Book 1

2021年 11月 10日 初版発行 (KDP版)

著者 小林良裕

発行者 小林良裕

発行 エスエイディワークス (S.A.D. Works)

TEL: 048-954-7279 /kobayashi031198@gmail.com

ISBN 9798764909899 C3082

©Yoshihiro Kobayashi